

# 空港機能強化を踏まえた新たな居住者獲得に向けた調査検討業務

## 業務報告書

令和4年1月

横芝光町 

# 資料目次

1. 本事業の概要	p.4
2. 本事業の成果	
(1) 定住人口誘引に向けた検討の基本的な考え方	p.11
(2) ターゲットとニーズの具体化	p.22
(3) 内部環境・外部環境を踏まえた取り組むべき方向性の導出	p.38
(4) 取り組むべき方向性を踏まえた取組テーマの具体化	p.43
(5) 定住者誘引に向けた目指すべき姿の導出	p.96
(6) 2028年度末における目指すべき状態の具体化	p.121
(7) 3カ年アクションプラン	p.128
(8) 次年度施策概要	p.140

# 本事業の概要

# 空港機能強化の効果を踏まえ、新たな居住者獲得に向けた検討を行う

## 当事業の検討背景

- 平成29年度に、国、県、千葉県、成田空港圏自治体連絡協議会を構成する9市町及び成田国際空港株式会社(NAA)の四者協議会で、滑走路の増設などを含めた成田空港の更なる機能強化について、最終的な合意が行われた。
- 平成30年度には、この成田空港機能強化という一大契機を活かし、当町における人・モノの新たな流れを生み出す都市構造への転換を将来像とした、「横芝光町土地利用ビジョン」が定められ、町における都市づくりの方向性やエリアゾーニング等の検討・整理を行った。
- 現在、当該土地利用ビジョンに基づき、人や企業の呼び込みに向けた施策の実行に取り組んでいるところであるが、今後、施策の実効性を高めるため、居住者が望む住宅地に関するニーズ調査や、当町ならではの暮らし方として他市町村との差別化に資するコンセプトを持った住宅地整備等、更なる取組の推進が不可欠となっている。

成田空港の滑走路新設等により、  
空港内従業員が2.7万人、  
空港外も含めると最大約6.4万人増加する見込み

## 当事業の目的

- 本業務では、空港機能強化を活かし、当町に“新たな居住者”を呼び込むために、町が将来に向けて持続的な発展を実現していくことを念頭に、当町の目指すべき町のより具体的な方向性等の検討を行うことで、獲得していくべきターゲット像と整備すべき町の居住地形成イメージの明確化を図り、今後のまちづくりの施策実行及び戦略的プロモーションに繋げるための構想策定を行うことを目的としている。

ターゲット像やニーズを把握し、目指すべきまちの具体的な方向性やアクションプランを作成・実行

まちの  
機能の充実

ヒト/企業の誘引

ヒト/企業を誘引し、まちの機能の充実がなされる  
“好循環”を生み出すことが肝要

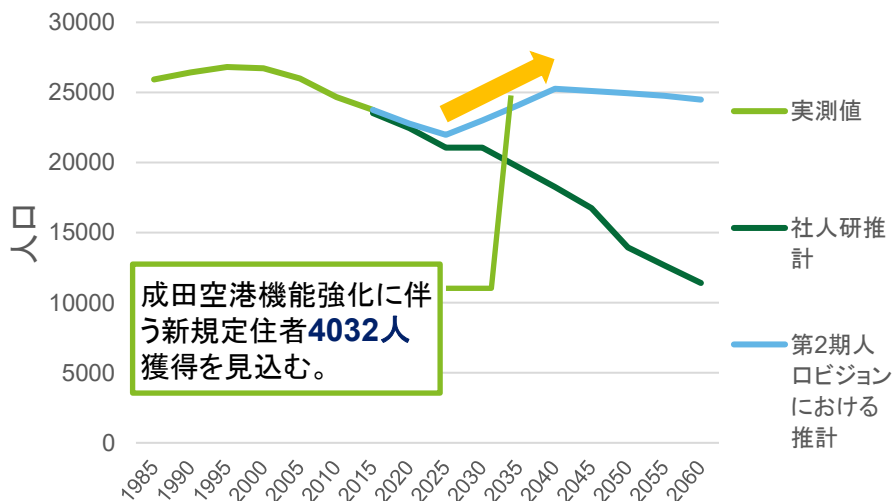
# 横芝光町は、空港機能強化に伴う定住者獲得を目指して政策の策定を推進してきた

## 横芝光町の各計画の中での空港機能強化の位置づけ

### 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(抜粋)

- 成田空港の更なる機能強化に伴い、成田空港内の就業者数は2.7万人増加することが想定されており、本町における就業者等の新規定住による人口増の大きなチャンスがある。
- 成田空港の更なる機能強化自体は短期間に実現するものではないが、今の段階から更なる機能強化に伴う企業の立地ニーズや住宅供給ニーズを捉え、準備を進めていく必要がある。

### 第2期人口ビジョンにおける人口推計



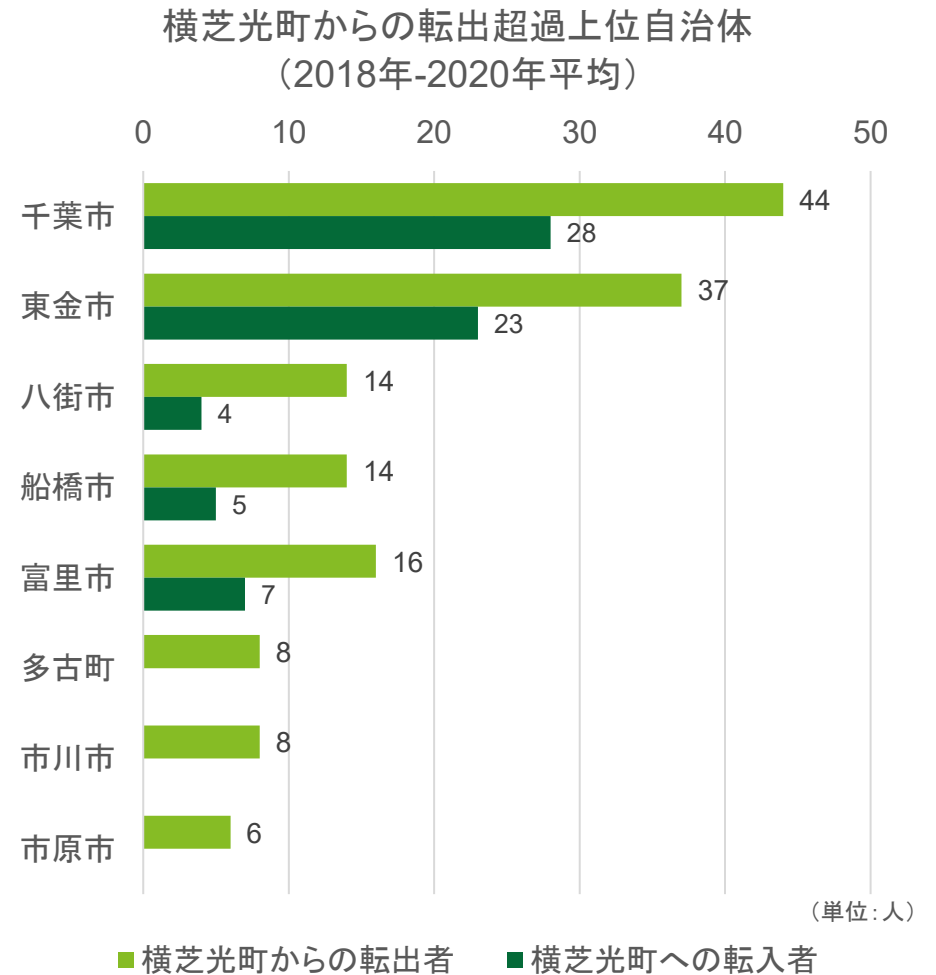
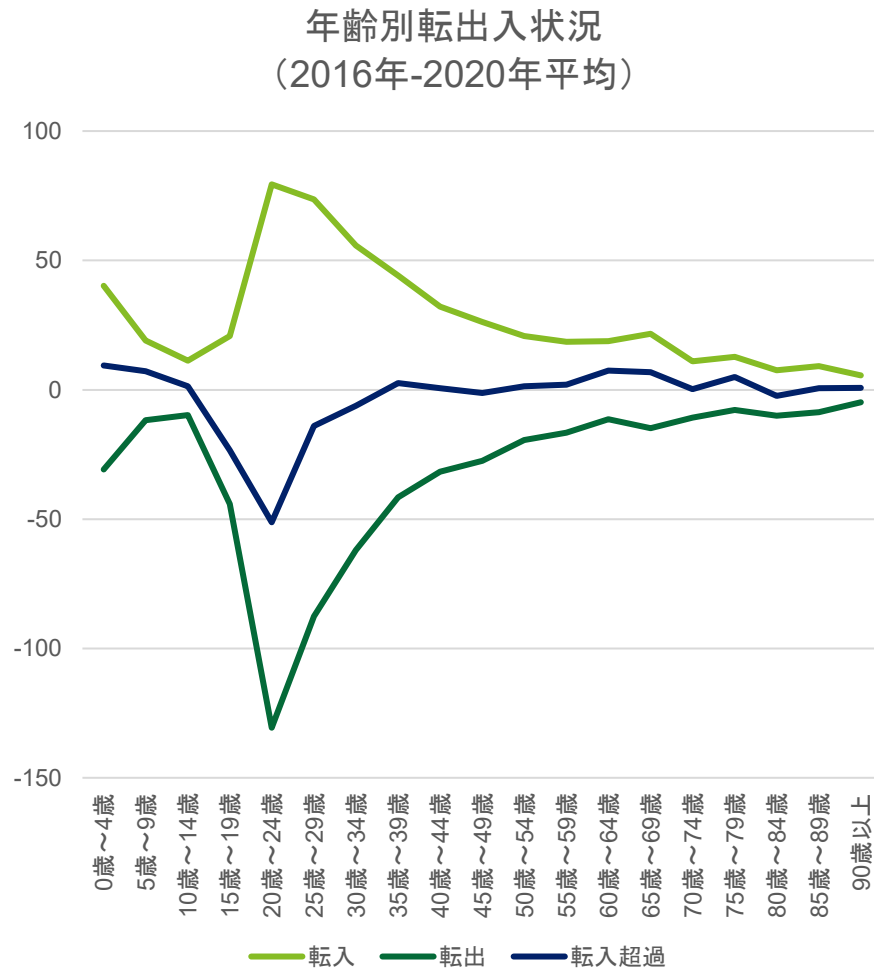
### 横芝光町土地利用ビジョンの策定

- 生活利便性を軸にエリア設定しているが、“望むライフスタイル”や“設定すべきターゲット像”によって、エリア設定に向けた検討をすべき
- “望むライフスタイル”実現に必要な施策プランを検討すべき



# 横芝光町の転出入状況は、年齢別には20歳から24歳の転出超過傾向が強く、自治体別には千葉市や東金市への転出超過傾向が強い

## 参考:横芝光町の転出入状況



# 本事業におけるターゲット検討のゴールを以下の通り設定した

## 本事業において、検討対象とするターゲット

メイン

空港関連従業員

- 空港関連業務は労働集約型の産業であり労働者数が多いことや、空港機能強化により、更なる空港関連従業員の拡大が見込まれていることから、横芝光町の居住者増加に向け、狙うべきターゲットである
- また、空港関連従業員は、第2期人口ビジョンにて目標値「4032人」の新規居住者獲得を掲げていることから、実現に向けた計画・アクションプランの検討・策定が必要

➤ メインターゲットであるため、空港実態調査やデスクトップ調査、ヒアリング調査といった多様な手段により、対応する想定

COVID-19\*により、  
地方への移住ニーズを有する都心居住者

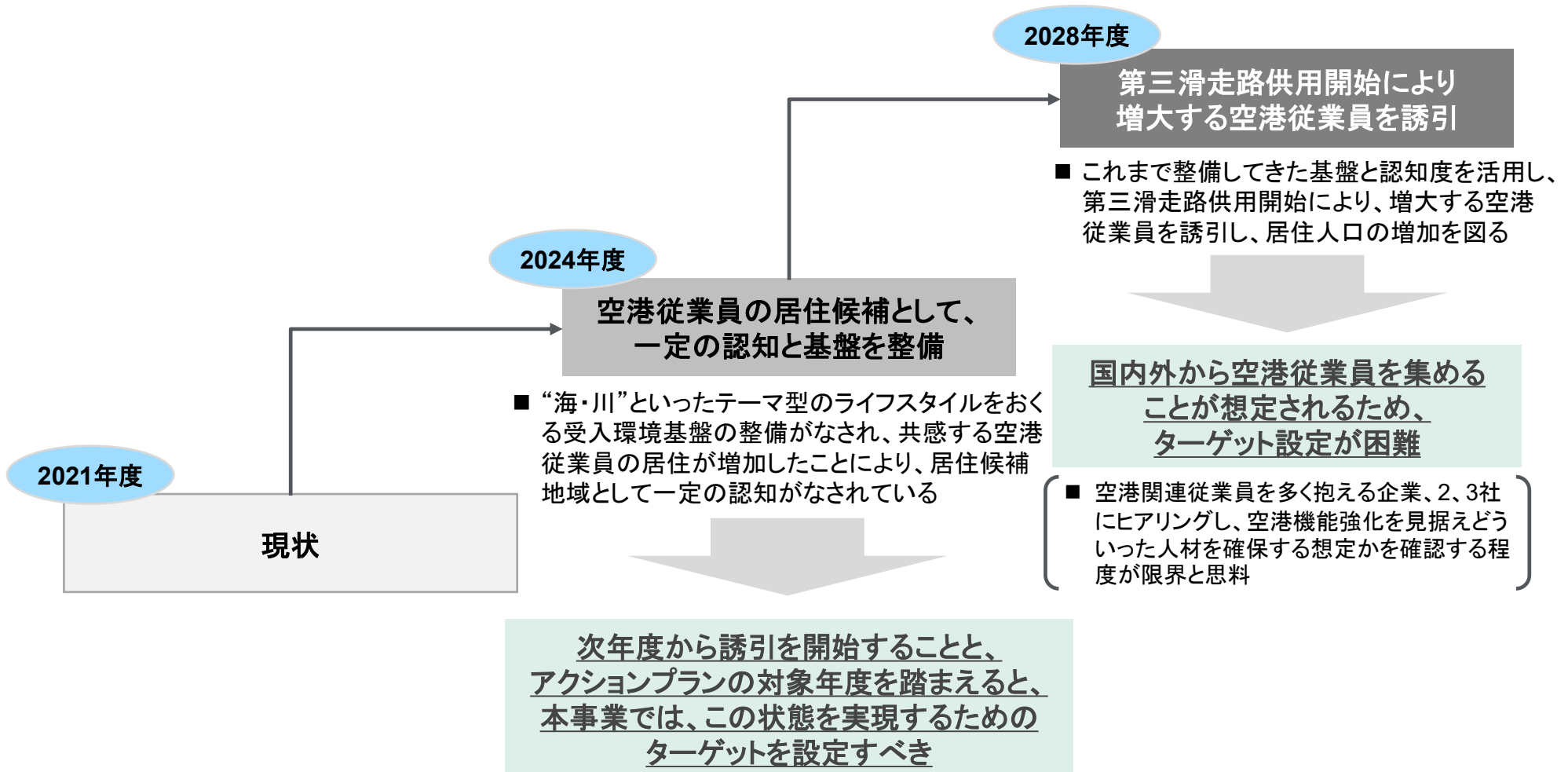
- COVID-19により、在宅ワークが推奨され、職住近接から職住融合への転換が進んでおり、地方への移住ニーズが高まってきている
- そのため、横芝光町の居住者増加に向け、サブテーマではあるが、COVID-19により、地方への移住ニーズを有する都心居住者も検討すべきターゲットとして加えるべきと  
思料

➤ サブターゲットであるため、デスクトップ調査により効率的に対応する想定

\*) 新型コロナウイルス感染症

# 2028年度の成田空港第三滑走路供用開始時に増大する空港従業員の受け入れに向け、次年度から誘引すべき空港従業員のターゲット像を設定すべき

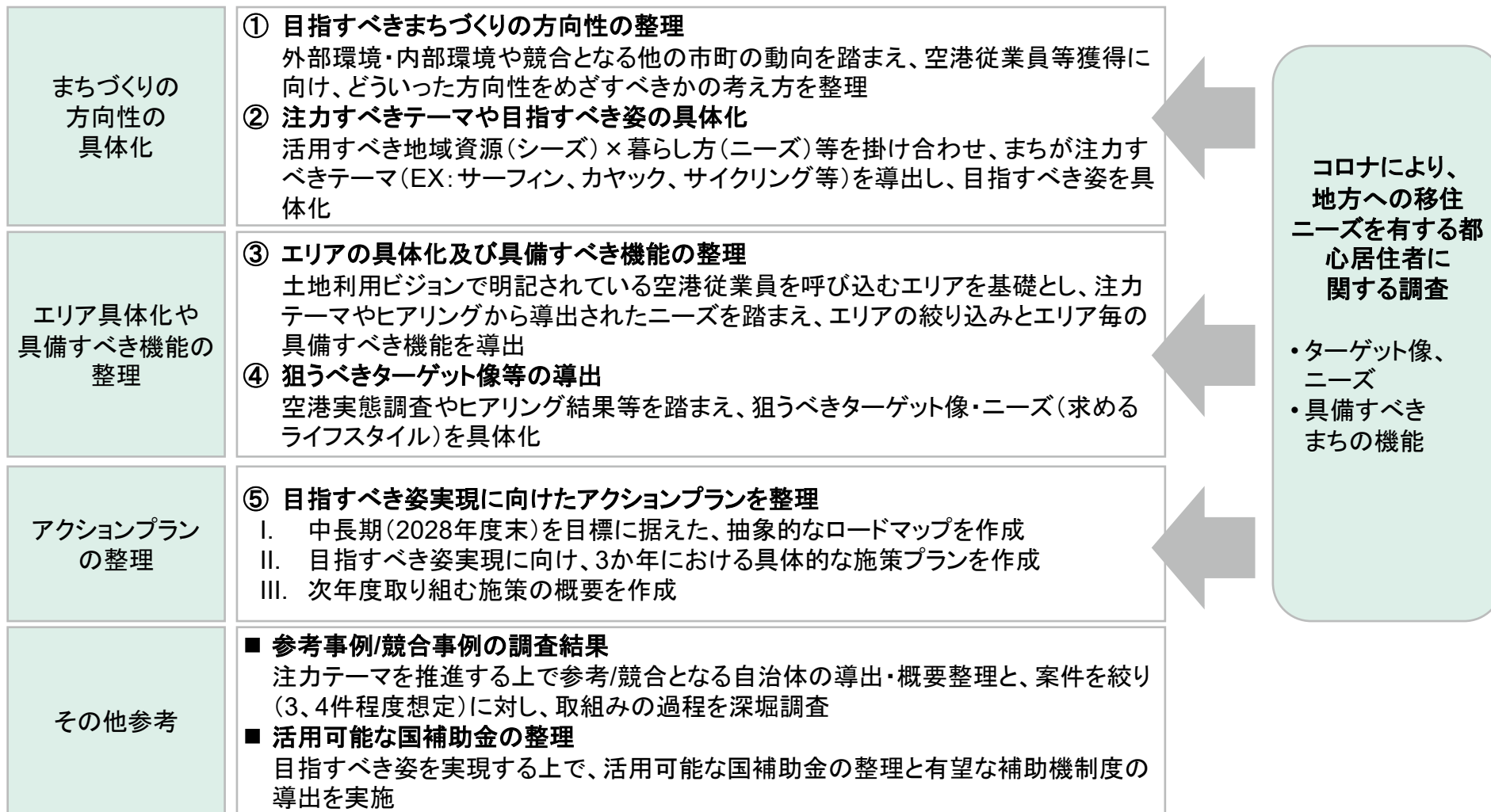
## 本事業にて検討対象とするターゲットに関する討議





# 本事業を通して、まちづくりの方向性やアクションプラン等の主要項目についてアウトプットを作成する

## 主要項目における成果イメージ



# 2021年4月より本事業を開始。各種タスクを推進、2022年1月報告書を作成

## 本事業のスケジュール

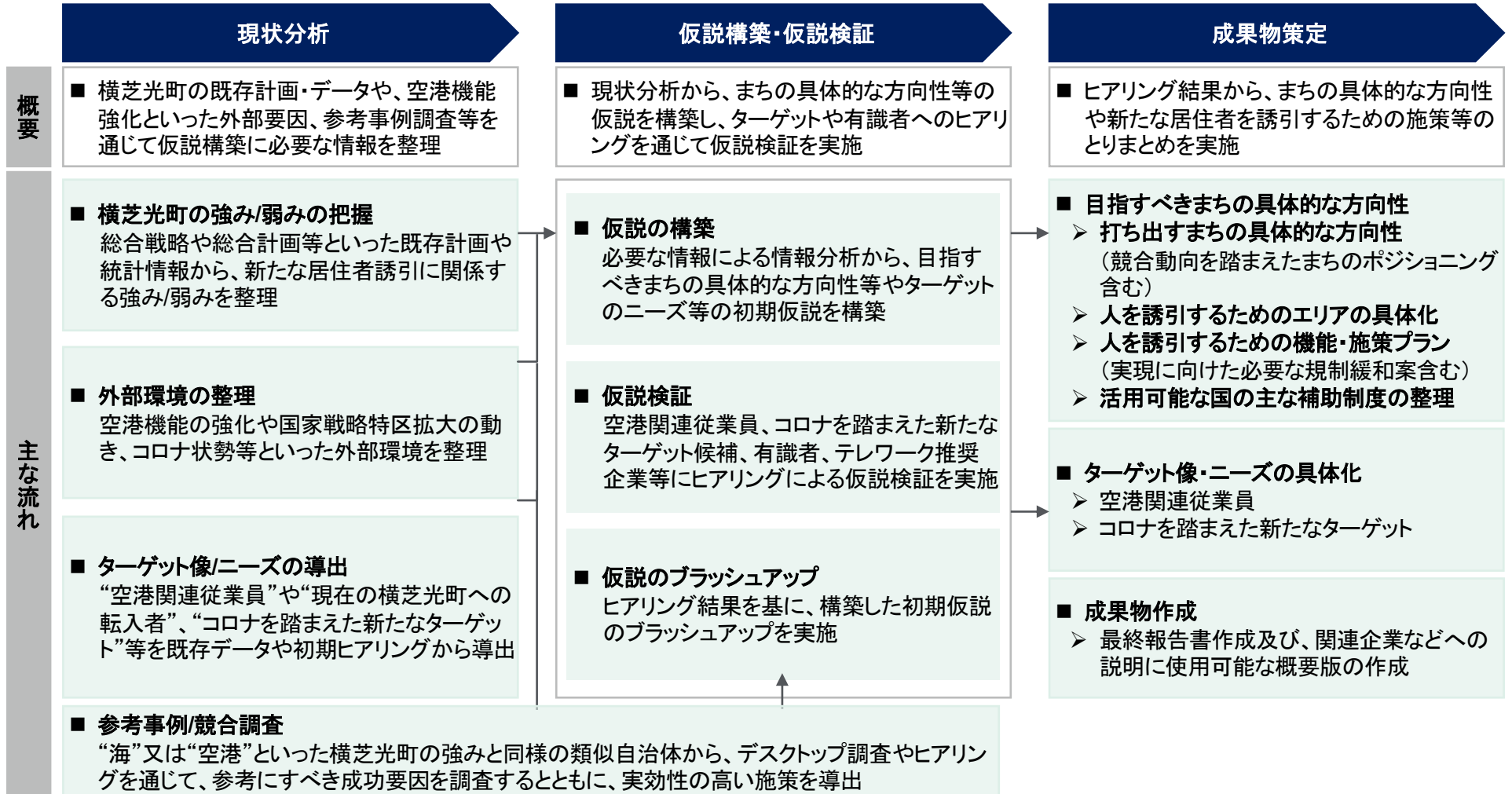
←----- 仮説検証・再構築 ----->

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
★ Kick off		有識者会議立上			第1回有識者会議	★ 次年度予算概算要求 中間報告会		第2回有識者会議		★ 最終報告会

現状分析											
■ 強み/弱みの把握	観点検討	机上調査	目指すべき方向性及び重点テーマ初期仮説の導出								
■ 外部環境の整理	観点検討	机上調査	目指すべき方向性及び重点テーマ初期仮説の導出								
■ ターゲット像/ニーズの導出		空港実態調査検討	空港関係者等への初期ヒアリング	初期ヒアリングによりターゲット初期仮説の精度を向上							
仮説構築・仮説検証											
■ 現状分析を踏まえた仮説の構築	目指すべき方向性仮説	重点テーマ仮説	メインターゲット仮説	アクションプラン案	サブターゲット仮説	中間報告後対応	アクションプラン精緻化	次年度施策概要			
■ 参考事例調査		調査対象洗出し	先進事例の深堀調査	必要に応じて追加調査							
■ 仮説検証	導出された重点テーマ仮説に沿って先進的取組を調査		ヒアリング準備	空港関係者等ヒアリング	追加ヒアリング						
■ 仮説ブラッシュアップ					アンケート						
						ヒアリング結果等の反映					
成果物策定											
■ 成果物作成								最終報告素案策定	最終版作成	概要版作成	
■ その他調査	スライド作成 (横芝中学校跡地, 神山町事例)・補助制度検討										

# 現状調査から、横芝光町の目指すべき方向性やターゲット像のニーズに関する仮説を構築し、ヒアリングなどにより検証を実施する

## 本PJアプローチ全体像

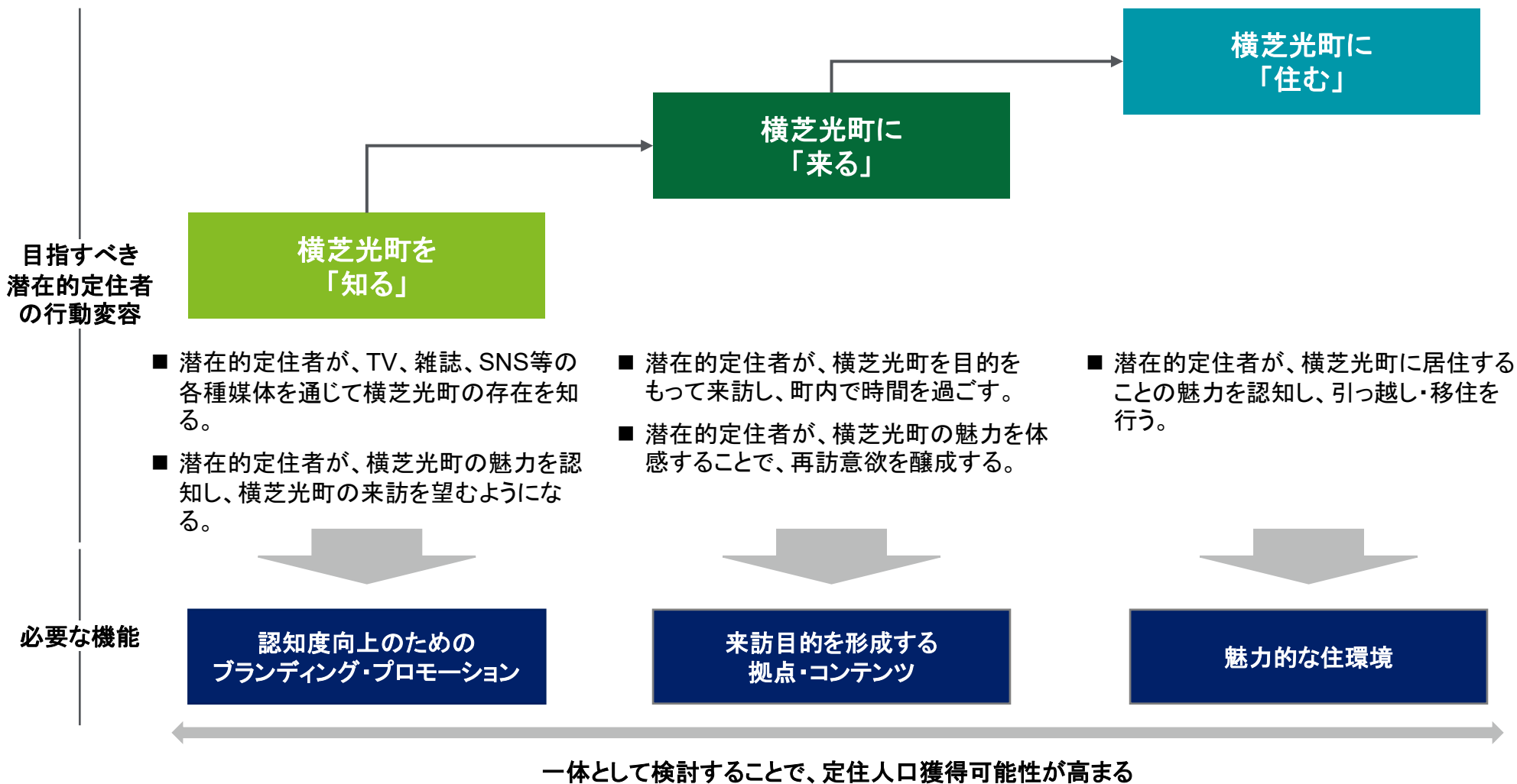


# 本事業の成果

# 定住人口誘引に向けた検討の基本的な考え方

# 定住人口獲得を目指すにあたっては「住む」段階だけではなく、横芝光町を「知る」段階や、「来る」段階に着目した一体的検討が必要

## 基本的考え方①: 検討対象とすべき範囲



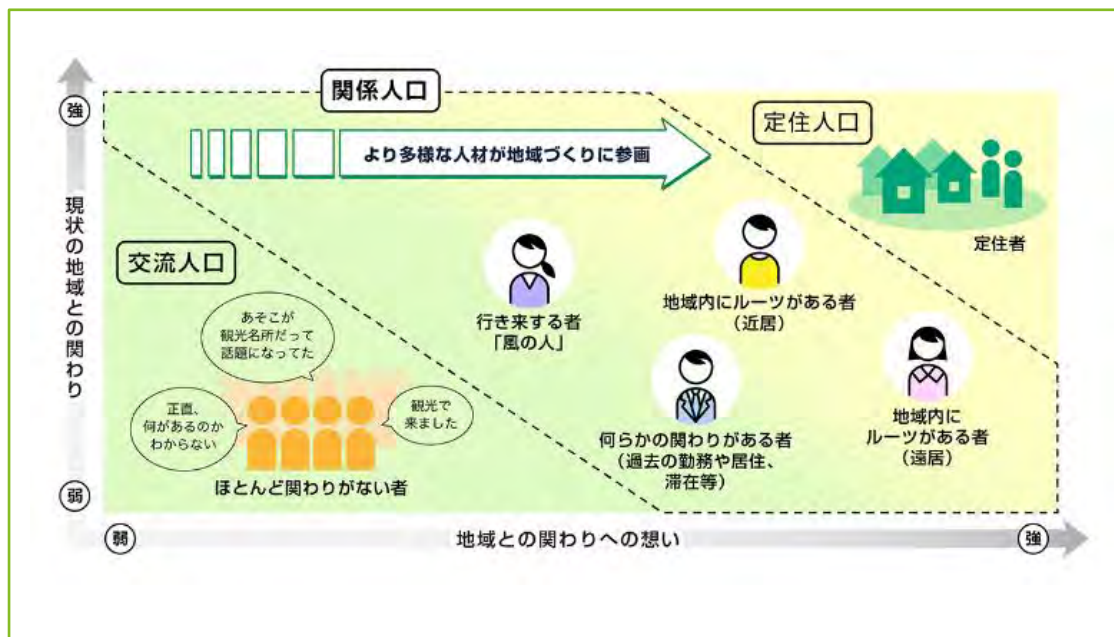
# 国は関係人口を増やすことで、地域の活力を維持する政策を推進している

政策潮流・参考事例

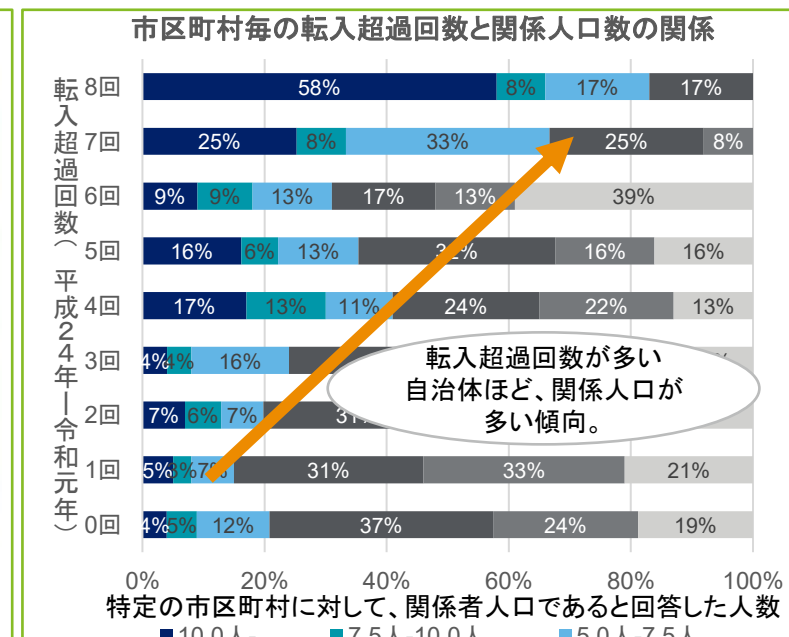
## 関係人口の概要と移住・定住人口との関係

関係人口とは	
関係人口の定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域や地域に継続的に多様な形で関わる人々のことを指す。</li> </ul>
地域との関わり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地元企業での労働など地域の内発的発展に比較的直接的に寄与する人から、地域での消費活動や趣味活動を楽しむ人など、幅広いかわり方がある。</li> </ul>

## 関係人口のイメージ



## 関係人口と移住・定住人口の関係



# 利便性と関係人口・交流人口増加の双方への取り組みを進める自治体による移住者施策が移住者誘致の成果を上げている

政策潮流・参考事例

## 移住者を惹きつける自治体の取組概要

### 一宮町の移住者誘致施策概要 (一宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略)

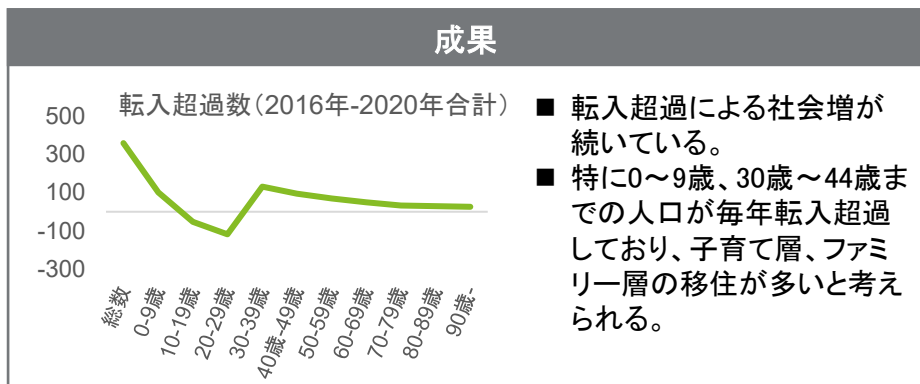
**サーフォノミクス 5本の柱**

- サーフストリート構想
- 都市軸の整備
- 雇用と事業創出
- 子育て支援と個性ある教育の推進
- シティプロモーション

**概要**

- 海岸から県道30号線に沿ったエリアをサーフストリートとして位置付け
- 住民とサーファーや同行者などが交流を育むためにサーフィンセンターを設置





出所:「住民基本台帳人口移動報告」、総務省、2016年-2020年


### 豊後高田市の移住者誘致施策概要 (豊後高田市総合計画一まち・ひと・しごと「活力」創生プラン)

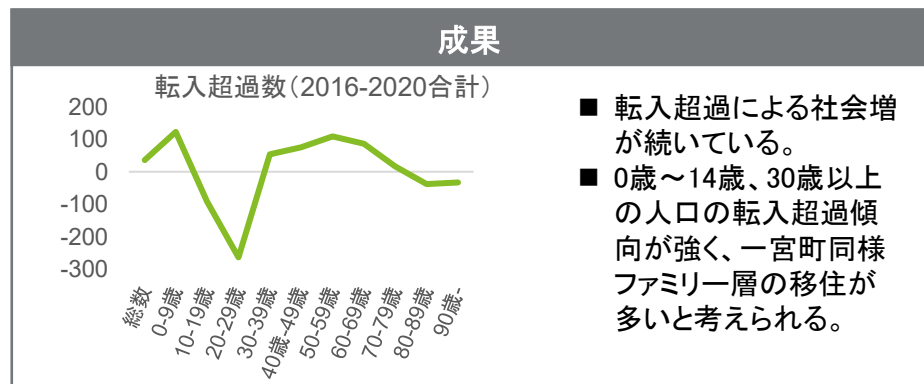
**大目標**

- 1 ひとを育み活力創生
- 2 ひとを大事に活力創生
- 3 ひとを呼び込み活力創生
- 4 仕事を作り活力創生
- 5 基礎を整え活力創生

**概要**

- 地域特性を活かした交流・関係人口増加
  - ▶ 昭和の町ブランド力の向上のためのリ・ブランディング事業
  - ▶ 新たな体験型観光の開発及び誘客事業の実施





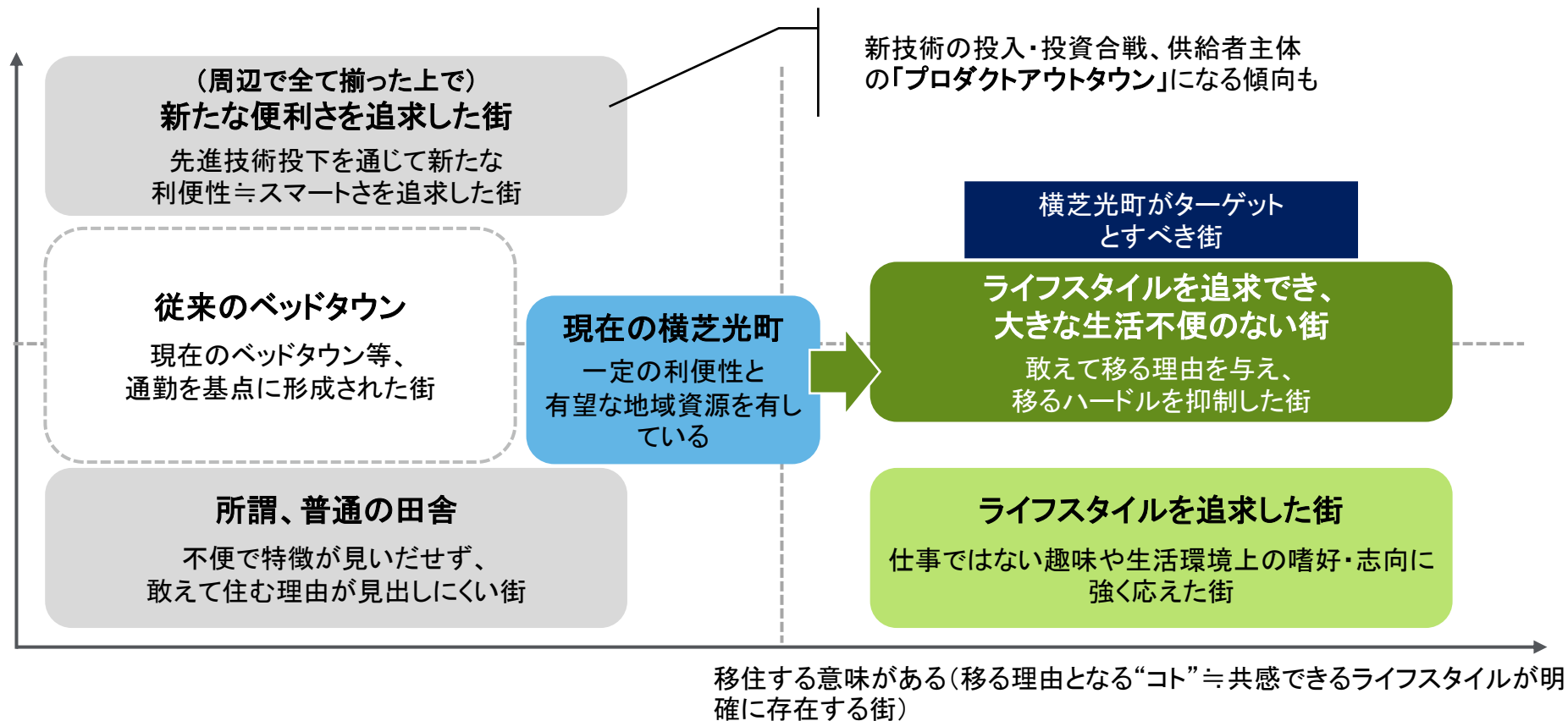
出所:「住民基本台帳人口移動報告」、総務省、2016年-2020年



# 既に一定の利便性を備えている横芝光町は、共感型のまちづくりを行うことで、定住者誘引を図ることが可能であると思料

## 基本的考え方②:横芝光町の目指すべき方向性

便利である(生活上の不便・不安の無い街)



# 利便性一辺倒の移住者誘致戦略は、周辺自治体との競争を激化させる可能性が高い

政策潮流・参考事例

## 参考：利便性追求型の移住者誘致政策の帰結

### 明石市と神戸市の子育環境整備を巡る政策競争

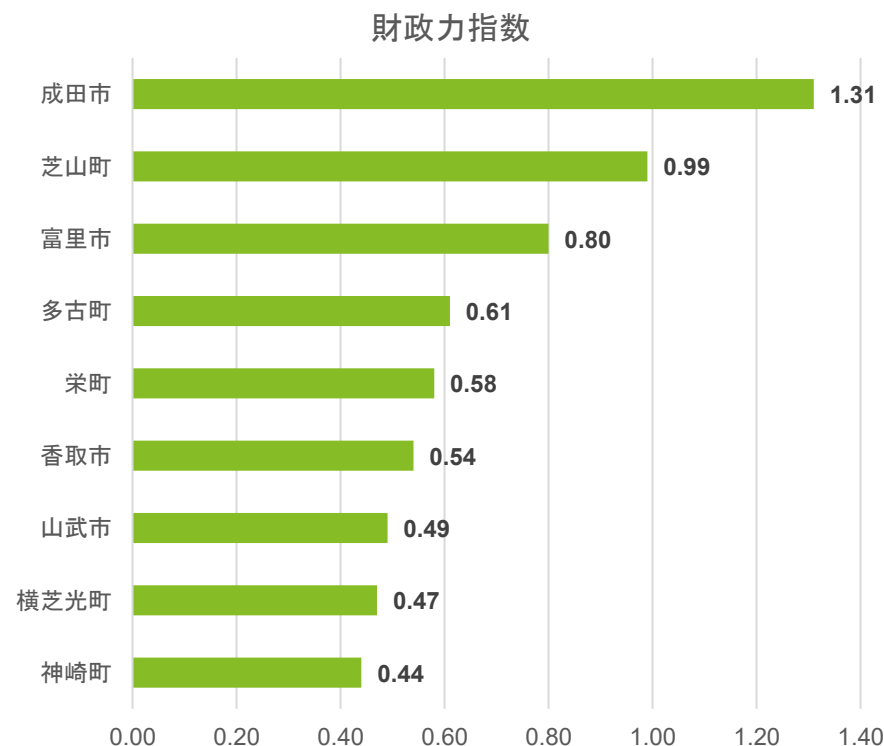
■ 慢性的な待機児童を抱えていた明石市と神戸市は、保育士の確保を目指して競うような財政支出を繰り返している。



年	明石市の動向	神戸市の動向
2016年12月	勤続2年で計30万円の一時金を支給	
2017年9月		勤続4年で計40万円の一時金を支給
2018年3月		勤続7年で計140万円の一時金を支給
2018年6月	勤続7年で計150万円の一時金を支給	
2018年9月		勤続7年で計160万円の一時金を支給
2020年6月	勤続7年で計160万円の一時金を支給	

### 空港周辺9市町の財政力

■ 近隣自治体との財政力の差を考慮すると、財政力に直接左右される、行政サービスの拡大による利便性追求のみで戦うべきではないと史料。

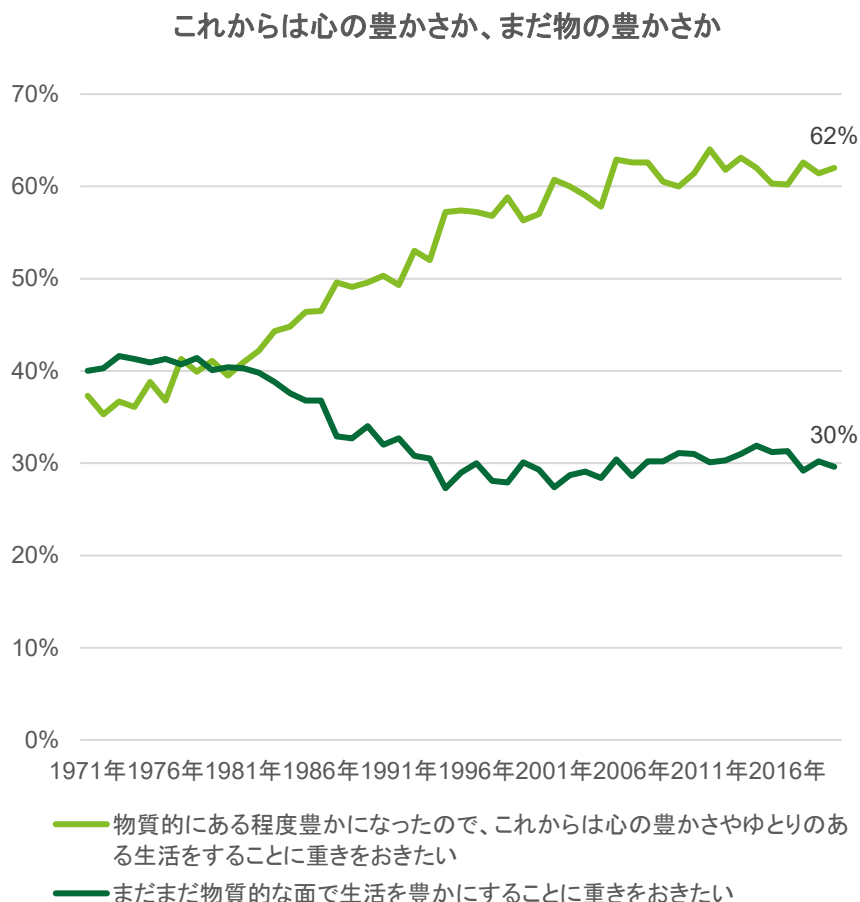


# モノの所有よりも、体験・ストーリー・共感などから心の豊かさを求めるコト消費への需要が高まっている

居住に関するニーズ

## コト消費の高まり

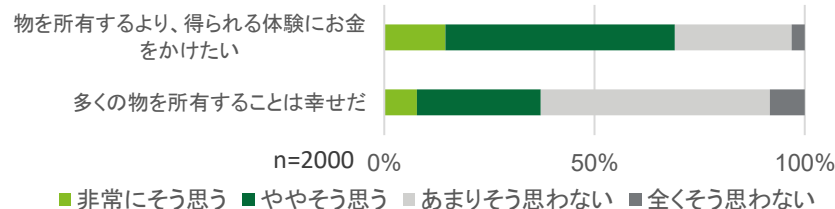
### 求める豊かさの変化



出所：内閣府「国民生活に関する世論調査」、2019年より

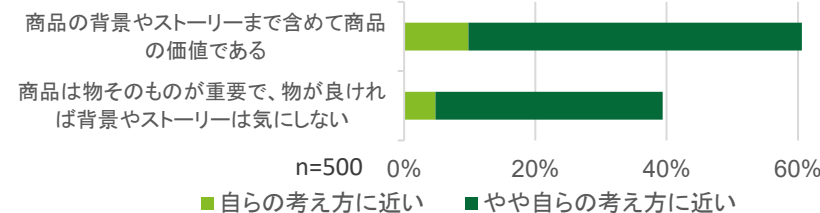
### 体験・ストーリー・共感に関する消費意識

#### 所有と体験についての意識



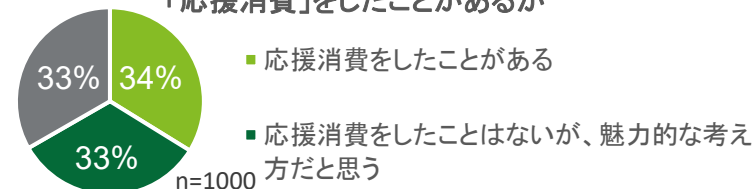
出所：プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険「シェアリング・エコノミーと所有に関する意識調査2016」、2016年より

#### 商品の価値について、どちらの考え方に近いか



出所：株式会社ヤラクス館 SoooooS.カンパニー「生活者の「社会的意識・行動調査」、2015年より

#### 人や企業・地域を応援するためにお金を使う「応援消費」をしたことがあるか



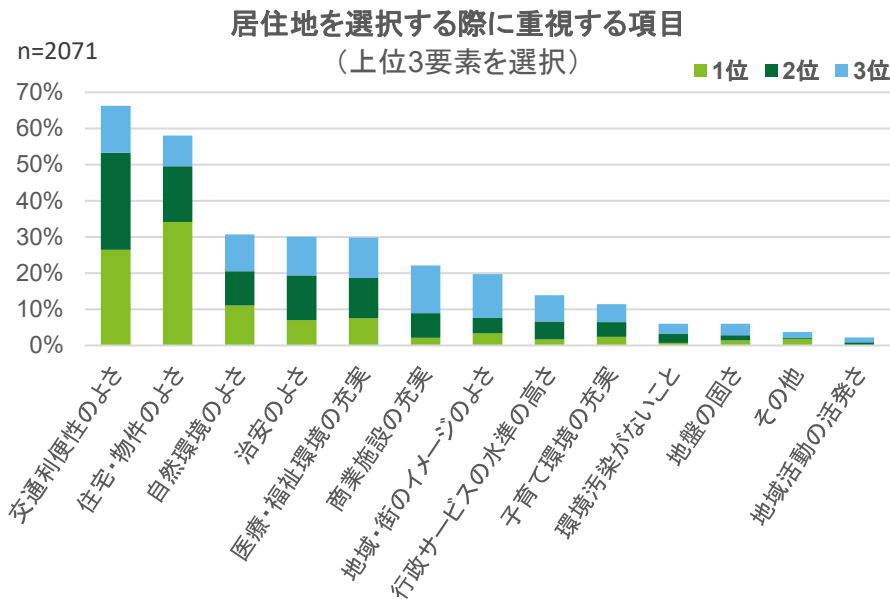
出所：株式会社ジャパンネット銀行「「応援消費」に関する意識・実態調査」、2020年より

# 居住地選択の判断材料として、生活利便性に関する要素とともに、自然の豊かさが上位に入る

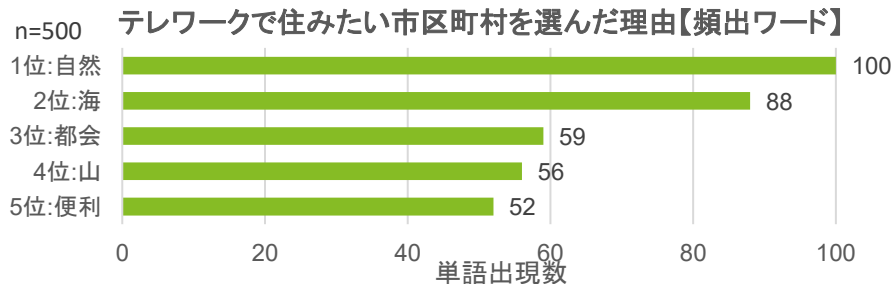
居住に関するニーズ

## 移住先を決定する要素

### 居住地選択の際の判断要因

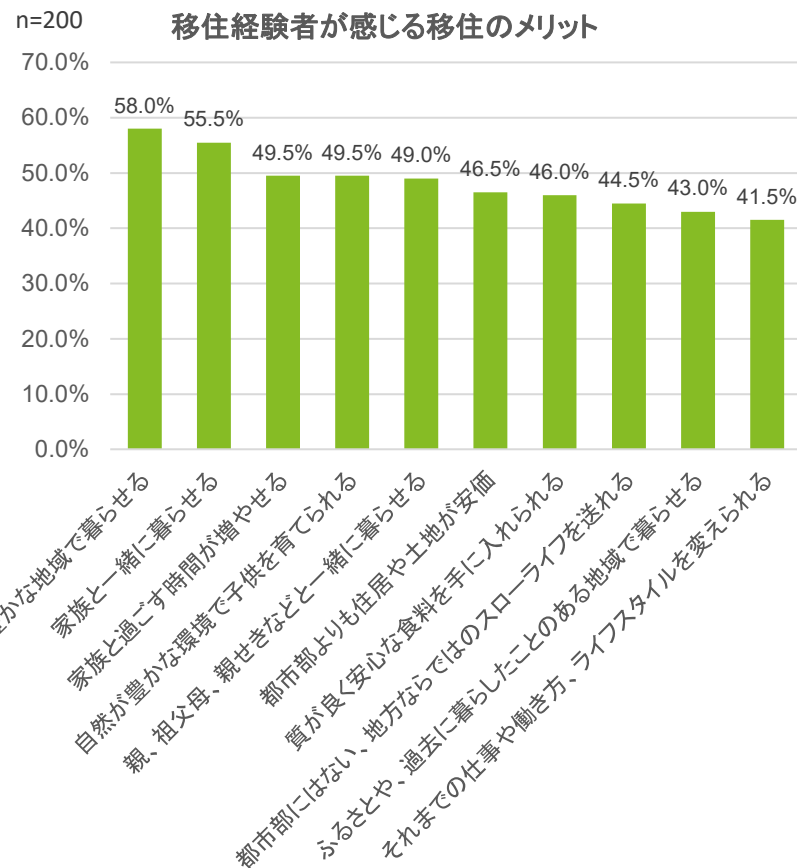


出所: 国土交通省「居住地域に関する意識調査」、2010年より



出所: 株式会社AlbaLink「テレワークになったら住んでみたい街ランキング調査」、2021年より

### 移住のメリット



出所: 三重県「全国の地方移住経験者に対する意識調査」、2020年より

# ターゲットとニーズの具体化

# 本事業におけるターゲット検討のゴールを以下の通り設定した

## 本事業において、検討対象とするターゲット

メイン

### 空港関連従業員

- 空港関連業務は労働集約型の産業であり労働者数が多いことや、空港機能強化により、更なる空港関連従業員の拡大が見込まれていることから、横芝光町の居住者増加に向け、狙うべきターゲットである
- また、空港関連従業員は、第2期人口ビジョンにて目標値「4032人」の新規居住者獲得を掲げていることから、実現に向けた計画・アクションプランの検討・策定が必要

➤ メインターゲットであるため、空港実態調査やデスクトップ調査、ヒアリング調査といった多様な手段により、対応する想定

### COVID-19\*により、 地方への移住ニーズを有する都心居住者

- COVID-19により、在宅ワークが推奨され、職住近接から職住融合への転換が進んでおり、地方への移住ニーズが高まってきている
- そのため、横芝光町の居住者増加に向け、サブテーマではあるが、COVID-19により、地方への移住ニーズを有する都心居住者も検討すべきターゲットとして加えるべきと  
思料

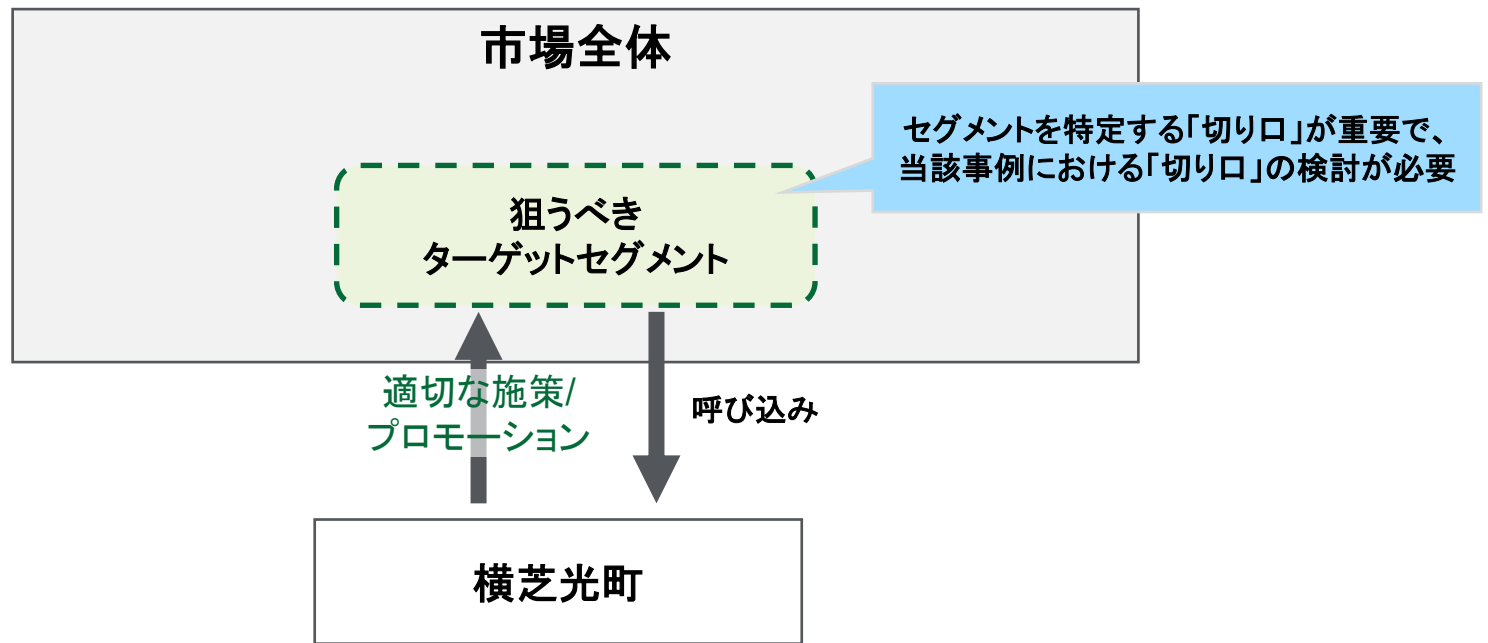
➤ サブターゲットであるため、デスクトップ調査により効率的に対応する想定

\*) 新型コロナウイルス感染症

# 居住者獲得に向け、横芝光町として狙うべきターゲットセグメントの設定をすべき

## ターゲット設定の意義

- 市場全体の中で、共通のニーズを持ち、認識の仕方や価値観、ライフスタイル等が似ている集団を切り分け、狙うべきターゲットに対象を絞ることで、効果的かつ効率的な施策/プロモーションの実行が可能になる



### 【参考】

- 流山市のターゲット: 首都圏の DEWKS (Double employed with kids ≒ 30 歳代 40 歳代の共働き子育て世代)
- 掛川市のターゲット: 掛川市及び近隣市町出身の 20代後半～30代前半の都市部在住者

# 千葉県内に居住し、空港関連業務を行う、20代後半から～30代の共働き子育て世帯をターゲットとする

## 空港関連従業員におけるターゲット設定

### ターゲット

- ターゲット像: 千葉県内に居住し、空港関連業務を行う、20代後半から～30代の共働き子育て世帯 (ペルソナ具体例: 千葉県内に居住し、航空機サービス業(グランドハンドリング等)やその他サービス業(清掃・警備等)、航空運送事業(航空会社)に従事、かつ**横芝光町**／**自然豊かな地方出身**の20代後半から～30代の共働き子育て世帯)
- ニーズ: 自然の多い環境での子育てをしながら、自身の生活を楽しむことを両立させたい

ターゲットに出来る層

- 空港関連従業員の約9割を占める千葉県内在住者
- 家の購入などのライフイベントを控えた、居住地選択の自由度が比較的高い、20代から30代の空港従業員。
- リタイアを見据えて移住意欲が向上する千葉県内に居住する50代の空港従業員。

横芝光町の強みを活かすことができる層

- 自然環境・子育て環境・ゆとりのある生活空間へのニーズが強まる30代の子育て初期の世帯
- 一定の収入を確保できる共働き世帯。
- 自然環境へのニーズを有する、リタイア前後の世代。

横芝光町が呼び込むべき層

- 増大する空港従業員を誘引したい(空港内従業員の大半が千葉県内に在住)
- 人口増加の観点から、特に、子育て世代が望ましい



# 多くのターゲット候補から、本構想への賛同が得られた

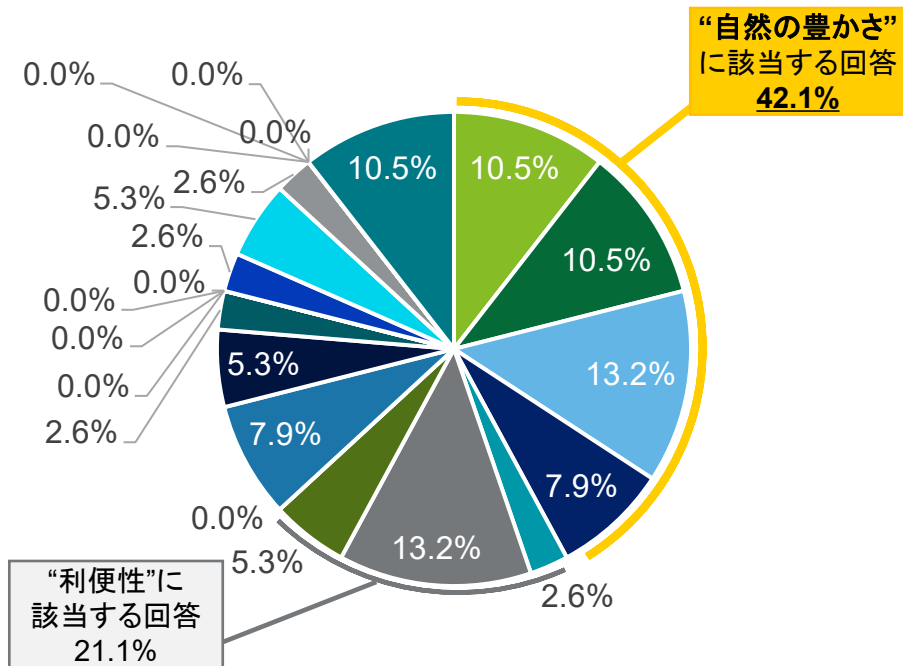
## 空港関連従業員ヒアリング結果概要(本構想への主な意見)

- 空港関連従業員を呼び込むには、まずは訪れてもらうことが必要
  - 空港関連従業員の中でも横芝光町を知っているものは多くないため、まずは訪れてもらい、知ってもらうことが必要である。
- 海・川を活かした活性化策に賛同する
  - 横芝光町への居住を選んだ理由が、「海があり、自然が豊か」であることから、本構想における「海・川を活かしたまちづくり」に強く共感する。
  - 正にこうあって欲しいという形が目指すべきまちづくりに描かれているので、是非実現して欲しい。
  - 海辺だけでなく海隣接エリアへの趣味追求型の住宅整備も推進すべき。
- 学童保育の運営時間延長が必要
  - 児童クラブの終了時間が18:30までのため、成田空港で仕事を終えて急いで帰宅しても間に合わないことがあり、いつもぎりぎりの生活を送っている。空港関連従業員を呼び込みたいなら改善が必要である。
- 日常生活に必要な機能よりも、生活を豊かにする機能の整備を強化して欲しい
  - 日常生活に必要な小売店は充足しているが、生活を豊かにするカフェや個店が少ないので、改善が必要である。
- 将来的な持続可能なまちづくりの検討が必要
  - 将来、高齢者になり、自動車が運転できなくなった際の生活への不安があるので、将来的には、交通弱者でも住みやすいまちづくりも組み入れて検討して欲しい。

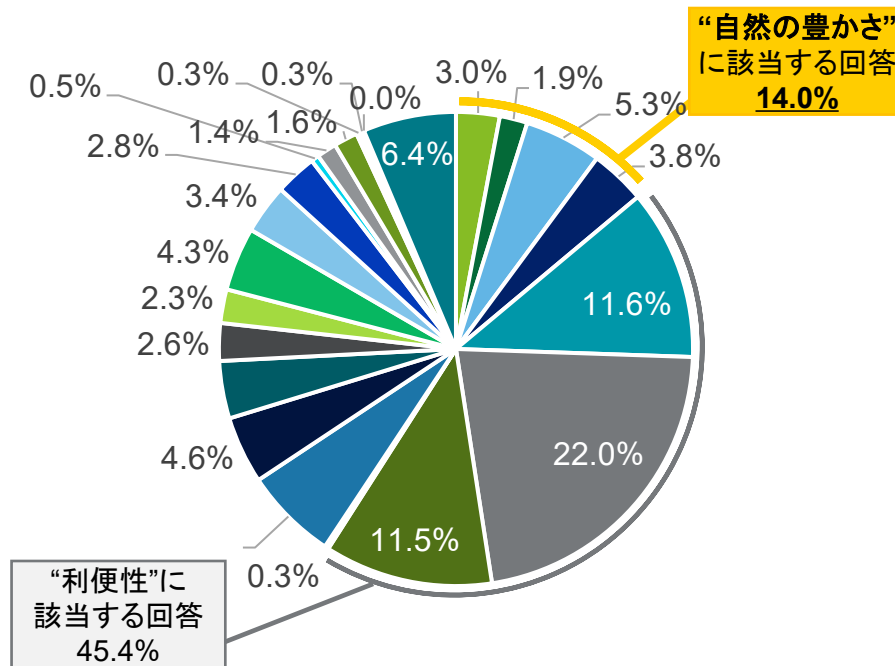
# 成田市在住者に比べ、横芝光町・山武市等在住者は、居住地の選択理由として自然の豊かさを理由とする割合が高い

## 現居住地を選択した理由の比較(成田市在住者と横芝光町・山武市等在住者)

横芝光町・山武市等\*在住者の回答[n=38]



成田市在住者の回答[n=740]



- |                    |                   |                 |                   |
|--------------------|-------------------|-----------------|-------------------|
| ■ 自然が豊かだから         | ■ 買い物など日常生活が便利だから | ■ 医療環境が充実しているから | ■ エンタメ等で賑やかな環境だから |
| ■ 田舎の良さがあるから       | ■ 都会の良さがあるから      | ■ 公共施設が充実しているから | ■ スポーツ活動が盛んだから    |
| ■ 静かな環境だから         | ■ 子育てしやすいから       | ■ 学校設備が充実しているから | ■ 文化芸術活動が盛んだから    |
| ■ 街の雰囲気がのどか／落ち着くから | ■ 住宅価格、家賃が安いから    | ■ 趣味の活動に便利だから   | ■ その他             |
| ■ 交通の便が良いから        | ■ 治安が良いから         | ■ 図書館が充実しているから  |                   |
| ■ 職場や学校が近いから       | ■ 自然災害が少ないから      | ■ 福祉が充実しているから   |                   |
- “自然の豊かさ”に区分  
     “利便性”に区分

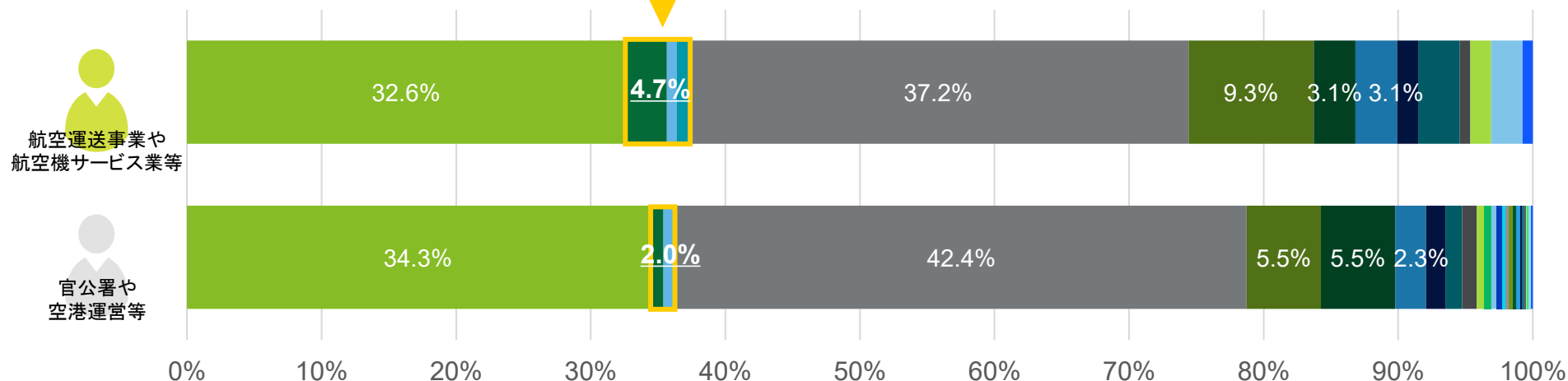
\*) 成田国際空港以東の九十九里浜近隣市町として横芝光町(26件)山武市(7件)匝瑳市(1件)東金市(4件)の回答を合算(本項では設問13(複数回答可)の総回答数2369の内、一定の居住地の回答を母数として割合を算出)

# 官公署や空港運営等に比べ、航空運送事業や航空機サービス業に従事する方は、横芝光町・山武市在住者の割合が高い

職種における現居住地割合の比較(成田市在住者と横芝光町・山武市等在住者)

職種分類別の居住地割合[n=872]

横芝光町・山武市等\*の割合



- 成田市
- 東金市
- 香取市
- 芝山町
- 印西市
- 龍ヶ崎市
- 酒々井町
- 横芝光町
- その他千葉県内市町村
- 埼玉県
- 鎌ヶ谷市
- 京都府
- 千葉市
- 山武市
- 富里市
- 多古町
- 神奈川県
- 船橋市
- 佐倉市
- 栃木県
- 匝瑳市
- 東京都
- 栄町
- 神埼町
- 八街市
- 市川市
- 稲敷郡河内町
- 横芝光町・山武市等\*に区分

\*)成田国際空港以東の九十九里浜近隣市町として横芝光町(12件)山武市(4件)匝瑳市(1件)東金市(1件)の回答を合算(本項ではアンケートの総回答者数872を母数として割合を算出)

# 【参考】メインターゲットのニーズ仮説を検証するため、空港関連従業員に対し居住地の選択理由等を中心としたアンケートを実施した

## アンケートの実施概要

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空港従業員の属性情報と居住地の選択理由を収集することで、横芝光町への移住に関心を持ちうるターゲット像の検証・精度向上を図る</li> </ul>
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成田国際空港関連従業員</li> </ul>
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Microsoft Formsを利用したWebアンケート</li> <li>■ 15の問を設定</li> </ul>
アンケート設置場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成田国際空港従業員休憩室 等</li> </ul>
実施期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 10/20~10/31</li> </ul>
回答者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 872</li> </ul>

設問*	
1	年齢
2	性別
3	家族構成
4	職種
5	主な勤務地
6	勤務形態
7	通勤所要時間(自宅から成田国際空港までの片道)
8	出身地
9	出身地の自然の豊かさ
10	現在の居住地
11	現居住地の前に住んでいた居住地
12	転居のきっかけ
13	現居住地を選んだ際の理由(現居住地の特徴)
14	設問13で「自然環境が豊かだから」を選択された理由
15	転居を検討する場合に重視したい街の特徴

\*) 居住地域に関する意識調査(平成22年 国土交通省土地市場課)等をもとにデロイト作成

# 23区内に在住し、マーケティング・企画職などのリモートワーク普及率の高い職業に就く20代から30代の若者をサブターゲットとするべき

## サブターゲットの設定

### サブターゲット

- サブターゲット像: 23区内に在住し、マーケティング・企画職などのリモートワーク普及率の高い職業に就く20代から30代の若者
- ニーズ: リモートワークの普及により、都心へのアクセスよりも、自身が望む柔軟なライフスタイルをおくれる生活を重視したい

ターゲットに出来る層とは？



横芝光町の強みを活かすことができる層とは？



横芝光町が呼び込むべき層とは？

- テレワークを積極的に取り入れており、マーケティング・企画職、専門職、営業職、クリエイティブ職。
- リモート普及率の高い、東京都23区内の住民。

- 自然環境・子育て環境・ゆとりのある生活空間へのニーズが強まる30代の子育て初期の世帯
- 一定の収入を確保できる共働き世帯
- 自然環境へのニーズを有する、リタイア前後の世代

- 少数であっても、横芝光町活性化にポジティブなインパクトをもたらせる人材。

有識者



- 現在設定されているサブターゲットについては、横芝光町に頻りに訪れて移住を検討している人の像と相当程度一致すると考えている。

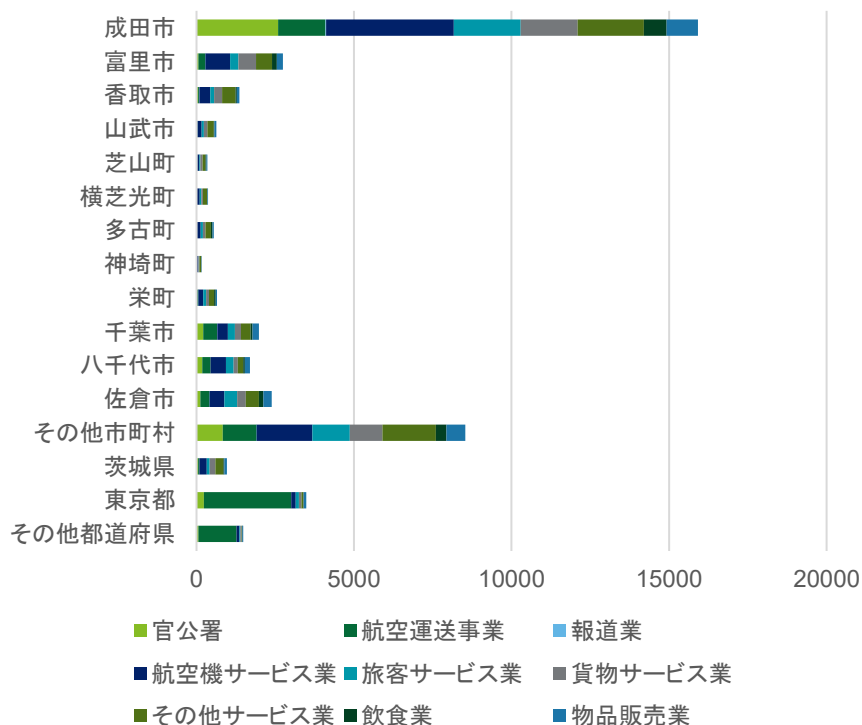
# 空港従業員の中でも、今後横芝光町に居住する可能性が高い業種に絞った検討を実施することを想定

取扱注意

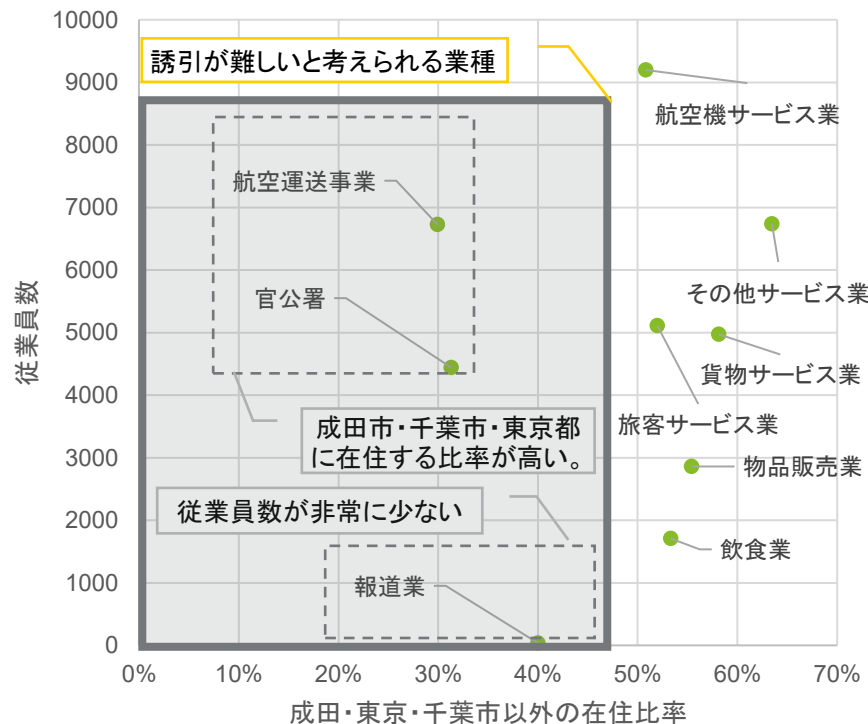
## 検討対象とする業種

- 現状の居住地と従業員数から検討すると、航空機サービス業(グランドハンドリング・航空機整備業等)やその他サービス業(警備業・施設保守管理業等)が誘引可能な空港関連従業員のメインボリュームを形成する可能性が高い。
- 官公署(税関・検疫・入出国管理・外交等)や航空運送業(国際線旅客等)は成田・東京・千葉市への在住が70%近く、誘引が難しい層であると考えられる。

居住地別



従業員数 × 成田・東京・千葉市以外の在住比率

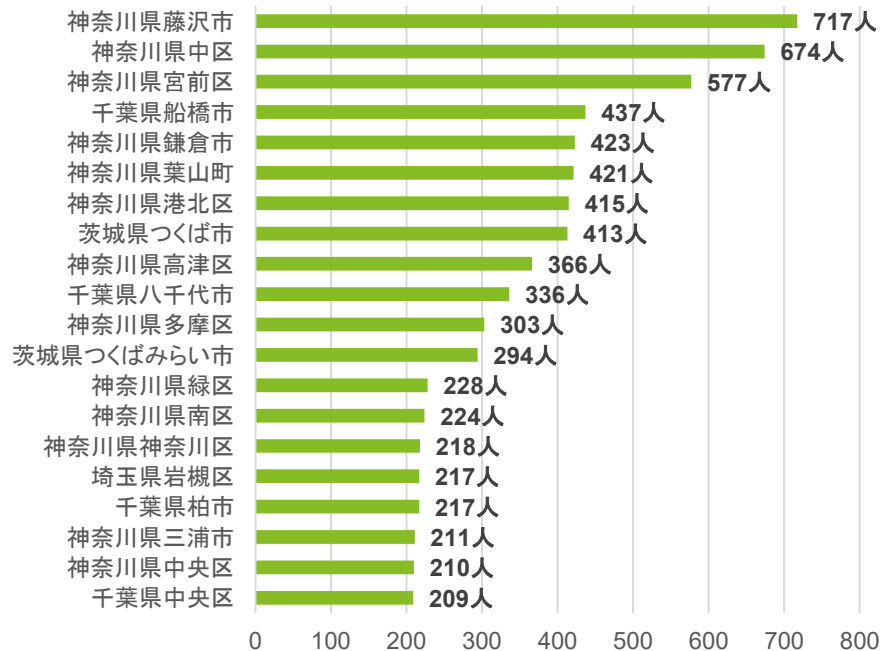


# 東京都の転出人口の誘引に成功している自治体は、都心からのアクセスが良好な自治体か、高いブランド力を持つ自治体である

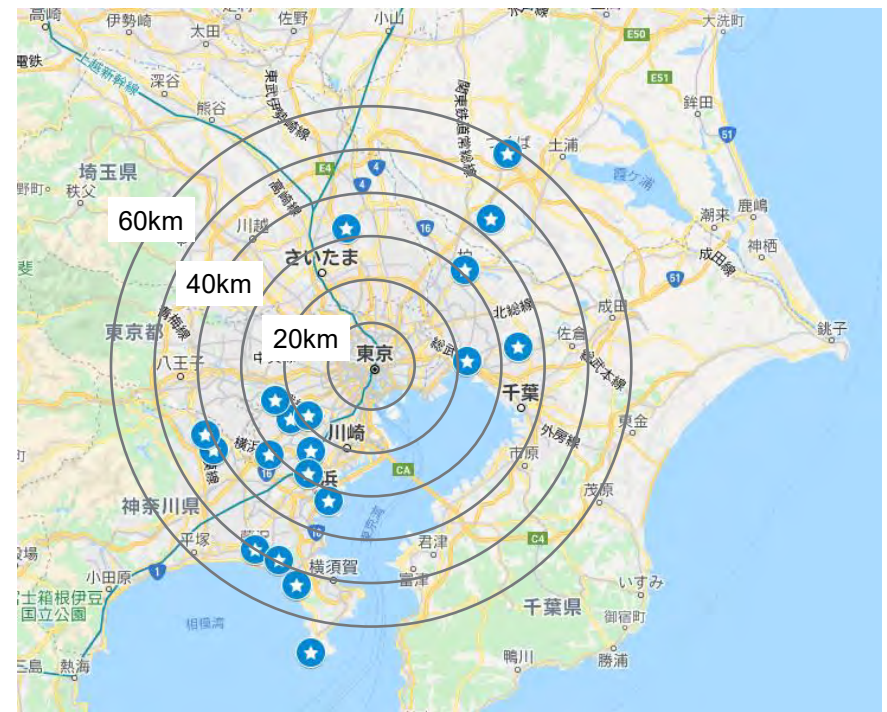
## 東京都からの転出人口を誘引する自治体

- 東京都からの転出人口を誘引することに成功している自治体は、都心へのアクセスが1時間前後の自治体が多い。
- 鎌倉市や葉山町など、居住地としてのブランドを確立した自治体も上位に位置している。

東京都からの転入者が増加した自治体  
(2020年転入者数-2019年転入者数)



東京都からの転入者が増加した自治体の位置



### ポイント

現状のトレンドから判断すると、東京都からの転出人口により、「人口増」のような数的目標を目指すのは現実的ではない。  
少数でも、まちの活性化に資するスキルのある人を誘引することを目標とするべきでないか。

出所:総務省「住民基本台帳人口移動報告」より



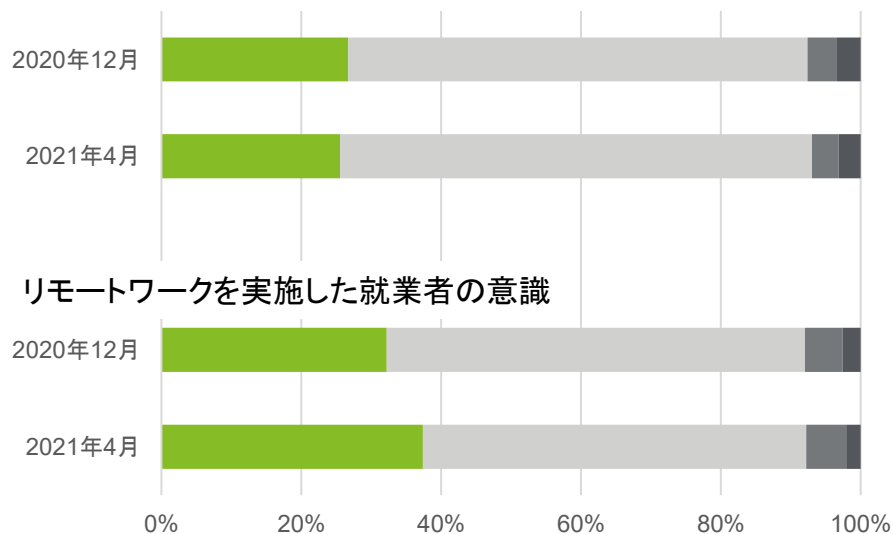
# リモートワークの経験により、ワークライフバランスを見直す意識や、移住に対する関心が高まる傾向にある

## リモートワークによるライフスタイルへの影響

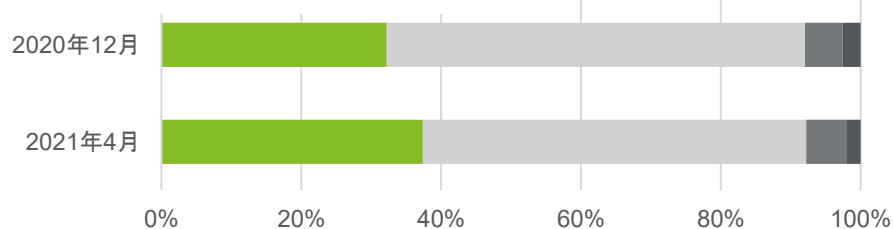
■ リモートワークを経験することで、ワークライフバランスに対する意識や移住に対する関心が向上する傾向がある。

### ワークライフバランスに対する意識

リモートワークを実施していない就業者の意識



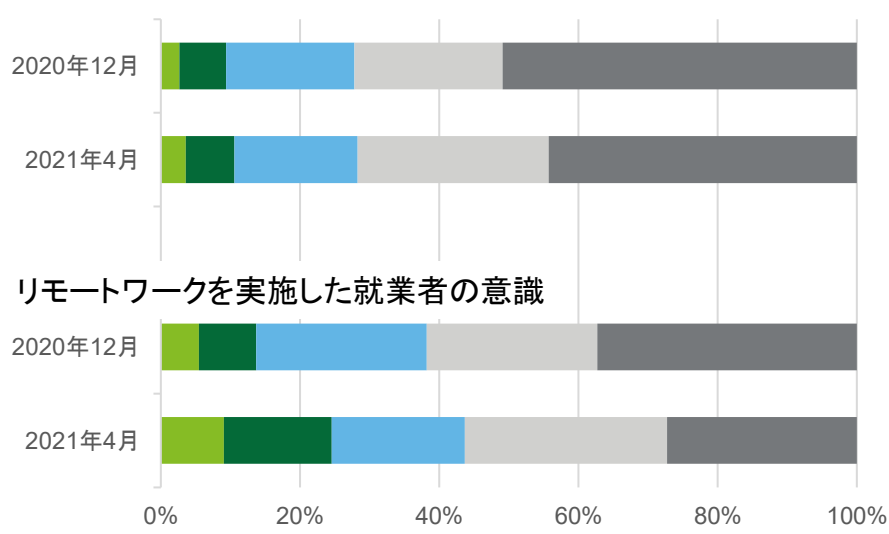
リモートワークを実施した就業者の意識



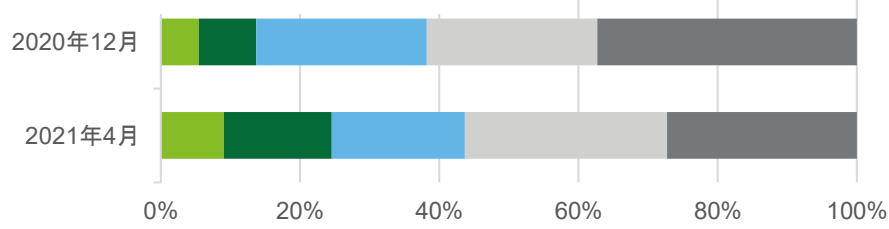
- 感染症拡大前よりも、生活を重視するように変化
- 変化はない
- 感染症拡大前よりも、仕事を重視するように変化
- わからない

### 移住に対する関心

リモートワークを実施していない就業者の意識



リモートワークを実施した就業者の意識



- 強い関心がある
- やや関心がある
- 関心がある
- あまり関心がない
- 全く関心がない

出所:内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」より

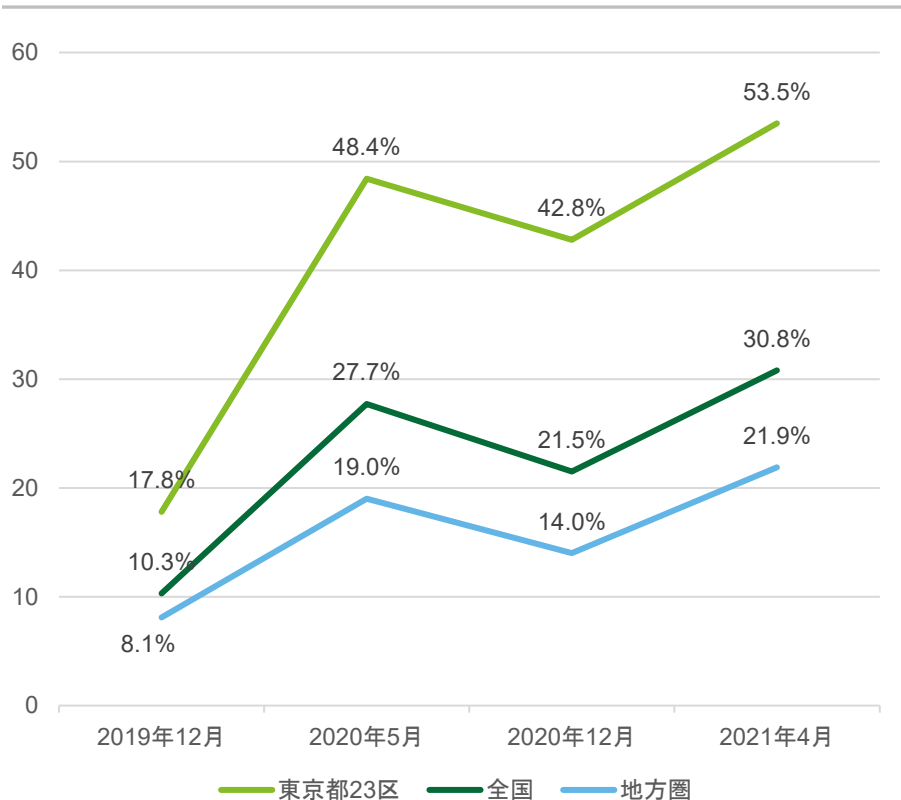


# リモートワーク経験率・利用頻度共に特に高い、23区内居住者をターゲットとすべきではないか

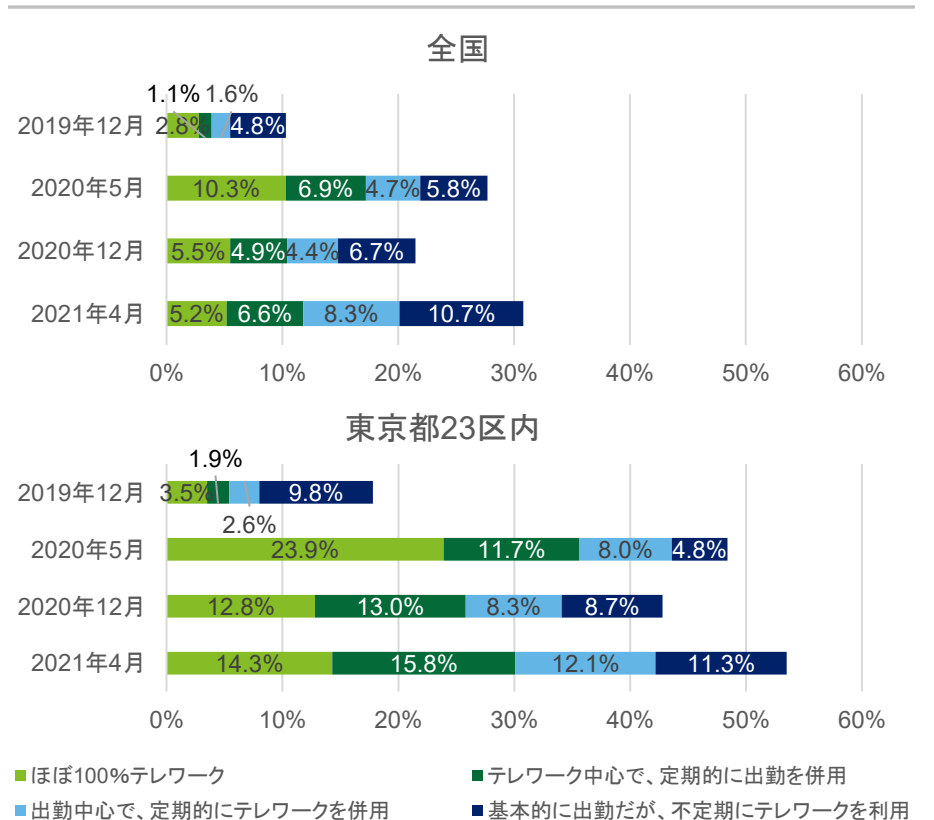
## 居住地別リモートワーク経験率・利用頻度

■ 居住地によりテレワーク経験率・利用頻度には大きな差が生じており、東京都23区内での普及率が特に高い。

### 居住地別リモートワーク経験率



### 居住地別リモートワーク利用頻度



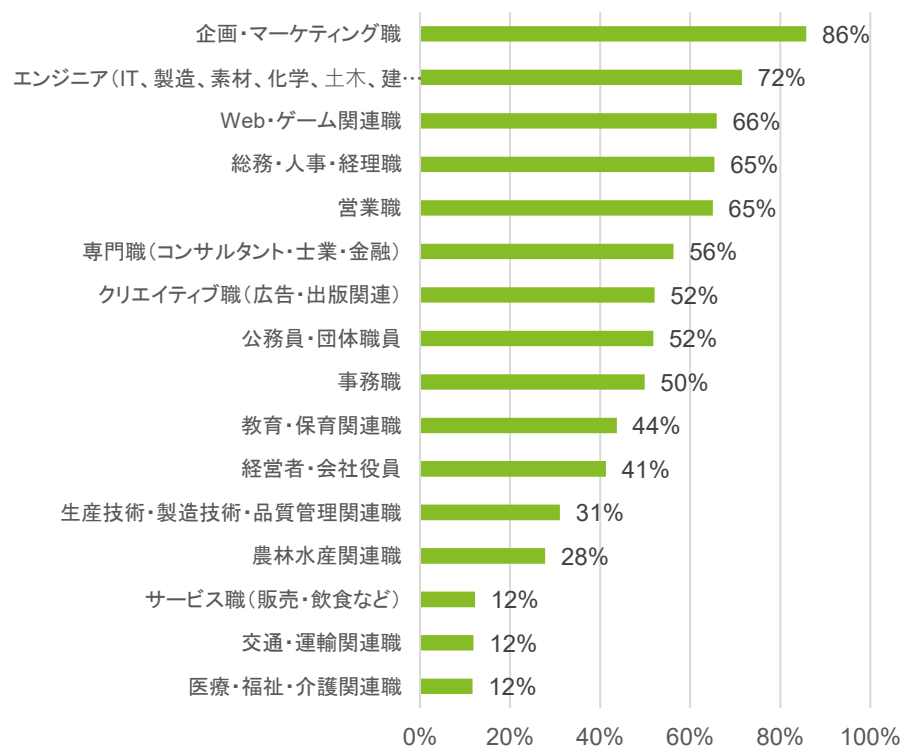
出所:内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」より

# 職住分離の可能性を高めるリモートワーク経験率と、移住に対する関心の二軸からターゲットとなる職種を特定すべきではないか

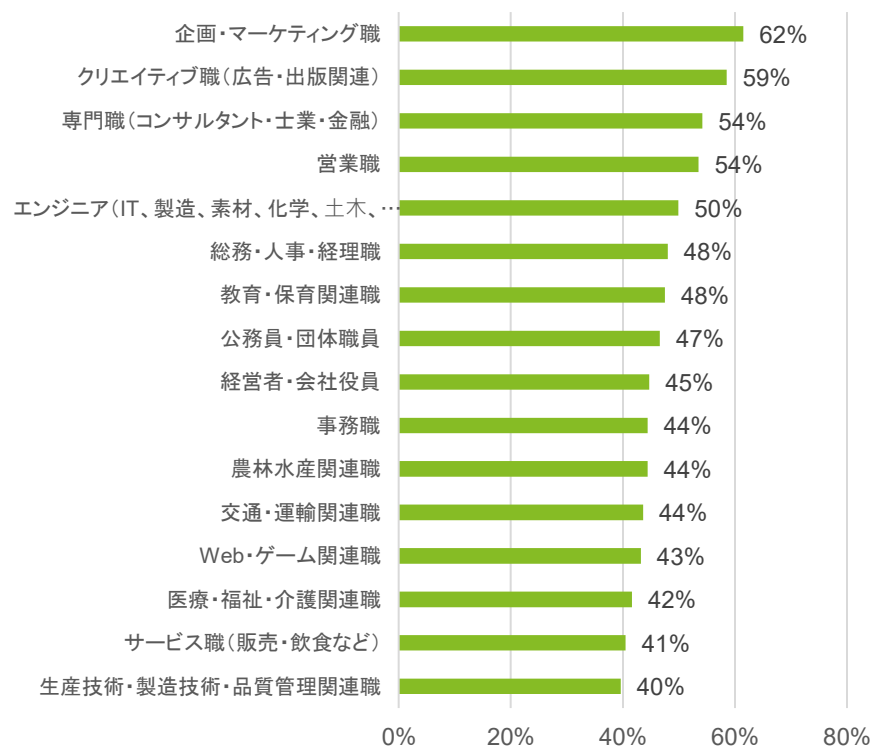
## 職種別リモートワーク経験率・移住に対する関心

- リモートワーク経験率は職種によって大きな差が生じており、企画・マーケティング職や、エンジニア職などで広く普及している。
- 移住に関する関心とリモートワーク経験率は一定の相関関係が観られるが、Web・ゲーム関連職などではリモートワーク経験率が高い一方で、移住に関する関心は低位に留まる。

リモートワーク経験率



移住に対する関心

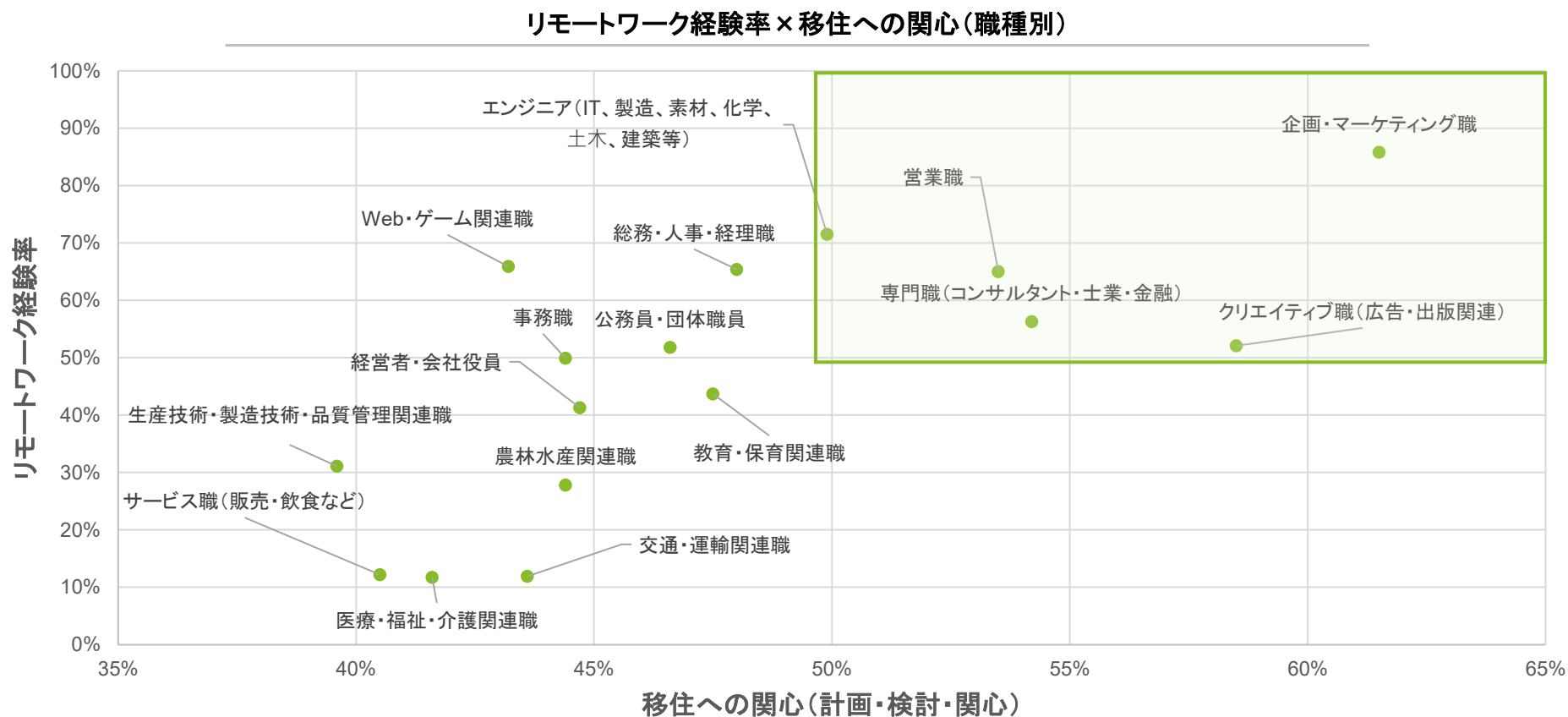


出所:KDDI総合研究所「コロナは移住を加速させるか?～首都圏生活者の移住意向調査」より

# リモートワーク経験率と移住への関心が共に高い、企画・マーケティング職などが主たるターゲットとなるのではないか

## ターゲットとすべき職種の検討

- リモートワーク経験率が高く、職住分離が可能である職種であり、かつ移住への関心が高位である企画・マーケティング職や専門職などが有望なターゲットとなり得る。



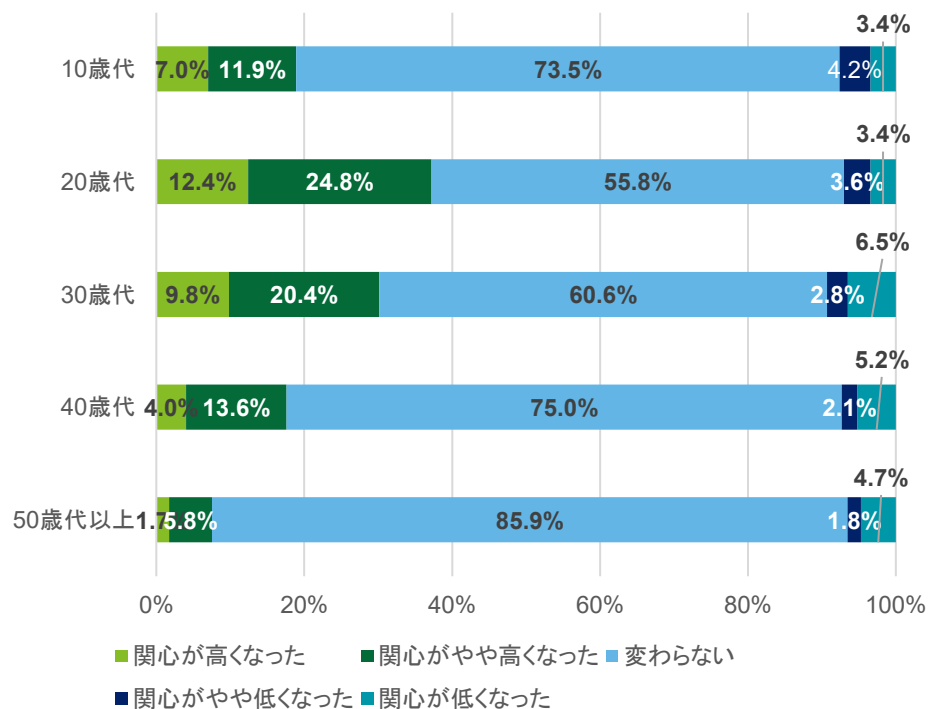
出所:KDDI総合研究所「コロナは移住を加速させるか?～首都圏生活者の移住意向調査」を基に弊社作成

# コロナ感染症の影響で、地方移住への関心が高まり、具体的な行動をとる人の割合が上がっている20代・30代をターゲットとすべきではないか

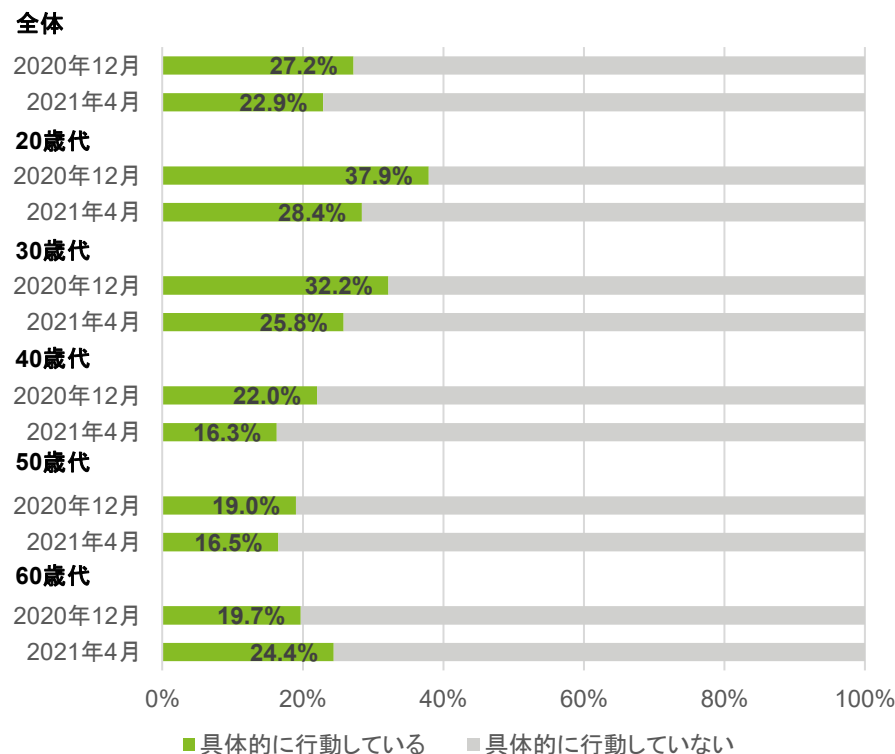
## ターゲットとすべき年齢の検討

■ 移住に関する関心、行動ともに20代から30代で高まる傾向がみられる。

感染症の影響による地方移住への関心の変化



地方移住に関心のある人のうち  
移住先の情報収集などの行動を半年以内にとった人の割合



出所:内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」より

**内部環境・外部環境を踏まえた  
取り組むべき方向性の導出**

# 以下のような横芝光町の内部環境・外部環境を踏まえた戦略の立案が肝要である

## 内部環境・外部環境サマリ

### 内部環境・外部環境サマリ

### 取組テーマへの示唆

内部環境



強み

~Strength~

- 海・川・星などの豊富な自然資源
- 充実した子育て環境
- 図書館などの公共施設
- ゆとりのある居住空間を可能とする、安価な居住コスト

- 自然資源を磨く取組と、既存の利便性を活用した取組の双方が必要



弱み

~Weakness~

- 低位な交流人口数
- 交通利便性の悪化
- 街並み・景観の悪化

- 交流・関係人口を増やすための施策が求められる

外部環境



機会

~Opportunity~

- コト消費の高まり
- Covid-19の影響によるリモートワークの普及と移住機運の高まり
- 居住地選択時に自然環境を重要視する傾向
- 共働き世帯の増加

- 自然環境などを活用し、コト需要に応じることができる町づくりが必要
- 共働きやリモートワークなどの新たな働き方への対応が必要



脅威

~Thread~

- 周辺市町の移住者誘致の取組
- 近隣市町の公共交通強化の取組
- 近隣市町の宅地形成の取組

- 短期的には空港従業員以外のターゲットが、より重要になる可能性
- 他自治体との差別化を図る取組が必要

# 以下の強み・弱みと外部環境に関する要素を掛け合わせることで、横芝光町の取り組むべき重点テーマ導出に向けた考え方を導出する

## クロスSWOT分析の考え方

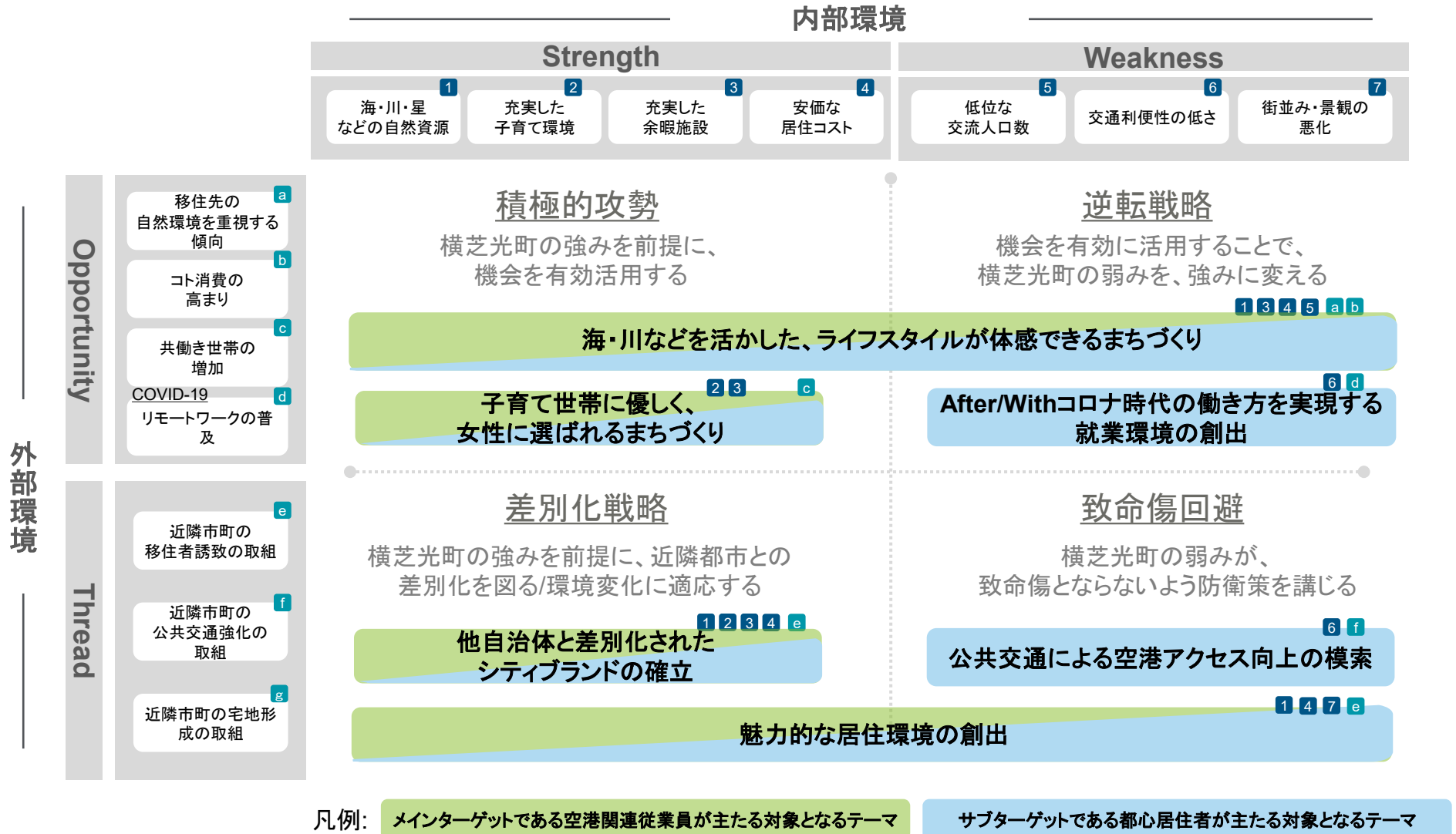


強み・弱みと外部環境に関する要素を掛け合わせる  
【クロスSWOT分析】

掛け合わせ	テーマの方向性	概要
強み×機会	積極的攻勢	横芝光町の強みを前提に、機会を有効活用する
弱み×機会	逆転戦略	機会を有効に活用することで、横芝光町の弱みを、強みに変える
強み×脅威	差別化戦略	横芝光町の強みを前提に近隣市町との差別化を図る/環境変化に適應する
弱み×脅威	致命傷回避	横芝光町の弱みが、致命傷とならないよう防衛策を講じる

# 重点テーマ導出に向けた6つの考え方を、横芝光町の強み/弱み・外部環境をもとに検討した

## クロスSWOTによる取組むべき方向性案の導出





# 【参考】空港関連従業員へのアンケートおよびヒアリングを踏まえ、星がきれいに見えることも横芝光町の強みといえるのではないか

## 空港関連従業員アンケート／ヒアリングから推察される”星”の魅力

➤ 「星が良く見える」ことは、居住地検討において自然環境を重視する方の中で一定の優先度が推察される

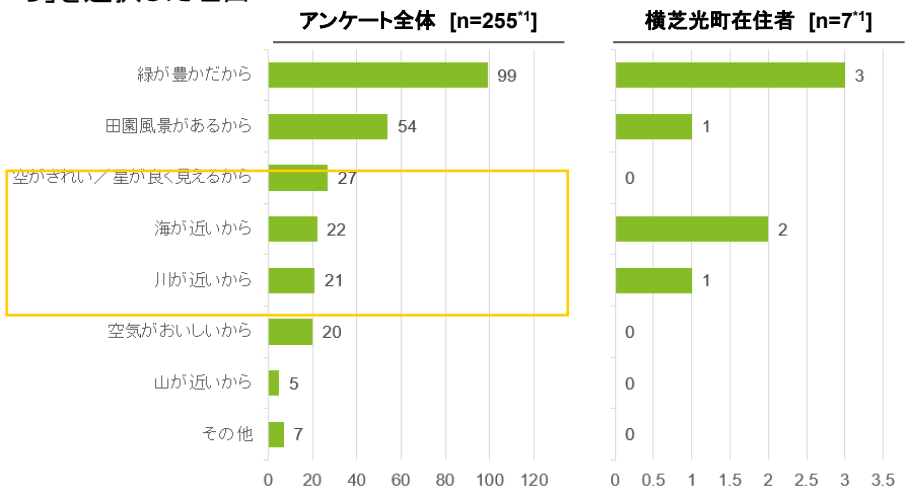
- 横芝光町在住者において居住地選択の理由として、「星が良く見えること」を理由とする回答はゼロとなっているものの、アンケート全体では、「海・川が近い」ことよりも「星が良く見える」ことを理由とした回答が多いため、「星が良く見える」ことの一定の優位性が推察される

➤ 実際に横芝光町に住まわれている空港関連従業員から、星空の魅力について意見を頂いており、横芝光町の強みになりうると推察される

- “星空、夏は天の川、流星群もよく見える”
- “朝日や月夜の感動は3年住んでも薄れない”

### 空港関連従業員アンケート 抜粋

設問14. 設問13(現居住地を選んだ際の理由)で、「自然環境が豊かだから」を選択した理由



\*1)本設問は複数回答可のため、総回答者数(872)ではなく総回答数(255)を母数とする

\*2)本設問は複数回答可のため、当該総回答者数(12)ではなく総回答数(7)を母数とする

### 空港関連従業員ヒアリング 抜粋

#### 横芝光町の自然環境について

- 海や自然を求めて転居し、実際に満足している。
- 住むまで訪れたことはなかったが、自然に癒されたい想いと、空港に通えること、こどもに自然環境を与えたいという考えで横芝光を選び、実際に満足している。
  - 海好きで空港従業員なら、横芝光はとてもよいのではないかと一宮は遠すぎる。
  - 星空、夏は天の川、流星群もよく見える。 普段の流れ星もよくみられる。海沿いが未開発で光が少ないため、星が良く見えるのでは。開発エリアと星エリアを分けて開発してもよいのでは。朝日や月夜、星空の感動は3年住んでも薄れない。

(参考資料編、日本貨物航空株式会社 F様へのヒアリング概要(2021年10月29日)(2/2)より)

参考: 横芝光町のリゾート宿泊施設NANJA MONJAでは、「NANJA MONJA 冬の星空鑑賞会」が企画されており、町内で星を活用した取り組みが実態として進んでいる

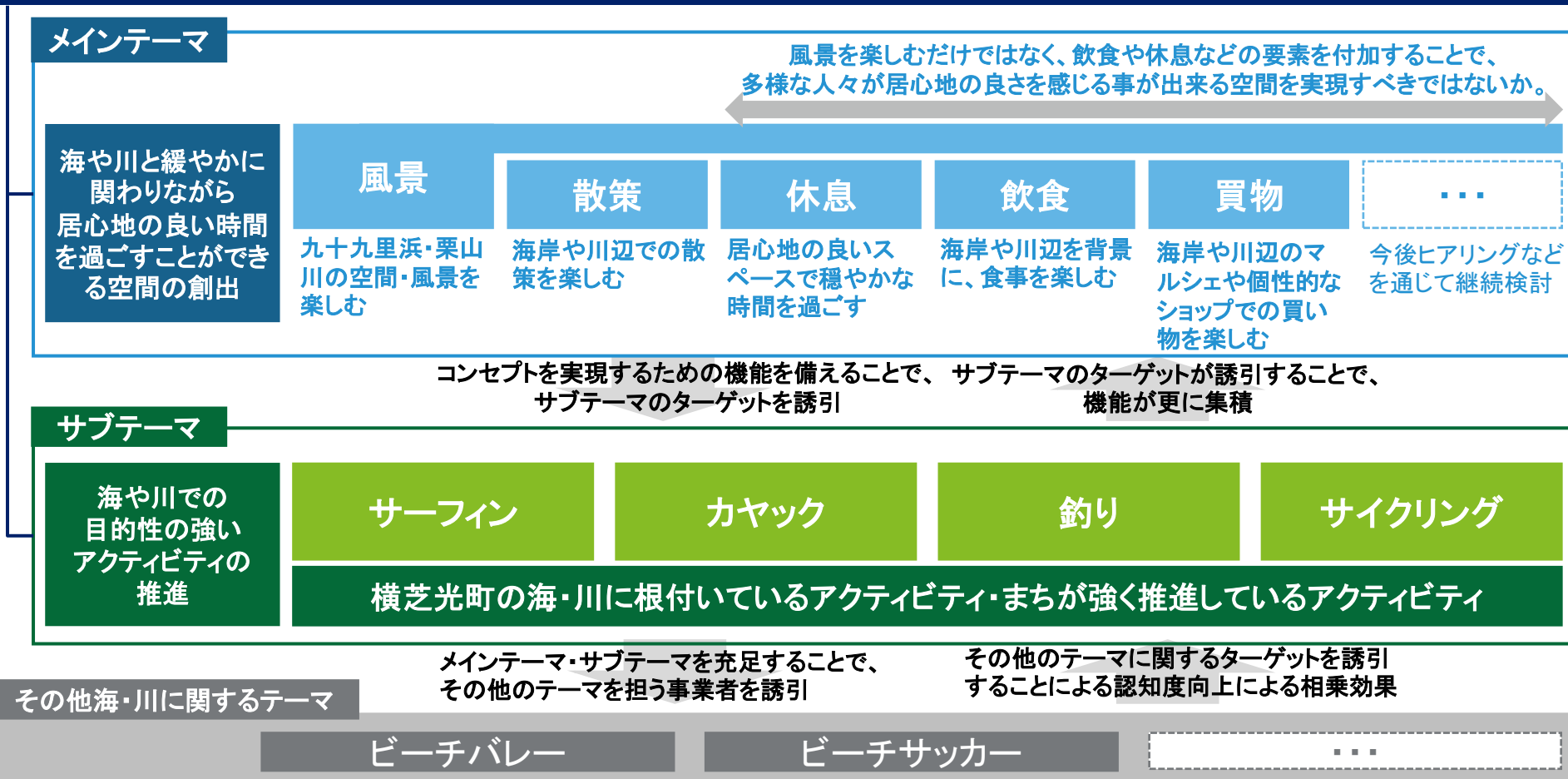
## 取り組むべき方向性を踏まえた取組テーマの具体化

- 重点取組テーマ 海・川などを活かした、ライフスタイルが体感できるまちづくり
- テーマⅠ 魅力的な居住環境の創出
- テーマⅡ 子育て世帯に優しく、女性に選ばれるまちづくり
- テーマⅢ 公共交通による空港アクセス向上の模索
- テーマⅣ After/Withコロナ時代の働き方を実現する就業環境の創出
- テーマⅤ 他自治体と差別化されたシティブランドの確立

# 人々の海や川へのニーズを踏まえたメインテーマと、横芝光町に根付いている/まちが強く推進しているアクティビティを踏まえたサブテーマを設定した

## メインテーマ/サブテーマの設定

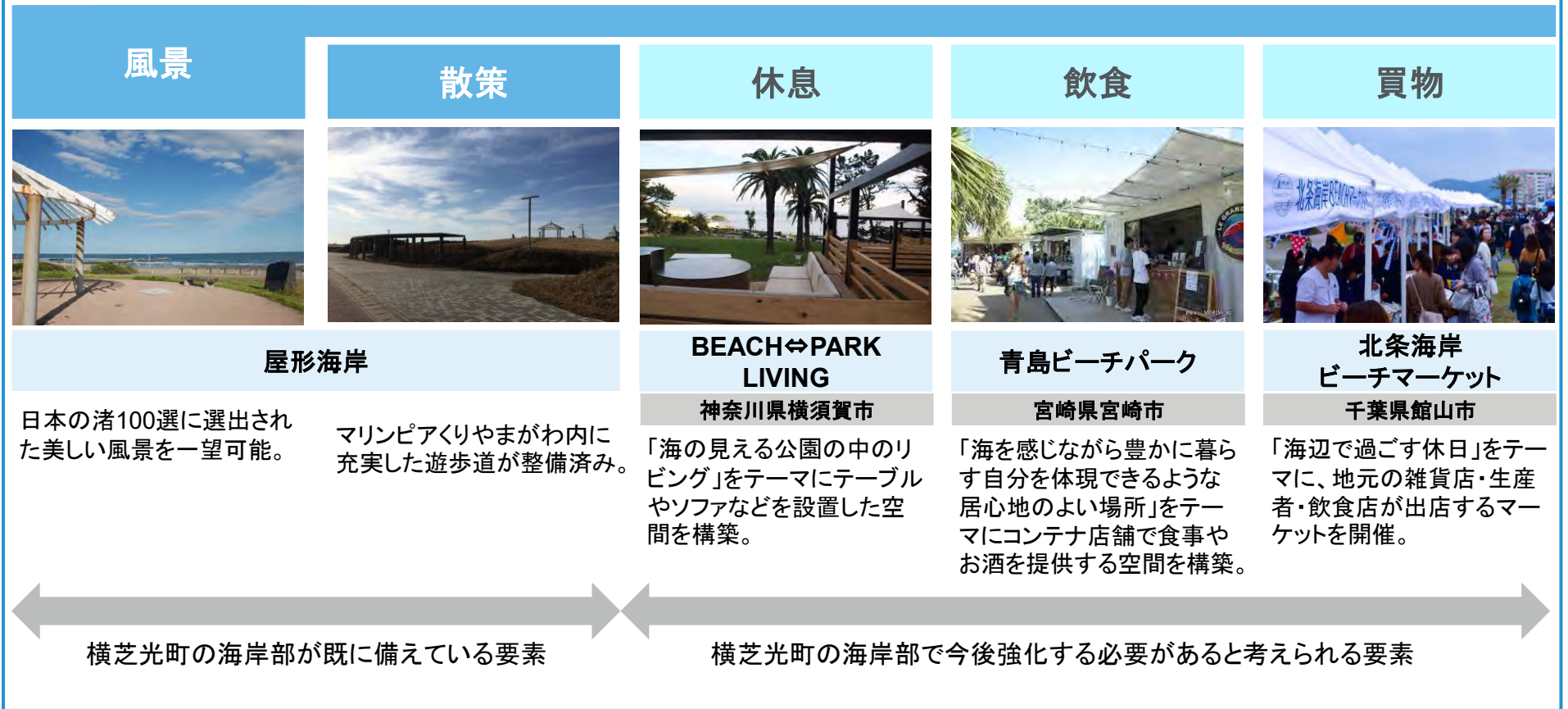
### 海・川などを活かした、ライフスタイルが体感できるまちづくり



# 参考事例を踏まえた「海と緩やかに関わりながら居心地の良い時間を過ごす」イメージを整理した

## 海を活かした重点テーマのイメージ概要

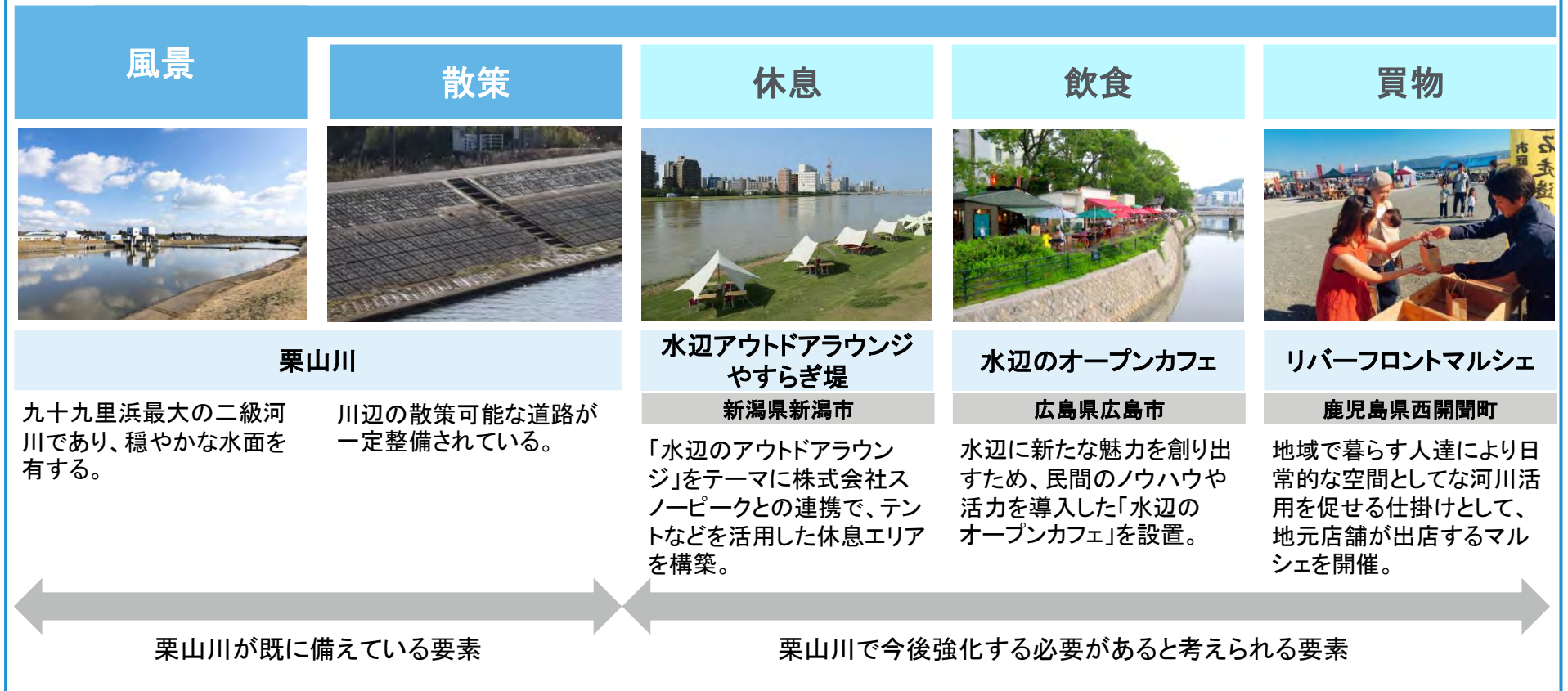
海や川と緩やかに関わりながら居心地の良い時間を過ごすことができる空間の創出 × 海岸部・九十九里浜



# 参考事例を踏まえた「川と緩やかに関わりながら居心地の良い時間を過ごす」イメージを整理した

## 川を活かした重点テーマのイメージ概要

海や川と緩やかに関わりながら居心地の良い時間を過ごすことができる空間の創出 × 栗山川



# 海や川へのニーズトレンドは、「海・川を感じながら質の高い時間を過ごすことができる」ことにあるのではないか

## 海・川に関するニーズ調査サマリ

「海は好きだが、海には入りたくない。」

- 全年齢で「海」への好感度は高く、7割が海に行きたいと考えている
- 一方で、全ての年代で海に入ることが嫌いな人が多数派である

「海は景色を楽しみ、リフレッシュする場所。」

- 全年代を通じて、海・ビーチ・磯などを「自然を眺める」場であると捉えている人が多数派。
- 男女ともに「景色を楽しみたい」、「リフレッシュしたい」などの、比較的ライトな目的が海へ行く理由の上位を占めている。

「川は散策や自然観察をする場であり、自然豊かで良好な景観であるべき。」

- 「自然が存在する場」や「良好な景観」を河川に求める人が多く、河川や河川敷では「散策」・「自然観察」などへのニーズが高い。
- 1996年と比較して、散策に並んで「水辺でのレストランでの飲食」へのニーズが大きく上昇している。



- 海や川へのニーズのトレンドは、「海や川と緩やかに関わりながら居心地の良い時間を過ごす」ことにあるのではないか。  
→「心地の良い時間」を実現するためには、拠点や飲食物提供、あるいは特色ある小売店などが必要不可欠と史料。

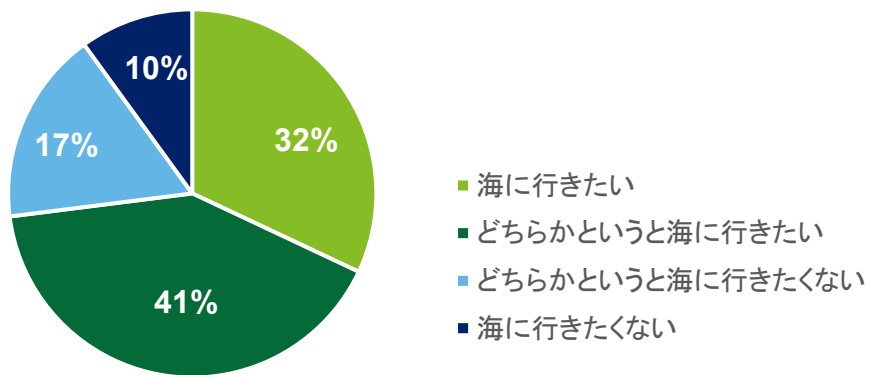


# 全年齢で「海」への好感度は高く、7割が海に行きたいと考えている一方で、全ての年代で海に入ることが嫌いな人が多数派である

## 重点テーマ導出に向けたニーズ調査結果

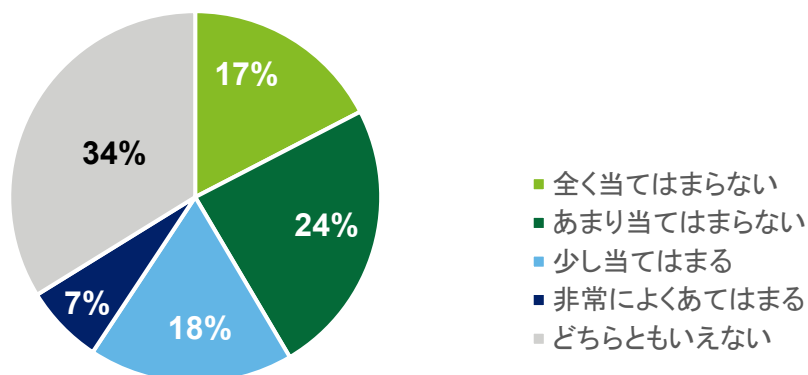
「海に行きたいか/行きたくないか」聞かれた場合のあなたの気持ちに近いものを選んでください

全年齢

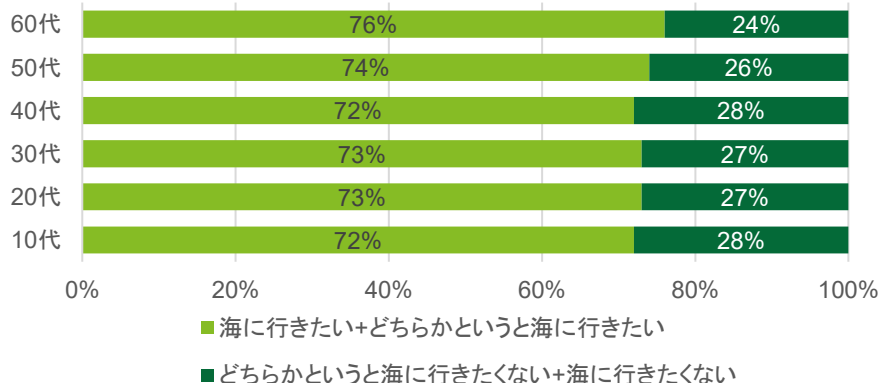


海に入ることが好きか（海水浴、サーフィン、ダイビングなど）

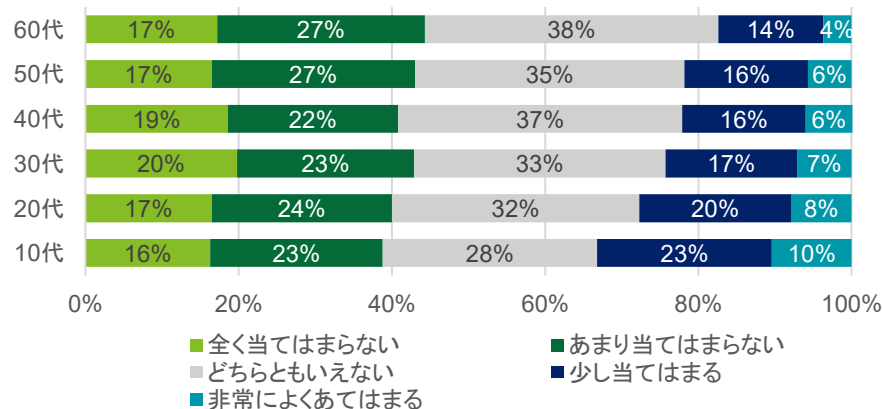
全年齢



年齢別



年齢別



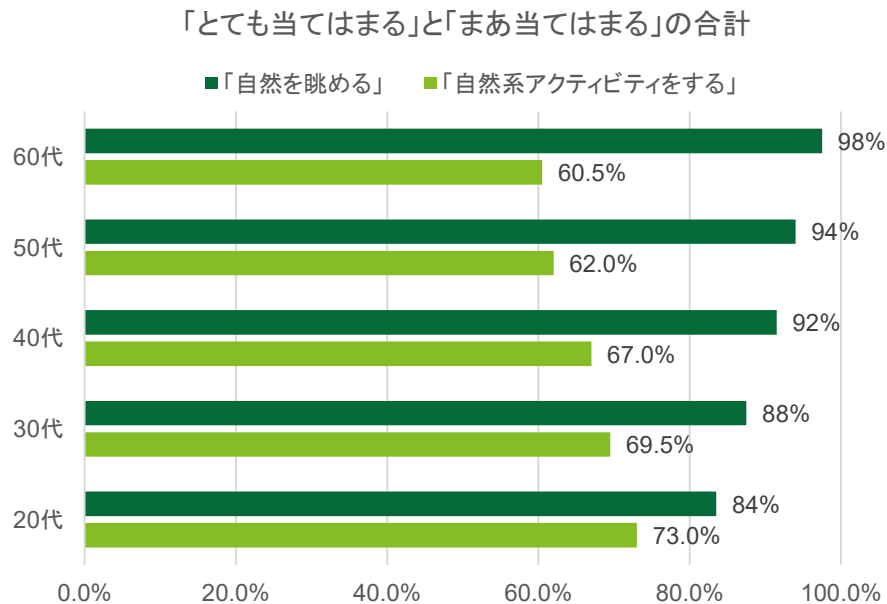
出所:「海と日本人に関する」意識調査結果、日本財団、2019

出所:「海と日本人に関する」意識調査結果、日本財団、2017

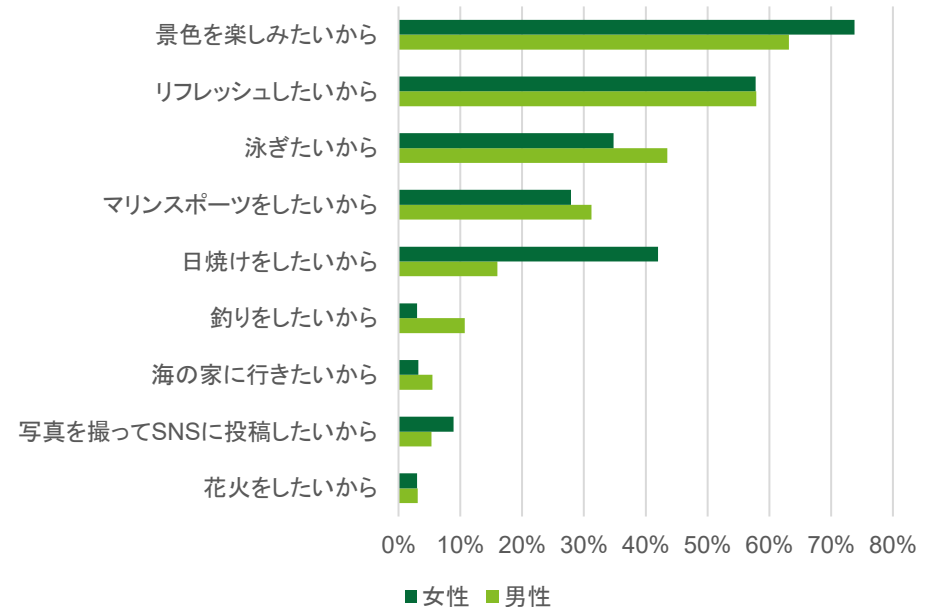
# 多くの人は海・ビーチは「自然を眺めて楽しむ」存在と捉えており、「景色を楽しむ」、「リフレッシュをしたい」が海へのニーズの上位を占める

## 重点テーマ導出に向けたニーズ調査結果

海・ビーチ・磯等のイメージは「自然を眺める」か「自然系アクティビティをする」のどちらか



海に行く理由



### ポイント

全年代を通じて、海・ビーチ・磯などを「自然を眺める」場であると捉えている人が多数派であり、男女ともに「景色を楽しみたい」、「リフレッシュしたい」などの、比較的ライトな目的が海へ行く理由の上位を占めている。

出所:「海・ビーチで何して遊ぶ？」調査結果、JTB、2013

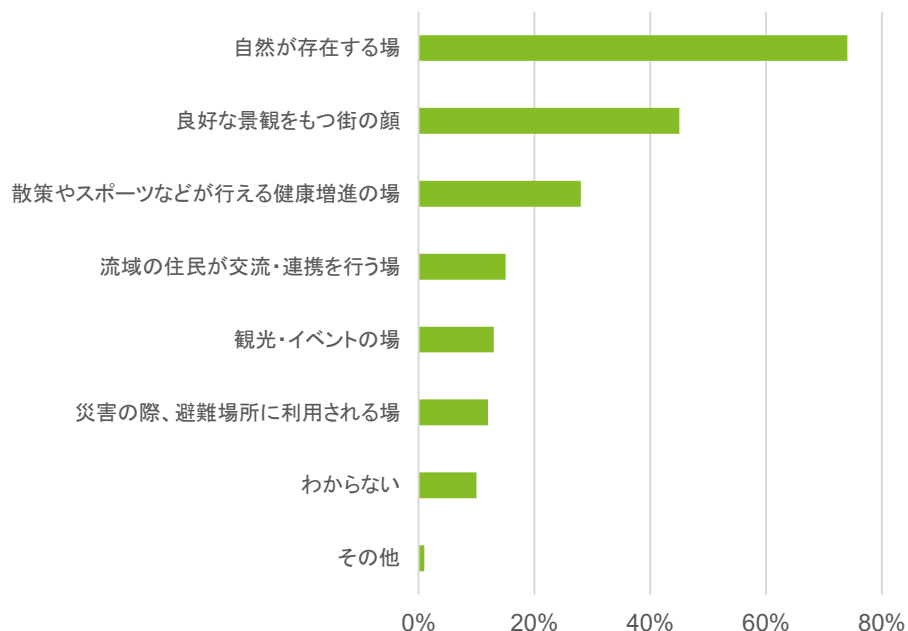
出所:「旅行先での海」に関する調査、株式会社エアトリ、2018



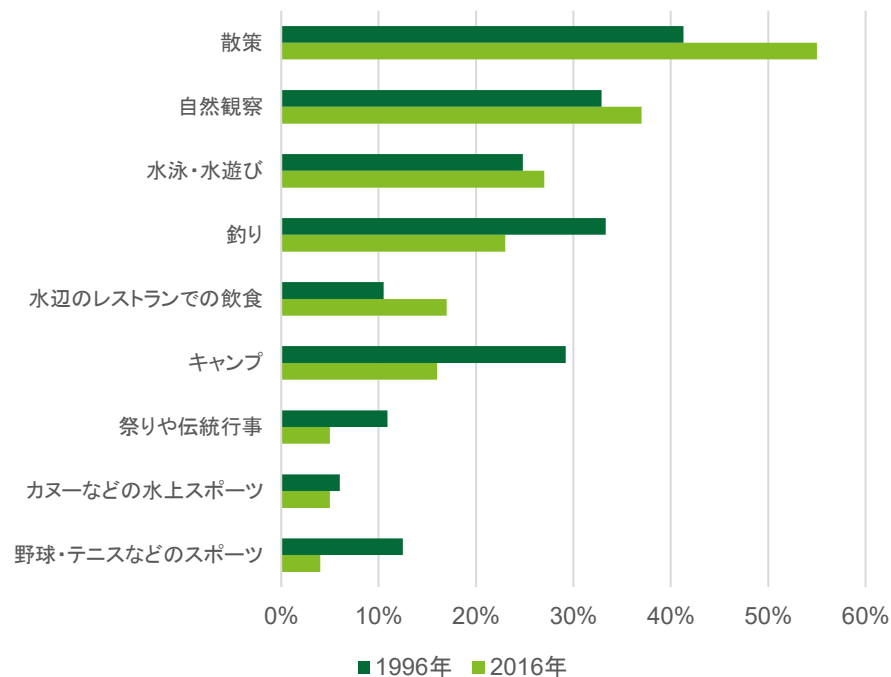
# 自然・景観としての川を求める人々が多く、散策や自然観察などを通じた川と親しむ利用へのニーズが高い

## 重点テーマ導出に向けたニーズ調査結果

### 河川に求める役割



### 河川や河川敷でどのようなことをしてみたいか (1996年/2016年比較)



### ポイント

「自然が存在する場」や「良好な景観」を河川に求める人が多く、河川や河川敷では「散策」・「自然観察」などへのニーズが高い。  
また、1996年と比較して、散策に並んで「水辺でのレストランでの飲食」へのニーズが大きく上昇している。

# 横芝光町の海に関する特色を把握することを目的に、下記の通り調査を実施した

参考:地図上での「海」に関する各エリアの特徴







# 横芝光町の海や川でのアクティビティとしてはカヤック・サーフィン・釣り・サイクリングが挙げられる

## 横芝光町の海や川におけるアクティビティ

### カヤック



#### 概要

- 町民が主体となって集まったよこぴか倶楽部が運営する、栗山川でのカヤック体験ツアーが実施されている。
- よこぴか倶楽部はmont-bellが主催する日本レクリエーションカヌー協会公認カヌースクールの認定を受けている。

### サーフィン



#### 概要

- 屋形海岸の静かな環境での早朝サーフィンを楽しむ人が多い。
- 町内にはサーフィンスクールやサーフボード工房が位置している。

### 釣り



#### 概要

- 栗山川下流域から河口にかけては釣りの名所として知られ、コイ、ヘラブナ、ハゼ、イシモチなどを狙う人で賑わう。

### サイクリング



#### 概要

- サイクリングモデルコースを設定するなど、サイクリングの推進に取り組んでいる。
- 株式会社モンベルとの連携の取組であるモンベルフレンドエリア九十九里でも一つのテーマとして掲げられている。

# 九十九里浜の原風景の眺望、サーファーに評価される波質、釣場の存在などが横芝光町の海に関する特色といえるのではないか

## 「海」に関する各エリアの特徴

エリア区分		屋形海岸	木戸海岸	尾垂ヶ浜
洋上・浅瀬	海水浴場の遊泳範囲など。サーフィンなどのマリンスポーツが行われるエリア。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 遠浅で、年間を通じて波質に恵まれた日本でも有数のサーフィンスポット。</li> <li>■ 夏には海水浴場が開設される。</li> <li>■ 日本の渚100選に選出されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 海底浸食により、海水浴場は閉鎖中。</li> <li>■ 日本の渚100選に選出されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 海水浴場などは設置されていない。</li> </ul>
港・漁港	船を停泊させるためのエリア。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 栗山川漁港は河口に位置する漁港だが、現在は漁港としては閉鎖中。</li> <li>■ 堤防側は釣り人で賑わう。</li> </ul>		
砂浜	ビーチスポーツを行ったり、海の家が立地するエリア。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>九十九里浜の原風景が広がる。</u></li> <li>■ 夏には海水浴場が開設されるが、海の家は設置されない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>九十九里浜の原風景が広がる。</u></li> <li>■ 海底浸食により、海水浴場は閉鎖中。</li> <li>■ アカウミガメの産卵地でもある。</li> <li>■ 地引網を体験可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>九十九里浜の原風景が広がる。</u></li> <li>■ 海水浴場などは設置されていない。</li> </ul>
海岸隣接地	砂浜と連続した、海浜公園などが立地するエリア。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>九十九里浜を一望可能な、マリンピア栗山川が位置する。</u></li> <li>■ 屋形海岸利用者向けのシャワーや更衣室が設置されている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成田山御本尊不動明王御上陸之地が所在。</li> <li>■ 砂浜に隣接した尾垂野球場が所在。</li> </ul>
海岸後背地	海岸隣接地よりも陸側の、飲食店や宿泊施設、住宅街が立地するエリア。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 釣具店やペンション/民宿、ガラス工房などが所在。</li> <li>■ 少数ながら飲食店も所在している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ テニスコートや野球場などを併設した民宿/ペンションが所在。</li> <li>■ 少数ながら飲食店も所在している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ サーフボード製作所や、ペンション/民宿が所在。</li> </ul>

### 特色

- ① 日本の渚100選にも選出されている壮大な眺望及び、
- ② サーフィンの聖地とも呼ばれる九十九里浜の恵まれた波質は日本全国でも、九十九里浜沿岸の自治体にしかない強みではないか。
- ③ 栗山川漁港は閉鎖中であるが、堤防側は釣りスポットとして知られる。

# 美しい風景を持つ田園地帯から河口の屋形海岸まで、川沿いに横芝光町を縦断できる「交通路」となり得る点こそが、栗山川最大の特色と言えるのではないか

## 「川」に関する各エリアの特徴

エリア区分		北部田園地帯	中心市街地	下流地域(栗山・木戸・北清水)
河川	通常時に水流が流れる、カヤックやSUPが行われるエリア。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>横芝光町の中央を縦断する、九十九里平野最大の2級河川。</u></li> <li>■ <u>流れは穏やかで在り、カヤックによる川下りやSUPなどが可能。</u></li> <li>■ 新栗山橋から下流では釣り人で賑わう。</li> </ul>		
河川敷	増水時に水没する高水敷や、河原に隣接する堤防を含むエリア。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 下流域でも高水敷(堤防内の所謂河原)は限られている。</li> <li>■ <u>堤防上には一定の道路が整備されている。</u></li> <li>■ <u>下流域から河口にかけては釣りスポットとして知られる。</u></li> </ul>		
沿川地域	堤防よりも外側の、飲食店や宿泊施設、住宅街が立地するエリア。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>整備された田園地帯の美しい風景が広がる。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ヨリドコロや光町特産品直売所、多くの飲食店などが集中している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 右岸には、レストランやカフェなどが所在。</li> <li>■ 左岸にはペンションやレストランなどが所在。河川改修に伴い、光クリーンパークが設置されている、</li> </ul>

## 特色

- ① 町の中央を縦断し、徒歩や自転車のみならず、カヤックやSUPなどでも移動が可能であることから、横芝光町で過ごす際の「ユニークな交通路・移動路」となりうる点が、栗山川の特徴と言えるのではないか。
- ② 下流域から河口にかけては釣りスポットとして知られる。
- ③ 沿川地域としては、北部田園地帯において、美しい田園風景が広がる。



# 海という観点では山武市が、川という観点では香取市がそれぞれ計画・取組を進めている

## 重点テーマ導出に向けた周辺自治体による取組調査結果

「海」に関する取組における競合可能性のある自治体

### 山武市

- 横芝光町と同様、九十九里浜海岸線に位置する山武市は海岸線に、大規模なプールやゴルフ場などから成る蓮沼海浜公園を有している。
- 都市計画マスタープランでは民宿や別荘の誘致を掲げる。



### 示唆

- 山武市は人口的なレジャー施設、香取市は文化的な蓄積を武器に取組を進めている。
- 差別化のためには、九十九里浜や栗山川のもつ「自然の魅力」に重点を置いた取組が肝要ではないか。

「川」に関する取組における競合可能性のある自治体

### 香取市

- 香取市が、水運に関する、江戸時代からの歴史的町並みを活かした「かわまちづくり」を進める。



# 新規宅地の創出、既存宅地の高付加価値化、空家の有効活用を通じて魅力的な居住環境の創出を目指すべきと史料

## 「魅力的な居住環境の創出」に関する取組テーマの設定

- ライフスタイルへの共感を柱として訴求力を高める基本的考え方を基にすると、横芝光町の強みである地価の安さや緑の多い環境を活かして、コンセプト性のある「横芝光町らしい新規宅地」の実現が重要である。
- 一方で、既存市街地における景観悪化が懸念される現状を踏まえると既存市街地も含めた市街地全体の一体感を醸成するためには、景観誘導による既存市街地の高価値化を並行して行うが重要である。
- サブターゲットとして想定する層は、空家へのニーズが強いため、空家の一層の活用を推進するべきである。

### テーマ①

横芝光町らしい  
新規宅地の創出

#### テーマの概要

余裕のある敷地や、統一感のある街並みに加えて、横芝光町らしい暮らしを実現するコンセプト性のある新規宅地の創出を図る

既存市街地への波及効果

既存市街地も含めた一体的景観の醸成

### テーマ②

既存市街地の  
高価値化

#### テーマの概要

既存市街地において、横芝光町らしい特色ある住宅の立地誘導や景観誘導により、横芝光町らしい景観を持った宅地の形成を目指す

空家活用による  
景観の維持

### テーマ③

魅力ある空家の  
有効活用

#### テーマの概要

空家バンクの充実や、借上げ転貸モデルにより魅力ある空家の流通の促進を通じて、サブターゲットへの訴求力を高める

### 重点テーマ

海や川などを  
活かしたまちづくり

海や川と緩やかに関わりながら居心地の良い時間を過ごすことができる空間の創出

相乗効果

相乗効果

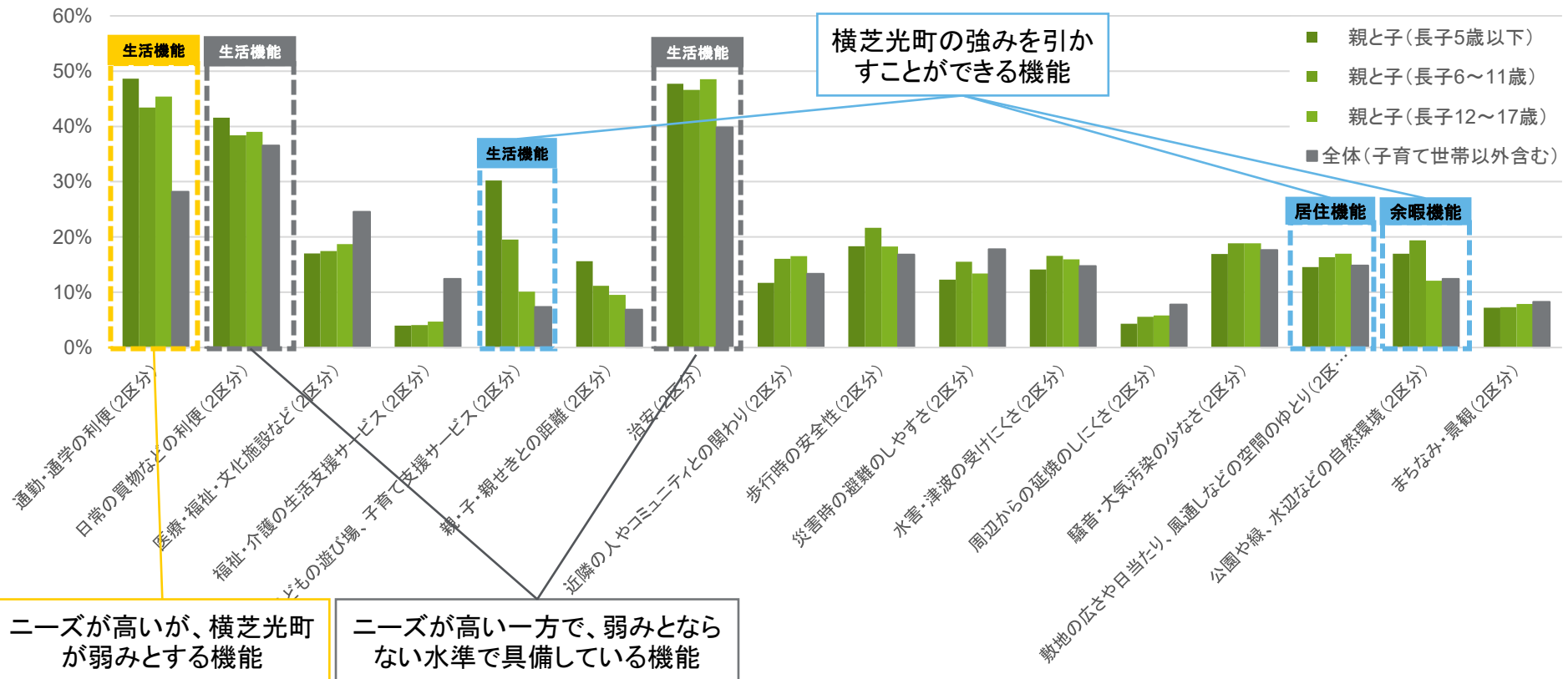


# 生活機能のうち居住地選択において大きなマイナスとならないために補完が必要な機能は「公共交通」、活かすべき強みは「子育て支援」であると考えられる

## 子育て世帯の居住環境へのニーズ

- 子育て世帯は、自然環境や敷地のゆとり、子供の遊び場・子育て支援サービスなどへのセグメント特有のニーズを持つ。
- 子育てと仕事を両立するために、通勤通学の利便性や、日常の買物などの利便性について、強いニーズを持つ傾向がある。

子育て世帯の住環境へのニーズ

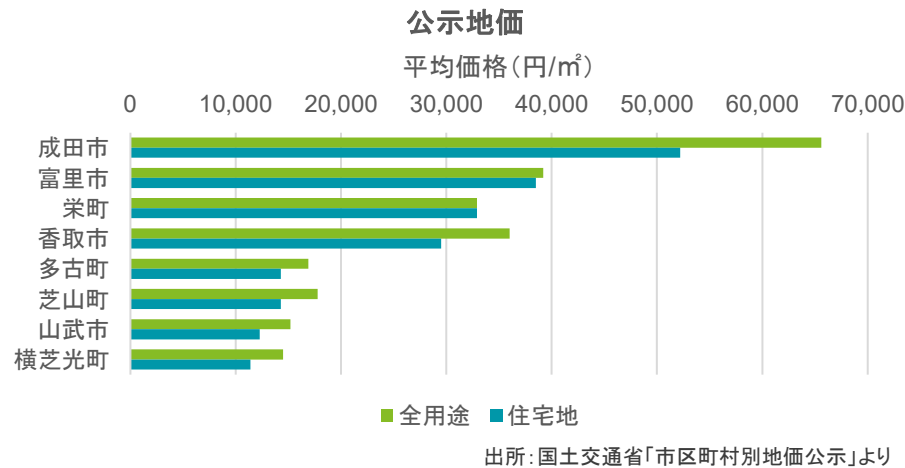


出所:「住生活総合調査」、国土交通省、2018年

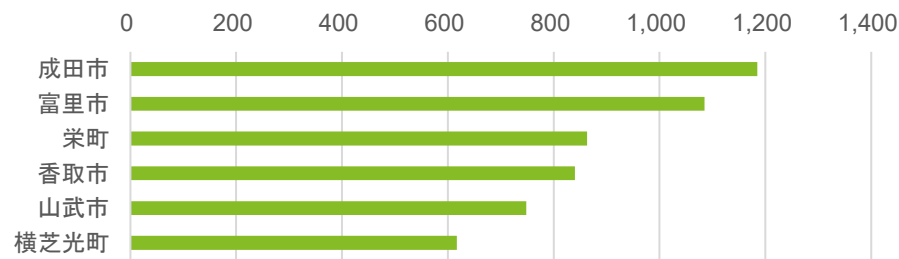
# 9市町の中でも住居に関わるコストが最も低く、ゆとりのある住宅での生活を実現しやすいと考えられる

## 横芝光町の居住コスト概要

### 低い居住コスト

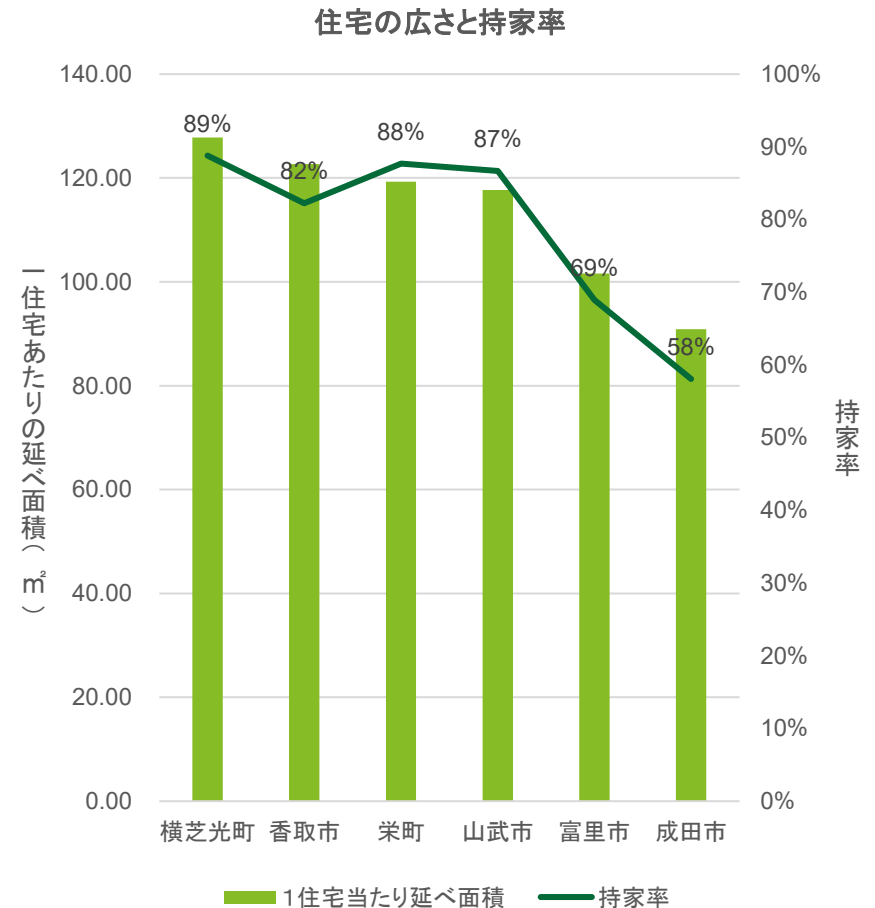


### 延べ面積1m<sup>2</sup>当たりの家賃



出所: 総務省「平成30年住宅・土地調査」より

### ゆとりのある住宅と高い持家率



出所: 総務省「平成30年住宅・土地統計調査」より

# 周辺市町では、子育て世帯に配慮した多古台や、特色あるコンセプトに基づく川津場地区の開発が進められている

## 周辺市町での宅地開発状況

多古台(多古町)



開発主体	積水ハウス不動産東京株式会社*
現状	第1期造成区画分譲済(平成26年分譲開始)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然と調和した環境共生型の住宅地の形成を目指し、1区画100坪のゆとりある区画で造成された住宅地。</li> <li>■ 近隣にはパーク&amp;ライドを実現する、駐車場一体型のバスターミナルや保育園が併せて整備されており、子育て世帯が暮らしやすい環境となっている。</li> </ul>

川津場地区(芝山町)



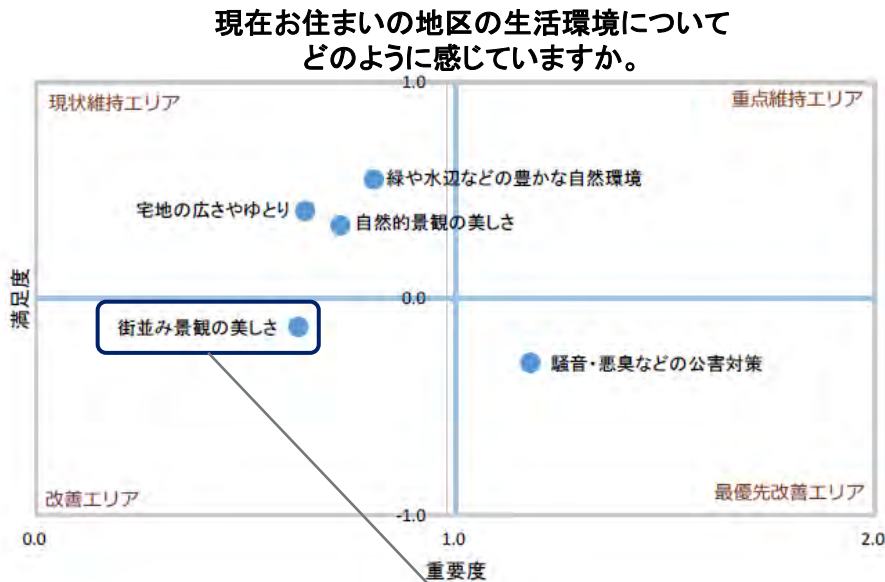
検討パートナー	山万株式会社
現状	計画構想中
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「農と暮らす居住地の確保」などを基本方針に、就農希望者を受入就農の切っ掛けとなるまちなどを目指す「田園型居住地」をコンセプトに検討を進めている。</li> <li>■ 成田国際空港機能強化に伴う移転者及び新規定住者の居住を念頭に、農地付き住宅や観光農園などを整備する構想を検討中。</li> <li>■ 川津場地区以外にも、小池地区・千代田地区で居住拠点形成を構想している。</li> </ul>

\*) 譲渡契約締結当時の社名は積和不動産株式会社

# 耕作放棄地、空家、太陽光パネルの増加など、景観への影響が懸念される状況である

## 横芝光町の景観・まちなみの状況

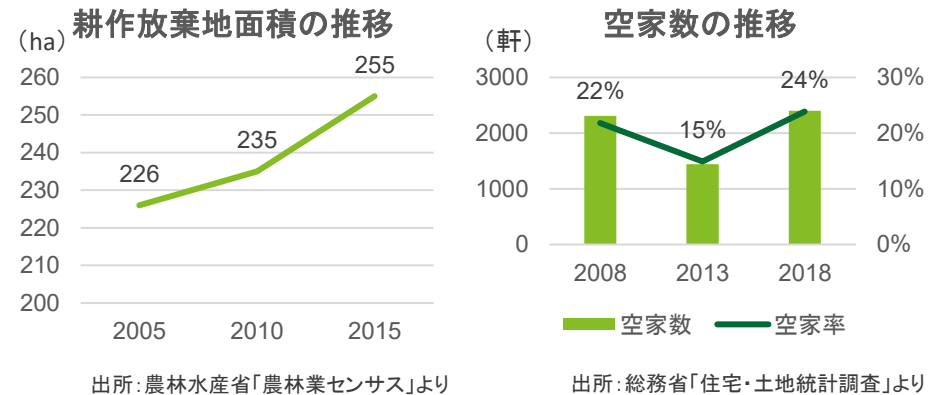
街並みへの横芝光町民による評価



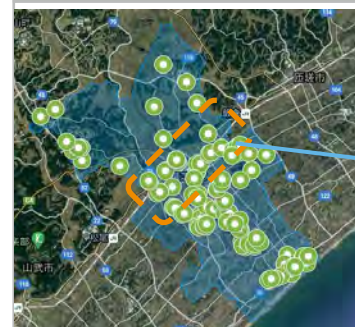
- 自然的景観への満足度は高いが、街並み景観の美しさの満足度が低く、街並み/景観の形成への課題が示唆される。

出所：横芝光町「横芝光町都市マス見直しアンケート調査報告書」より

景観への悪影響が懸念される要素



### 地面設置型太陽光パネルの立地状況



- 中心市街地内にも地面設置型太陽光パネルが立地しており、住宅街の景観悪化が懸念される。

出所：衛星写真をもとに弊社調査



# 北海道東川町では、町長の掲げる「適疎」なまちづくりという理念の下で、景観条例や緑化協定などを駆使した特色ある宅地造成を進めている

## 参考事例:東川グリーンビレッジ

### 事例概要

事業名・呼称	東川グリーンビレッジ
開発主体	東川町土地開発公社
場所	北海道東川町
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 町長の掲げる「適疎」なまちづくりという理念の下で、単に人口を増やすのではなくゆとりのある空間を重視し、過疎でも過密でもないまちを目指している。</li><li>■ ゆとりのある適疎で、魅力のある住環境の整備に力を入れており、景観条例を制定し、「東川風住宅設計指針」というデザインの指針を示している。指針に沿った住宅については補助金支援がある。</li><li>■ 土地開発公社が開発を行い、子育て世代が多く住む、分譲地の「グリーンヴィレッジ」は、購入時に「建築緑化協定」を結ぶ必要があり、道路境界から2mはグリーンゾーンとし、2本以上の樹木を植栽することなどが定められている。</li></ul>



東川グリーンビレッジ



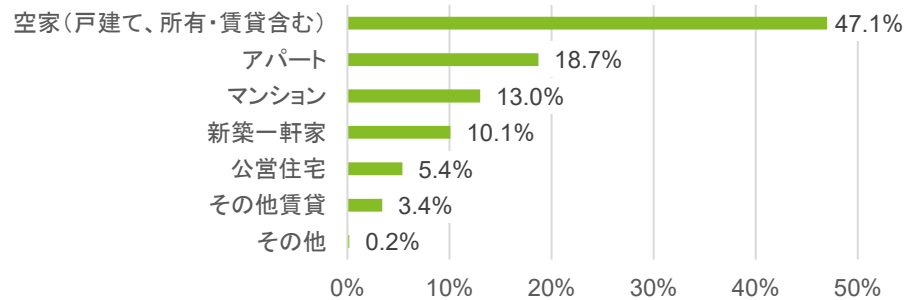
東川風住宅モデルハウス

出典:東川町HP等を基に、デロイト作成

# サブターゲットである東京圏からの移住者は空家への居住を希望することが多いが、横芝光町内での空家供給円滑化は改善の余地がある状況

## 移住希望者の空家のニーズと横芝光町内の空家状況

東京圏からの移住希望者が求める物件



横芝光町内の空家状況



有識者会議での委員からのご意見



- **都市部からの移住検討者については、古民家やそれに近い雰囲気の家を探すのが常である。**
- **長塚の周辺には使われていない別荘が多い。所有者は高齢化して、横芝光町に来ることはないが、子供達が使うのではないかと考えて手放さないために市場に流通しない。空き家同様の状況となっている。**
- **空家バンクも充実する気配がないため、新たな取組が必要であると考えている。**

空家バンク 活用状況	掲載開始	2021年2月9日
	登録物件件数	<b>4件</b> (2021年4月21日時点)
	相談件数	159件 (2021年4月21日時点)

出所: NPO法人ふるさと回帰支援センター「来場者アンケート」2014年

# 高知県梼原町では、借上げ転貸モデルによる空家活用に成功しており、横芝光町でも導入検討の余地があると思料

## 参考：高知県梼原町による借上げ転貸モデル

- 高知県梼原町では、町内の空家を梼原町が借上げ、450万円を上限に改修を実施した上で移住者に貸し出す取り組みを実施。
- 当初は町民の協力を得られなかったが、モデル事業などを実施したことで町民の理解を調達し、現在に至るまで48戸の改修を実施。

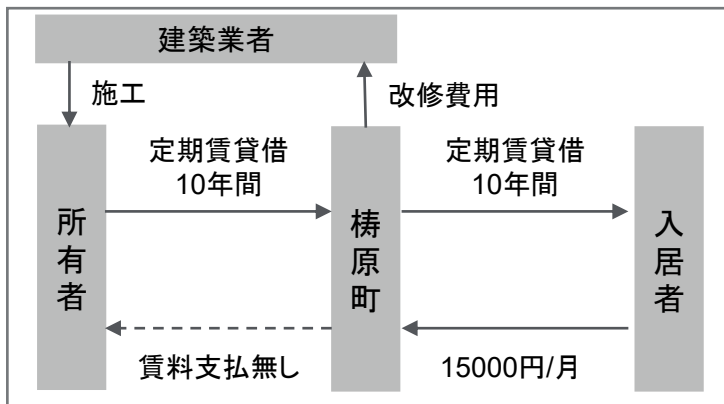
### 借上げ転貸モデルの概要

### 改修された住宅

#### 概要

- 町内の空家を梼原町が借上げ、450万円を上限に改修を実施。
- 改修後は移住定住促進住宅として貸し付けることで、工事費用を回収する。
- 当初は貸し出す所有者が居なかったが、先行してモデル事業を行ったことで理解を得られ、これまでに48戸の改修を実施。
- 改修が行われた物件は現在満室となっている。

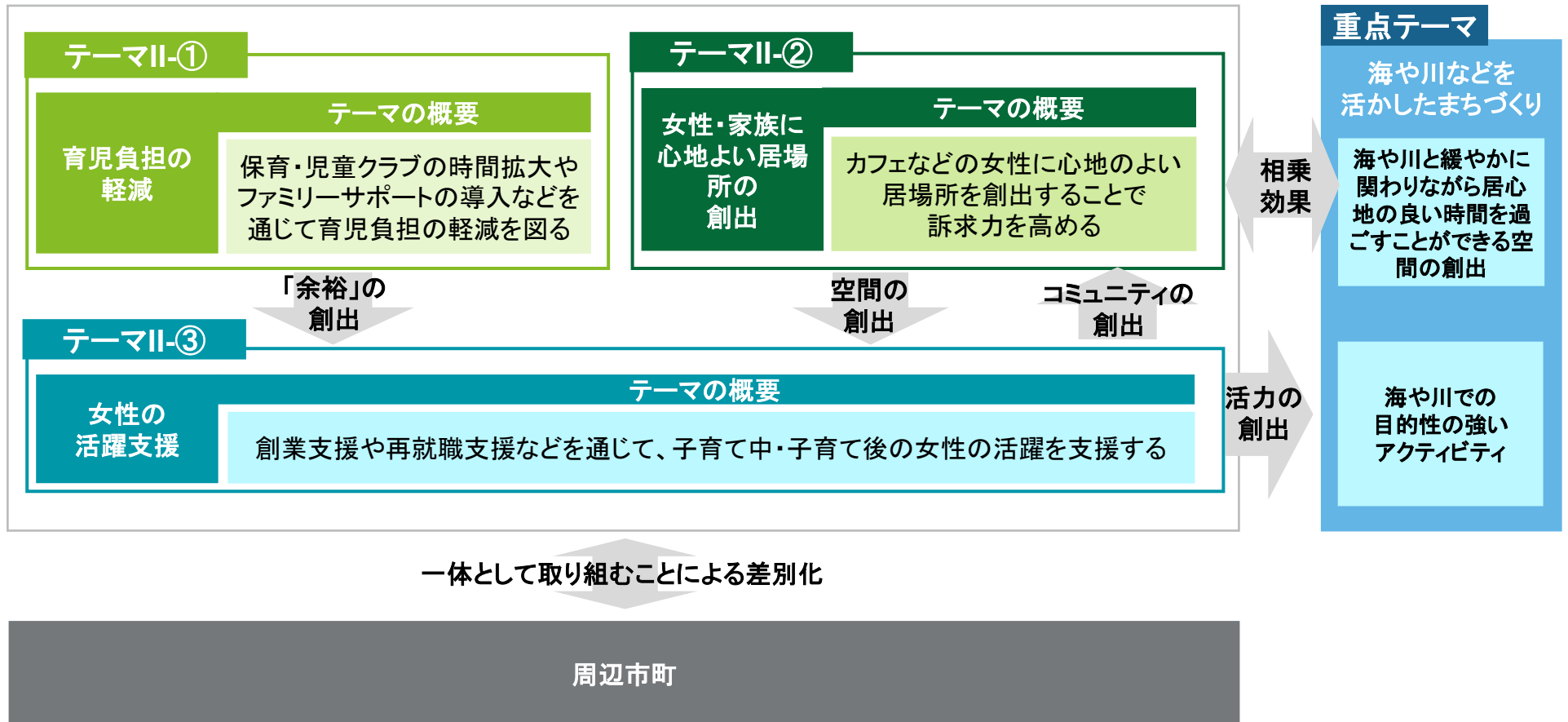
#### スキーム



# 育児負担の軽減、女性に心地よい居場所の創出、空家の有効活用女性の活躍支援を一体として取り組むことで、女性に選ばれるまちを目指すべきと史料

## 「子育て世帯に優しく、女性に選ばれるまちづくり」に関する取組テーマの設定

- ターゲットニーズを基にすると、**育児負担の軽減**と**子育て中の親に心地の良い居場所の創出**が取組テーマとなり得る。
- 先進自治体の取組を基にすると、**女性の活躍支援**に着目することで周辺自治体との差別化・訴求力向上につながる可能性がある。



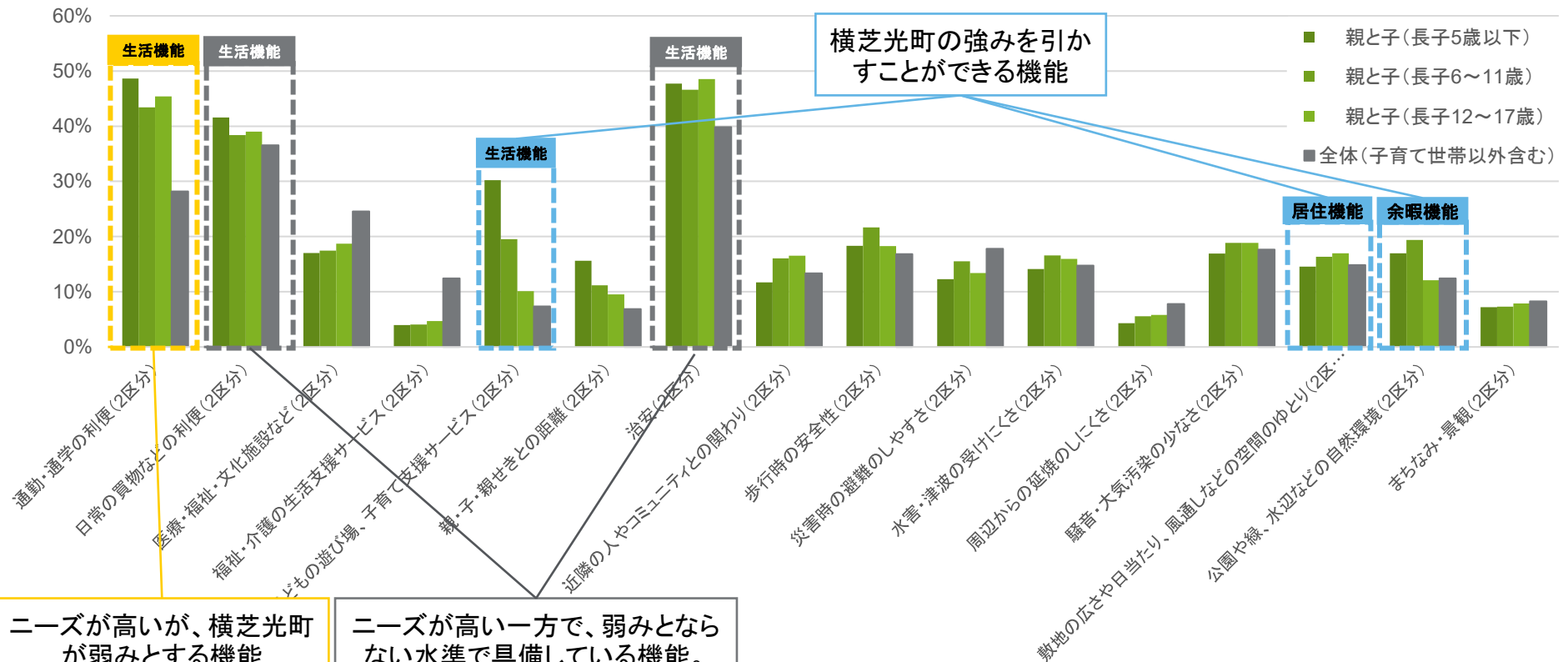


# 子育て世帯は、子供の遊び場・子育て支援サービスなどへの強いニーズを持つ

## 子育て世帯の居住環境へのニーズ

- 子育て世帯は、自然環境や敷地のゆとり、子供の遊び場・子育て支援サービスなどへのセグメント特有のニーズを持つ。
- 子育てと仕事を両立するために、通勤通学の利便性や、日常の買物などの利便性について、強いニーズを持つ傾向がある。

子育て世帯の住環境へのニーズ



出所:「住生活総合調査」、国土交通省、2018年

# 空港従業員の就業実態を考慮しても、「子育て支援」と「公共交通」の強化・拡充を検討する余地があると考えられる

## 空港従業員の就業実態に関する初期調査結果

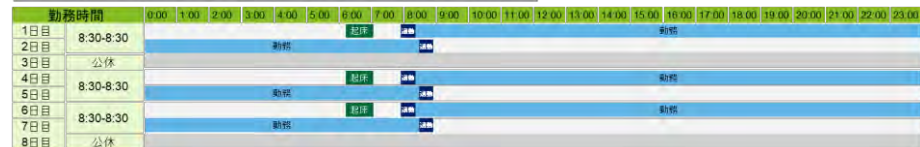
### 就業実態の初期調査結果概要

- 横芝光町において定住人口増加が見込まれる可能性が高い航空機サービス業・その他サービス業・航空貨物業従事者は、原則としてシフト勤務であり、休日も固定ではない。

グランドサービス従事者(航空機サービス業)



警備業従事者(その他サービス業)



保税貨物取扱業従事者(航空貨物業)



### 空港関連従業員の居住地ニーズ初期仮説

- 平日の固定時間での勤務を想定した生活機能とのずれが予想される。
- 空港従業員の就業リズムを考慮した生活機能に対してニーズを抱く可能性がある。

#### 子育て支援

- 夜間認可保育園の創設や土日保育の拡充、ファミリーサポートなどによる、子育て支援の拡大。

#### 公共交通

- シフト勤務時の通勤に配慮したダイヤでの通勤バスの運行。

#### 商業機能

- 深夜まで営業している日用品小売店。  
→現状の横芝光町の機能で一定は充足。

※空港従業員のニーズについては現状では仮説で記載。有識者会議以降に、順次ヒアリングを通じて明確化する方針。

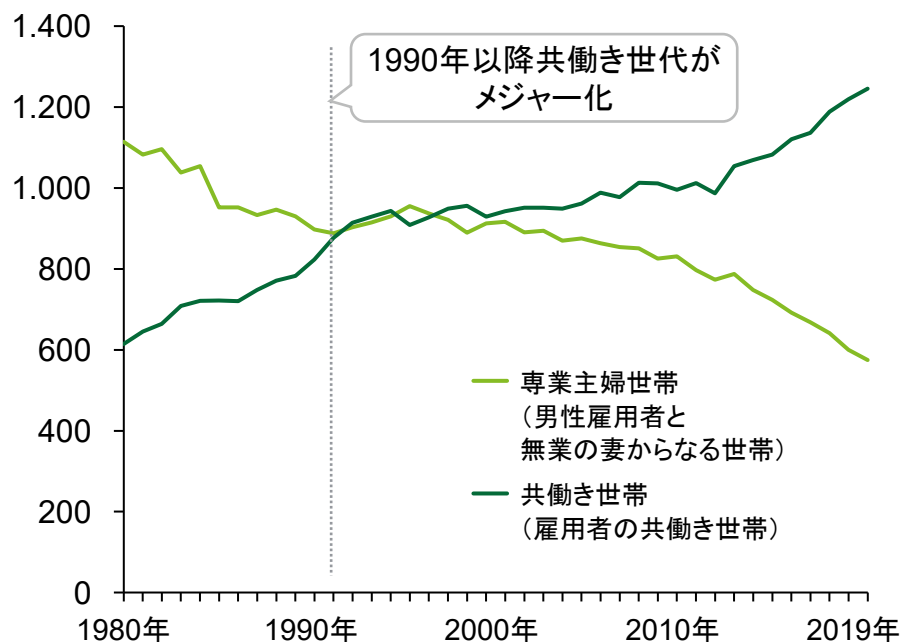
# 女性の社会進出傾向と、家事・育児の夫婦間負担の実態踏まえると、子育て世帯・女性への訴求力を高めるためには公助による育児負担の軽減が重要である

## 共働き世帯の増加と夫婦間育児負担

- 女性の社会進出傾向は進んでいるものの、子育て世帯における家事負担は妻に集中する構造が続いている。
- 町外から誘引する空港関連従業員については、親子・親戚間での自助による子育て支援を受ける事が難しいことが予想されるため、積極的な公助による女性の負担軽減が重要であると考えられる。

共働き世帯の増加

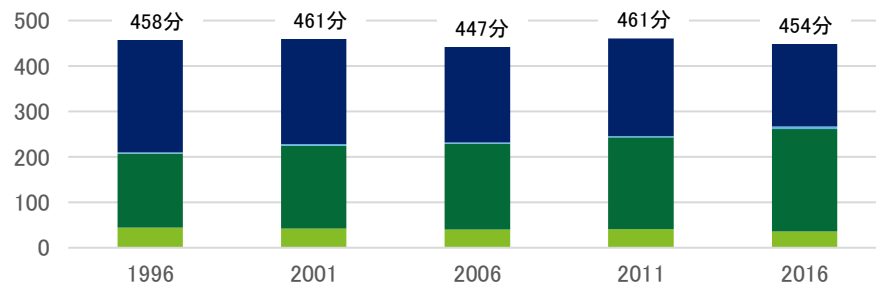
専業主婦・共働き世代の推移



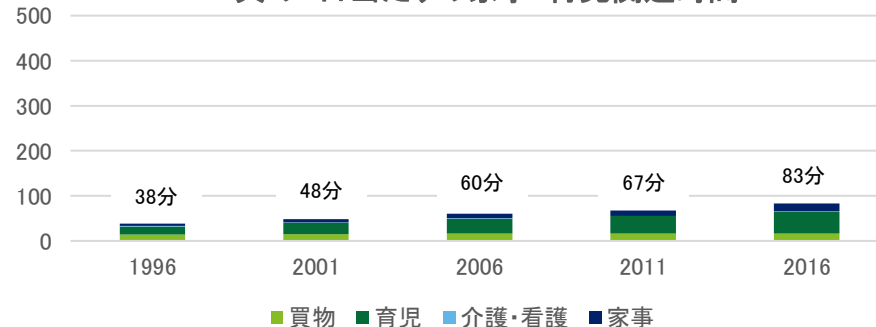
出所:内閣府「男女共同参画局」(平成30年)

6歳未満の子供をもつ夫婦の  
家事・育児関連時間

妻の1日当たりの家事・育児関連時間



夫の1日当たりの家事・育児関連時間



出所:総務省「社会基本調査」

# 人口比で非常に多くの保育園を有していることや、手厚い財政補助は子育て世代誘引に際しての強みとなりうる

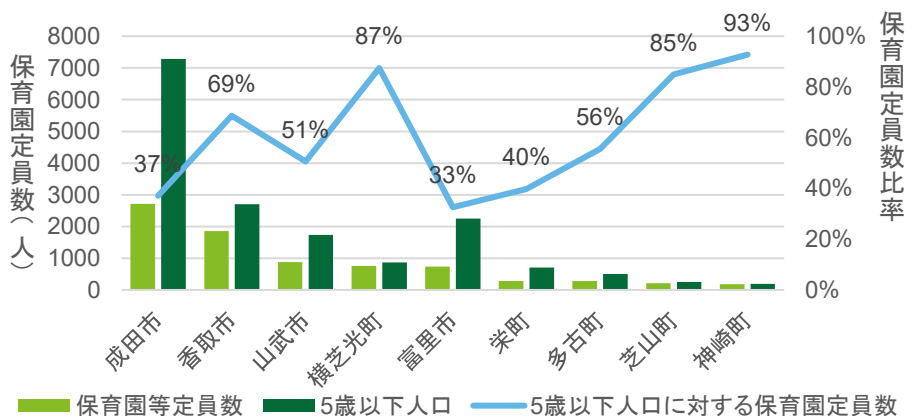
強み

子育て環境

## 横芝光町の子育て環境の概要

### 余裕をもって整備された保育園

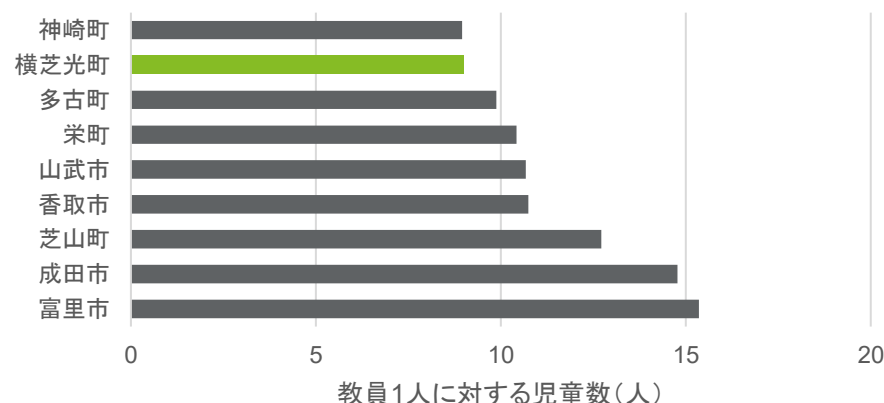
空港周辺9市町の保育園定員数比較



出所：厚生労働省「令和2年社会福祉施設等調査」より。人口は平成27年国勢調査を使用

### 充実した教育環境・財政的支援

教員一人当たりの児童数(小学校)



出所：文部科学省「学校基本調査」より。人口は平成27年国勢調査を使用

### 待機児童数

傾向	自治体名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
継続的に待機児童ゼロを達成	横芝光町	0人	0人	0人	0人	0人
	多古町	0人	0人	0人	0人	0人
	芝山町	0人	0人	0人	0人	0人
	山武市	0人	0人	0人	0人	0人
	神崎町	0人	0人	0人	0人	0人
待機児童が生じる場合がある	栄町	1人	0人	0人	4人	0人
	香取市	0人	0人	0人	4人	0人
継続的に待機児童を抱える	成田市	36人	18人	15人	36人	35人
	富里市	73人	13人	6人	43人	56人

出所：千葉県「市区町村別保育所等利用待機児童数」より

### 子育てへの財政的支援

自治体名	給食費無償化	医療費無償化
横芝光町	中学3年生まで	高校3年生まで
多古町	中学3年生まで	高校3年生まで
神崎町	中学3年生まで	高校3年生まで
芝山町	中学3年生まで	中学3年生まで
栄町	中学3年生まで(第3子以降)	中学3年生まで
山武市	-	高校3年生まで
香取市	-	高校3年生まで
富里市	-	中学3年生まで
成田市	-	中学3年生まで

出所：各自治体の公開情報を参考に弊社調査

# 【参考】空港従業員の就業実態を考慮すると、延長保育・延長学童の強化や、託児機能を補完するサービスなどの施策は訴求力があると考えられる

## 横芝光町の保育園・児童クラブの概要

横芝光町内保育園における保育時間

保育所	平日・通常保育時間	土曜日・通常保育時間
大総保育所	8時30分～17時15分 (17時15分～18時30分)	8時30分～12時30分 (7時30分～16時00分)
横芝保育所	8時30分～17時15分 (7時30分～18時30分)	8時30分～12時30分 (7時30分～16時00分)
上堺保育所	8時30分～17時15分 (7時30分～18時30分)	8時30分～12時30分 (7時30分～16時00分)
社会福祉法人 フタバ保育園	7時00分～18時00分 (18時00分～19時00分)	7時30分～16時00分
社会福祉法人 日吉保育園	7時30分～18時30分 (7時15分～18時45分)	8時00分～16時00分
社会福祉法人 光町保育園	7時30分～18時30分 (7時00分～19時15分)	7時15分～18時15分
社会福祉法人 光町中央保育園	7時30分～18時30分 (7時00分～19時15分)	7時15分～18時15分
社会福祉法人 白浜保育園	8時00分～17時00分 (7時30分～19時00分)	8時00分～16時00分 (7時30分～8時00分)

横芝光町内小学校における学童保育

対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 町内に住所を有し、かつ、町内の小学校に就学中の児童で、授業の終了後、小学校の長期休業中に、保護者等が労働などにより昼間家庭にいないため、家庭で保護を受けることができない児童</li> </ul>
児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 横芝小学校児童クラブ</li> <li>■ 横芝小学校第2児童クラブ</li> <li>■ 上堺小学校児童クラブ</li> <li>■ ひかり児童クラブ</li> <li>■ 白浜小学校児童クラブ</li> </ul>
開所日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平日 授業終了後から18時30分</li> <li>■ 土曜日及び長期休業期間 8時から18時30分</li> </ul>
児童クラブ 保育料	<p>&lt;年間利用&gt; 8月以外の月 7,000円/月 8月 10,000円/月 &lt;長期休暇のみ利用&gt; 春休(4月)2,000円(3月)3,000円 夏休(7月)4,000円(8月)10,000円 冬休(12月)2,000円(1月)2,000円</p>

# 空港周辺9市町のうち、6市町については19時までの延長学童保育を提供している

## 周辺市町の学童保育開所時間

凡例  横芝光町よりも開所時間の長い自治体  
 横芝光町と同等の開所時間の自治体

### 周辺市町の学童保育開所時間

多古町	平日	■ 下校時～午後7時	山武市	平日	■ 下校時～午後6時00分 (延長午後7時まで)
	土曜日 長期休暇期間	■ 午前8時～午後7時		土曜日 長期休暇期間	■ 午前8時～午後6時00分 (延長午前7時30分～午後7時)
芝山町	平日	■ 下校時～午後6時 (延長午後7時まで)	富里市	平日	■ 下校時～午後6時(延長午後6時30分/一部午後7時まで)
	土曜日 長期休暇期間	■ 午前9時～午後6時 (延長午前7時30分～午後7時)		土曜日 長期休暇期間	■ 午前8時から午後6時(延長午後6時30分/一部午後7時まで)
成田市	平日	■ 下校時～午後6時30分 (延長午後7時まで)	神崎町	平日	■ 学校終了後～18時30分
	土曜日 長期休暇期間	■ 午前8時～午後6時30分 (延長午前7時30分～午後7時)		土曜日 長期休暇期間	■ 8時00分～18時30分
栄町	平日	■ 下校時～午後6時30分 (延長午後7時まで)	香取市	平日	■ 下校時～午後6時 (延長午後6時30分まで)
	土曜日 長期休暇期間	■ 午前8時～午後6時30分 (延長午前7時～午後7時)		土曜日 長期休暇期間	■ 午前8時から午後6時 (延長午後6時30分まで)

# 隣接する多古町では手厚い子育て支援を実施しており、差別化のためには別観点からの取組が必要

## 多古町の子育て支援施策

### 子育て世帯向け補助金施策

医療費補助	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 高校卒業までの保険対象医療費自己負担額を全額補助。</li></ul>
出産祝金	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 第一子、第二子の出産時に10万円の給付金支給を実施。</li><li>■ 第三子以降の出産時に100万円の給付金支給を実施。</li></ul>
奨学金	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 高校生に対して月額2万円、大学生に対して月額3万円の返済不要の奨学金を支給。</li><li>■ 町立病院の医師を目指す学生1名に月額20万円の返済不要の奨学金と、返済半額免除の1000万円の一時金を支給。</li></ul>
給食費補助	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 小学校1年生から中学校3年生まで学校給食費を無償化。</li></ul>

### 保育・学童の整備施策

こども園	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 7時から19時まで開園。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 3歳児以上は、無料通園バスを利用可能。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ おむつの持ち帰り無し。</li></ul>
学童保育	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 小学校6年生までを対象に19時までの学童保育所を開設。</li></ul>
病児保育	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 千葉県内初の公立病院病児保育である多古病児保育所を令和2年4月に開設。</li></ul>



# 女性はカフェなどの居心地の良い場所への強いニーズを持つが、横芝光町内ではニーズを充足できない現状がある

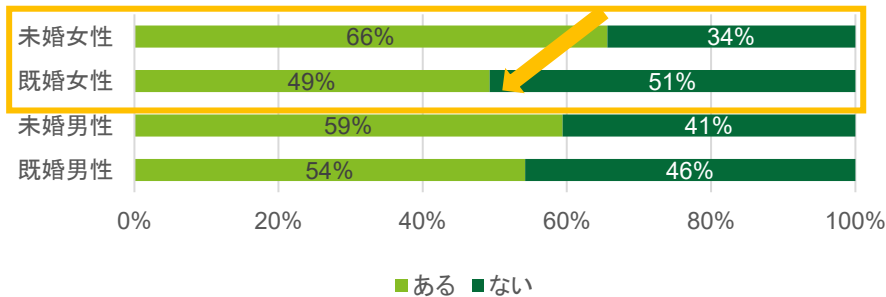
## 居心地の良い場所へのニーズと横芝光町の現状

- 未婚女性の66%はカフェなどの家庭・職場以外で月1回以上平日に利用する居心地の良い場所を持つが、結婚後にはその割合は49%にまで低下する。
- 女性は、カフェなどのへのニーズを持つ一方で、結婚後の多忙さでそうした場所を喪失している現状があるため、子育て中でも気軽に訪れる事が出来るようなカフェは訴求力が強いと考えられる。

家庭・職場以外の居心地の良い場所へのニーズ

横芝光町の現状

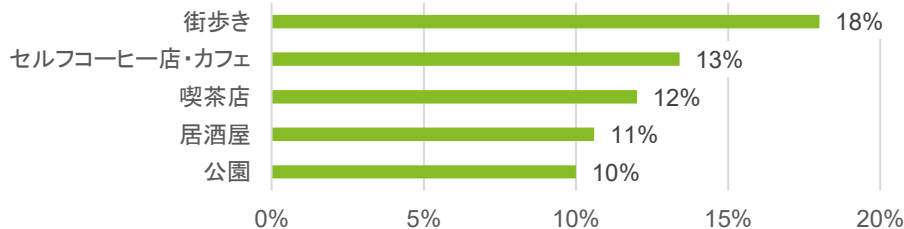
家庭・職場以外で平日に月1回以上利用する居心地の良さを感じる場所があるか



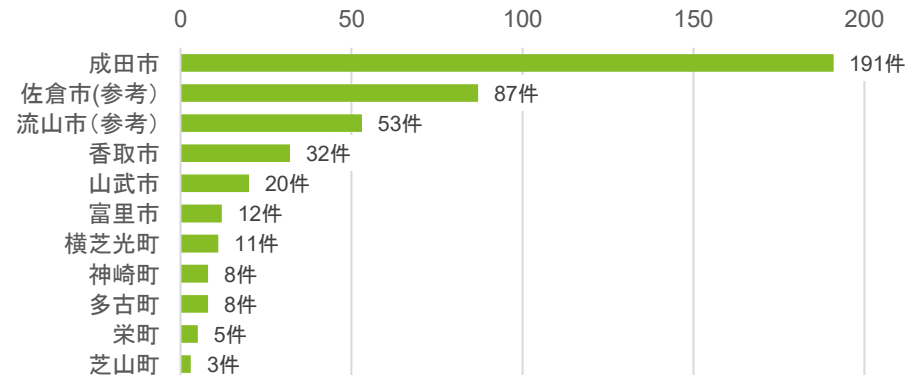
横芝光町内在住  
空港関連従業員

- 横芝光町には、生活をするための必要な機能はそろっているが生活を楽しむための飲食店や小売店は非常に少ない。古民家カフェなどが増えてくればよいが、中々そうならない。
- 飲食店は点在しているが、特に美味しいと思うような店は非常に少ない。カフェなどの気軽にコーヒーを買ったりするような店少ない。

平日に月1回以上利用する居心地の良さを感じる場所 (上位5項目)



各市町内のカフェ件数








# 草加市や流山市では、女性の活躍を後押しすることでブランド力を高める取組を進めている

## 参考:女性の活躍支援事業

### 草加市女性創業スタートアップ事業

<p><b>概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自分の得意なことや趣味を活かして月に3万円稼ぐことを目指す「月3万円ビジネス」に着目し、市内の子育て世代の女性が小さなビジネスを通して地域とつながることを目指した事業。</li> <li>■ ビジネスアイデア、ビジネスモデルの作り方やプロモーション方法などを学ぶ連続講座を通じて女性の起業を後押ししている。</li> </ul>
<p><b>成果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 月1回ランチを提供するパン屋や、イベント出店で販売するアクセサリーショップなど、子育ての傍らで無理のないビジネスを行う女性が輩出している。</li> </ul> 
<p><b>運営</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子連れで働ける「シェアアトリエつなぐば」を運営するつなぐば家守株式会社が運営に協力しており、修了生が実際に販売をする場の提供などを行っている。</li> </ul> 

### 流山市女性向け創業支援事業

<p><b>概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平成27年度から女性向け創業スクールを運営。</li> <li>■ 地域の企業に飛び込み営業をする授業や、オリエンテーションからプレゼンテーションまで企業が関わる企業参加型授業など「実践」をベースに取り組んでいる。</li> </ul>	
<p><b>成果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 受講生は延べ160名以上、創業者は30名以上にのぼる。</li> <li>■ 事業内容はエステサロン、デザイナー、カウンセラー、食品輸入販売など多岐に渡る。</li> </ul>	
<p><b>運営</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コンサルティングやシェアオフィスを事業とする「株式会社新閃力」が運営を行う。</li> <li>■ 「女性が住みやすい町日本一」を目指す長野県飯綱町で、女性のコミュニティづくりや移住促進プロジェクト、リーダー育成などにも関与している。</li> </ul>	

# 有識者会議及び空港従業員ヒアリングでは、女性に選ばれるまちづくりを進める必要性や、子育て支援の充実の必要性についてご意見を頂戴した

## 有識者会議及び空港従業員ヒアリングでのご意見

### 有識者会議での委員からのご意見



■ 共働きを前提とすれば、子供のケアは重要である。シフト勤務者の多い空港関連従業員については、就業時間帯にあった保育などが考えられるのではないか。



■ 女性が輝けるような機能が必要である。横芝光町の強みは人の活力であると考えており、女性が輝いているようなシーンを具体化して行くことが重要である。



- 流山では、「母になるなら流山」というキーワードを掲げて、駅前保育ステーションの整備や、都心への集中的プロモーションに取り組んできた。
- 近年の流山のプロモーションを見ていると、人への着目を進めている。保育ステーションなどの利便性で誘引した女性のなかでも、活躍している女性に着目したプロモーションを展開している。
- 埼玉県草加市では「3万円ビジネス」の試みを行っている。自分の得意なことや趣味を活かして月3万円稼ぐことを目指すスモールビジネスを応援する自治体の取組である。

### 空港関連従業員へのヒアリング結果



- 横芝光町には、生活をするための必要な機能はそろっているが生活を楽しむための飲食店や小売店は非常に少ない。古民家カフェなどが増えてくれればよいが、中々そうならない。
- 飲食店は点在しているが、特に美味しいと思うような店は非常に少ない。カフェなどの気軽にコーヒーを買ったりするような店が少ない。



- 空港内保育園は、7時から22時まで保育が可能で、夕飯なども提供してもらえるため非常に人気が高い。
- 元々は21時までの保育のみであったが、シフト勤務の従業員への配慮から22時まで保育時間を延長している。
- サービスが手厚いため倍率は非常に高い。特に1歳から2歳の倍率が高い。

# 「母になるなら流山」をスローガンに子育て世帯の誘引に成功した流山市では、「送迎保育ステーション」の整備などで、家庭の子育て負担の軽減を図っている

## 参考：流山市の取組事例

### 流山市の取組の方向性と成果

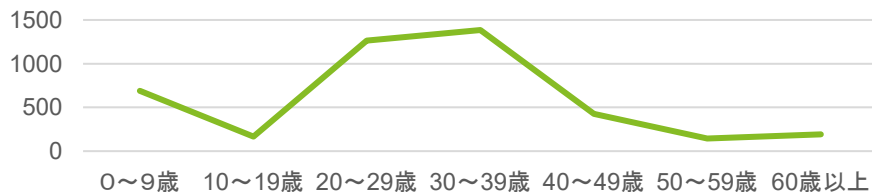
#### 概要

- 平成22年度より「母になるなら、流山市。」のキャッチコピーに、各種子育て支援施策と、首都圏駅でのプロモーションを展開している。
- 送迎保育システム、ファミリー・サポート・センターや子育て応援マンション認定制度などの支援施策を整備している。



#### 成果

転入超過数(2018-2020平均)

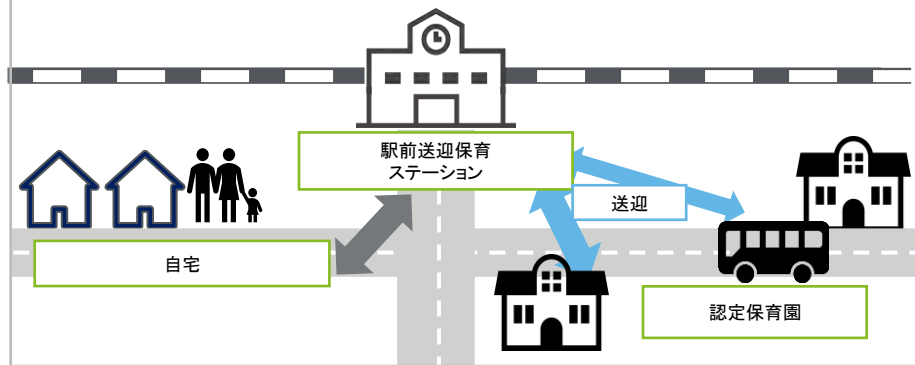


### 特徴的な取組

#### 送迎保育システム

- 流山おおたかの森駅前ビルに送迎保育ステーションを設置。
- 出勤する親が連れてきた子供を朝に預かり、市内の保育園までバスで送り、夕方、バスで戻ってきた子どもを保護者が迎えに来るまで預かるシステム。

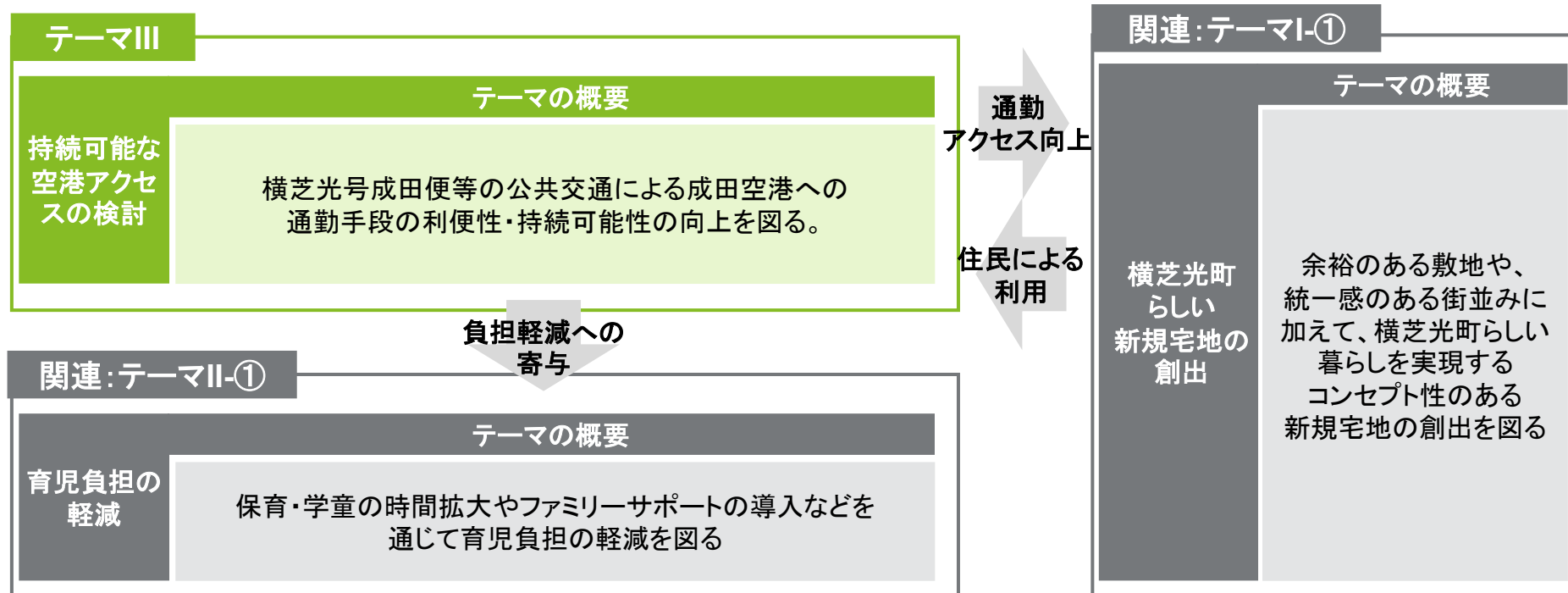
#### イメージ



# 横芝光町・成田空港間の公共交通アクセスの向上により空港従業員への訴求力を向上させるべきではないか

## 「公共交通による空港アクセス向上の模索」に関する取組テーマの設定

- 空港従業員を誘引するにあたっては空港従業員の勤務時間を考慮した公共交通の検討が必要である。
- 一方で、自家用車普及率の高い横芝光町では増便だけでは利用者の増加につながらない可能性もあり、ダイヤやルートなどの継続的な見直しを含めた持続性の観点からの検討が重要となる。

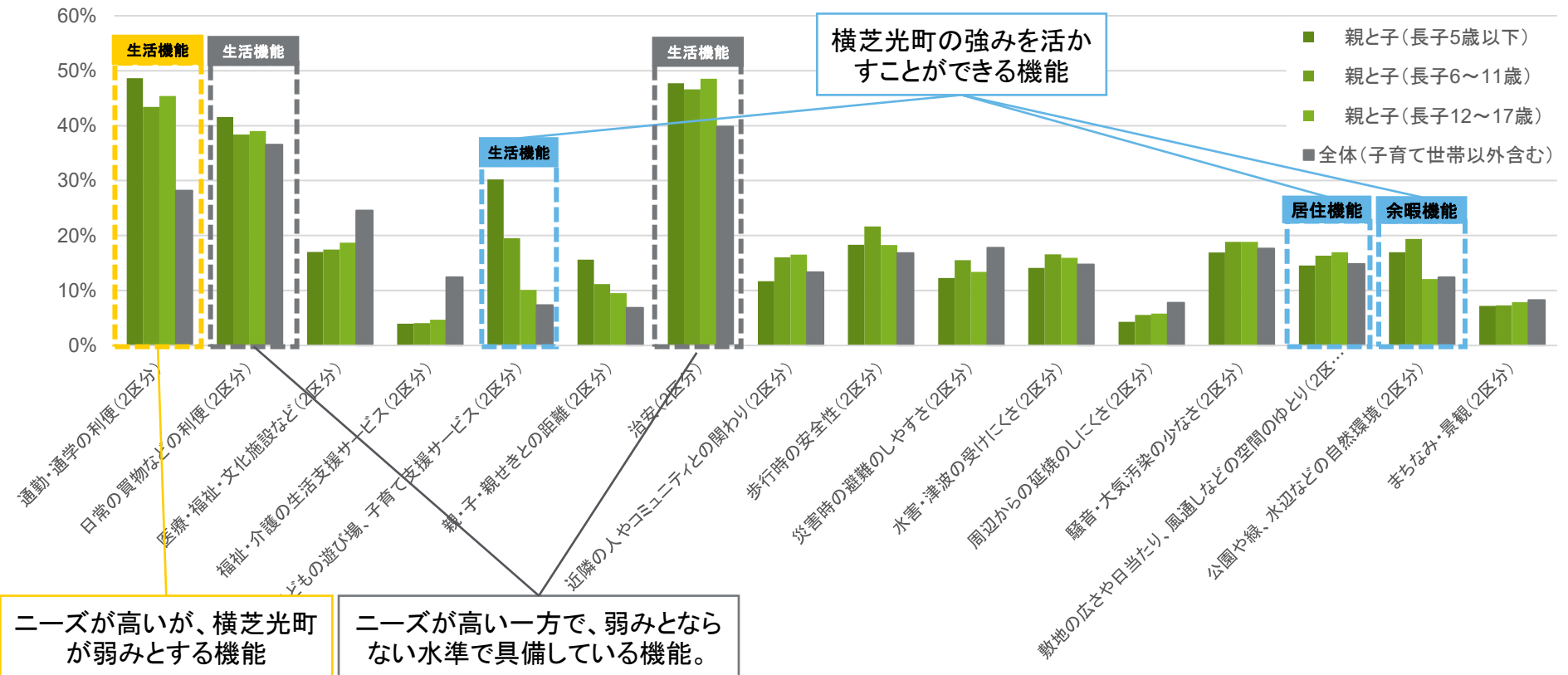


# 生活機能のうち居住地選択において大きなマイナスとならないために補完が必要な機能は「公共交通」、活かすべき強みは「子育て支援」であると考えられる

## 子育て世帯の居住環境へのニーズ

- 子育て世帯は、自然環境や敷地のゆとり、子供の遊び場・子育て支援サービスなどへのセグメント特有のニーズを持つ。
- 子育てと仕事を両立するために、通勤通学の利便性や、日常の買物などの利便性について、強いニーズを持つ傾向がある。

子育て世帯の住環境へのニーズ



出所:「住生活総合調査」、国土交通省、2018年

# 空港従業員の就業実態を考慮しても、「子育て支援」と「公共交通」の強化・拡充を検討する余地があると考えられる

## 空港従業員の就業実態に関する初期調査結果

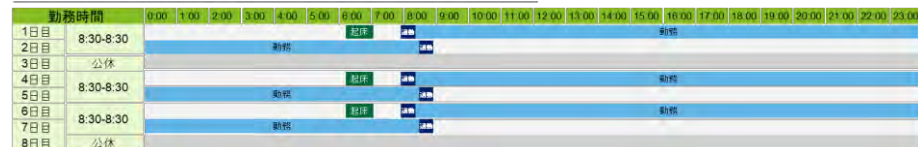
### 就業実態の初期調査結果概要

- 横芝光町において定住人口増加が見込まれる可能性が高い航空機サービス業・その他サービス業・航空貨物業従事者は、原則としてシフト勤務であり、休日も固定ではない。

グランドサービス従事者(航空機サービス業)



警備業従事者(その他サービス業)



保税貨物取扱業従事者(航空貨物業)



### 空港関連従業員の居住地ニーズ初期仮説

- 平日の固定時間での勤務を想定した生活機能とのずれが予想される。
- 空港従業員の就業リズムを考慮した生活機能に対してニーズを抱く可能性がある。

#### 子育て支援

- 夜間認可保育園の創設や土日保育の拡充、ファミリーサポートなどによる、子育て支援の拡大。

#### 公共交通

- シフト勤務時の通勤に配慮したダイヤでの通勤バスの運行。

#### 商業機能

- 深夜まで営業している日用品小売店。  
→現状の横芝光町の機能で一定は充足。

※空港従業員のニーズについては現状では仮説で記載。有識者会議以降に、順次ヒアリングを通じて明確化する方針。



# 近隣の多古町・山武市では空港アクセスの強化に力を入れており、空港従業員の定住地選択への影響が生じる可能性がある

## 横芝光町の交通利便性の概要

- 横芝光町・成田空港間で運行されているバスは、近隣の多古町・芝山町と比較して便数としては遜色ないものの、便数の半数以上を占める空港シャトルバスが横芝光町の中心市街地を通過しない状況となっている。
- 多古町ではパーク&ライドによる自家用車から公共交通への転換促進が図られており、芝山町はMaaS実用化に向けた動きを進めている。

成田空港間へのバス運行状況

	路線名	便数	中心市街地 停留所	空港行		空港発	
				始発	終発	始発	終発
横芝光町	空港シャトルバス	24便	無し	5:33	20:48	6:31	21:52
	横芝光号成田便	20便	有り	5:20	21:00	7:45	22:10
芝山町	空港シャトルバス	24便	有り	6:16	20:48	6:31	21:52
	成田シャトル(WILLER)	45便	有り	5:30	21:45	6:50	26:15
多古町	多古-成田空港間シャトルバス	40便	有り	5:50	20:48	6:31	22:50

多古町・芝山町における公共交通に関する取組状況

### 多古町におけるパーク&ライド構想



- 自家用でバス停まで行き、バス停付近の駐車場に駐車し、バスで目的地に向かう乗り換えシステムであるパーク&ライドを意識した機能を多古台に配置。
- 駐車場付きのバスターミナル周辺に、こども園と商業施設を集約することで利便性を高め、バス利用のインセンティブを高めている。

### 芝山町とWILLERによるMaaS実用化を目指した包括連携協定締結

概要	連携事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「マイカー依存度が高いことによる成田空港までの交通渋滞」等を課題とする芝山町と、『MaaS』等で交通効率化を目指すWILLERが2020年にMaaSの実用化を目指し、包括連携協定を締結。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域経済活性化に貢献するモビリティサービスやMaaSの検討</li> <li>② 地域交通の利便性の向上に関する取り組みの実施</li> <li>③ 新たなモビリティサービスやMaaSの実装に向けた実証実験の実施</li> <li>④ その他本協定の目的達成に必要な事項</li> </ol>

# 山武市では空港アクセス強化の観点から「さんむウイングライナー」に関する実証実験を続けてきたが、利用者数は低位に留り、運行は終了した

## さんむウイングライナーの取組概要

### さんむウイングライナーの概要

#### 取組概要

- 2018年10月よえり、成田国際空港周辺企業への就業促進の流れをつくる一環として、成田方面への路線バスであるさんむウイングライナーを実証実験運航してきた。
- 実験運行を、2021年3月末で終了し、成田国際空港の第3滑走路(C滑走路)の新設など空港の機能強化の進展に併せて、本格運行を検討することにしてはいたが、運行終了。

#### 運行情報

##### 便数

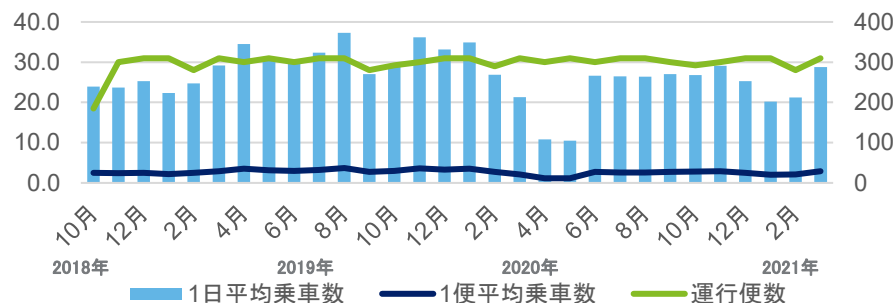
10往復/20便

##### 路線

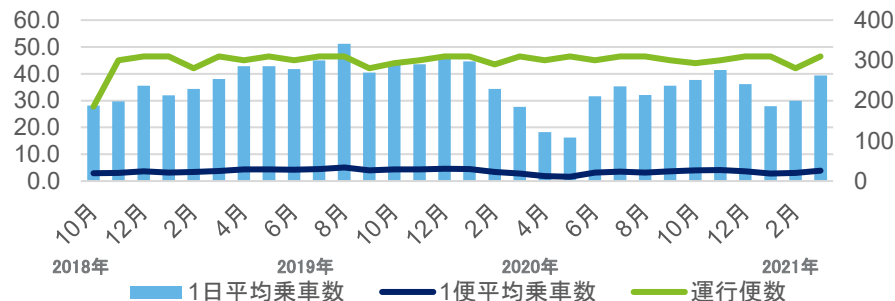
山武市役所－(JR求名駅)－(城西国際大学カリヨン通り)－(成東高校前)－JR成東駅－山武成東インター入口－日向台－椎崎(令和2年3月1日新設)－さんぶの森公園－山武北小学校前－風和里しばやま－芝山中学校入口－整備地区－空港第2旅客ターミナル－(イオンモール成田)－(京成成田駅)

### さんむウイングライナー実証実験結果

#### 山武方面行



#### 成田方面行





# 地域交通の再生に成功したイーグルバスの事例を踏まえると、路線配置・便数・ダイヤなどを総合的に検討して持続可能な公共交通網を目指すべきと考えられる

参考：川越市を拠点とするイーグルバスの取組事例

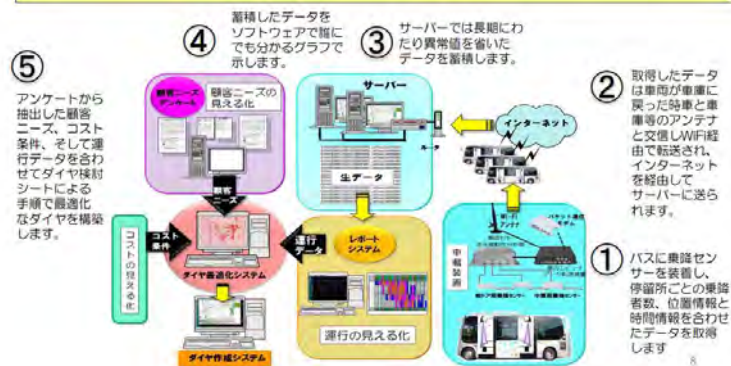
## 会社概要

- 埼玉県川越市に本社を置き、2003年より路線バス事業に参入。
- 大手バス会社が、2006年に日高市、飯能市、ときがわ町、東秩父村などを通る3つの不採算路線の廃止を決めたことを受けて、廃止路線を引き継ぐ。
- 同路線の再生に成功したことで注目を集め、国土交通大臣賞などを受賞。

## 取組概要

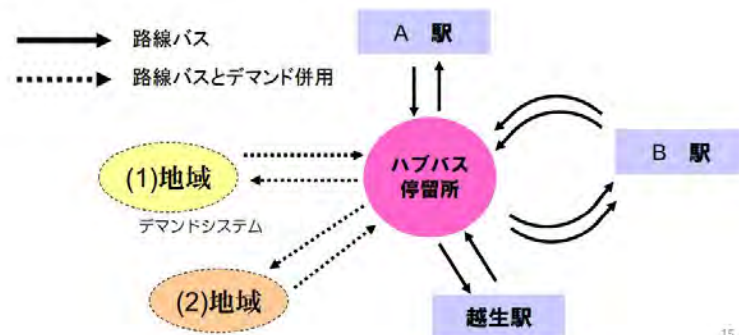
### データに基づく路線・ダイヤ編成

- バス乗降口に赤外線センサーとGPSを設置し、「どの停留所で何時に何人が乗降するか」のデータを収集。
- 低利用率の時間帯など明確化し、時刻表やルートを頻繁に変えることで不採算路線を効率化・黒字化してきた。



### ハブ&スポーク

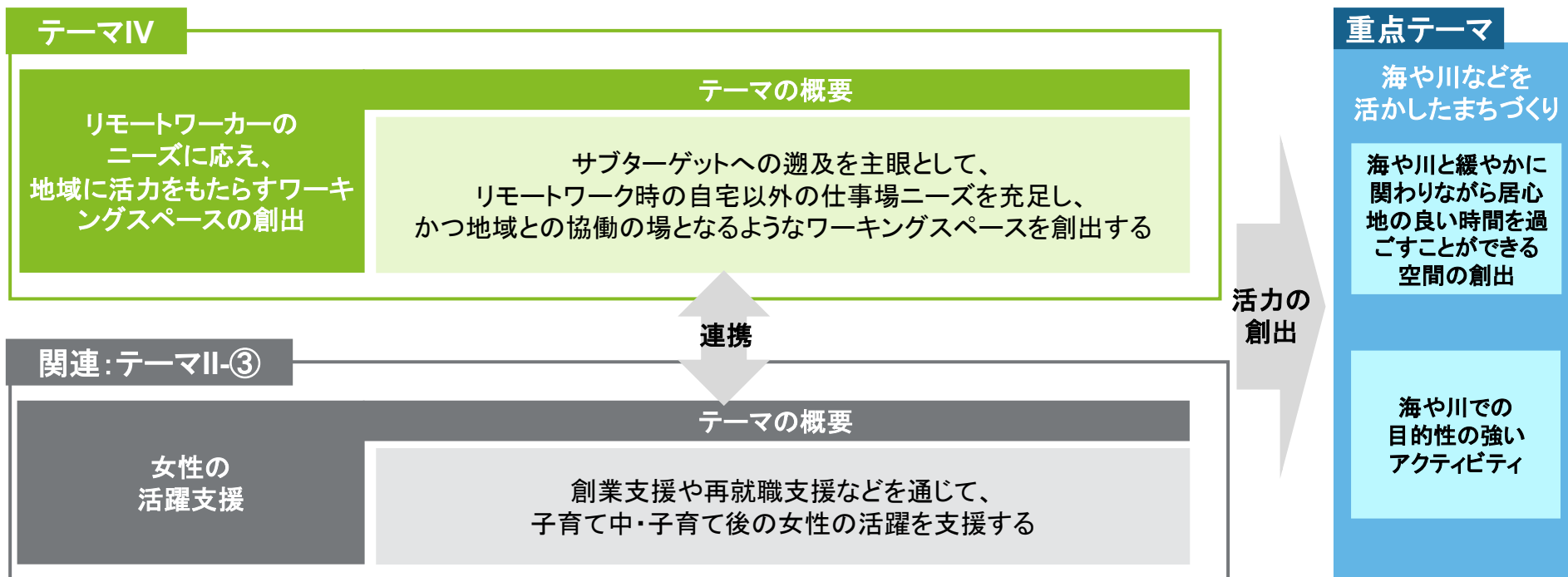
- 複数のバス路線について、役場近くにハブ停留所を設置し、すべてのバスの発着を集約。
- ダイアの調整により、ハブでの乗換をスムーズ化。



# テレワーカーの仕事場ニーズを充足するとともに、地域との協働の場となるようなコワーキングスペースの創出を目指すべきではないか

## 「After/Withコロナ時代の働き方を実現する就業環境の創出」に関する取組テーマの設定

- サブターゲットとして誘引を図るテレワーカーは、自宅以外の仕事場へのニーズを持つため優良なコワーキングスペースの創出が訴求力を持つ可能性が高い。
- サブターゲットとして想定されているのはマーケティング・企画職・クリエイティブ職などであり、地域との協働を推進する場として設計することで、関連テーマへの波及効果が期待できる。



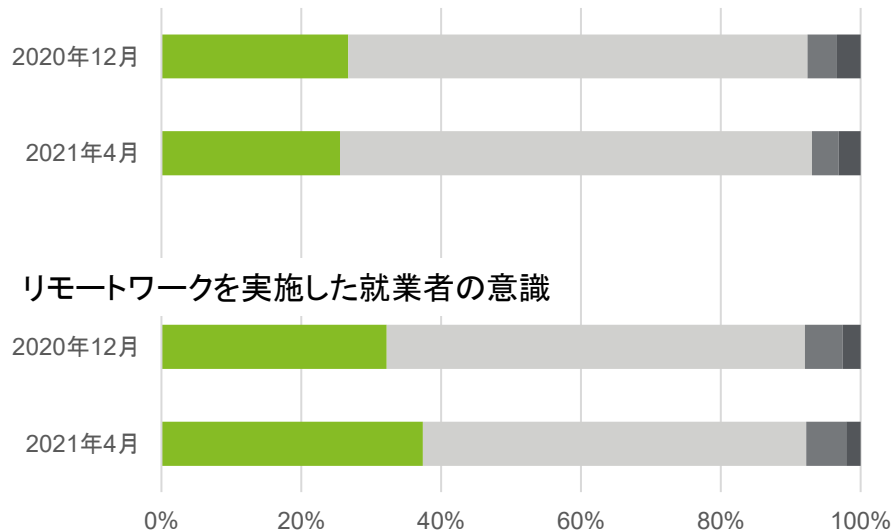
# リモートワークの経験により、ワークライフバランスを見直す意識や、移住に対する関心が高まる傾向にあるため、リモートワーカーを軸にサブターゲットを検討すべき

## リモートワークによるライフスタイルへの影響

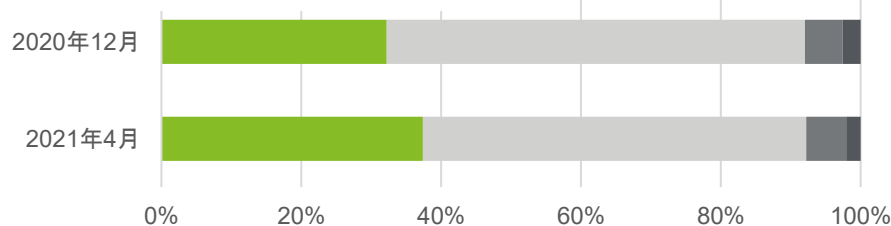
■ リモートワークを経験することで、ワークライフバランスに対する意識や移住に対する関心が向上する傾向がある。

### ワークライフバランスに対する意識

リモートワークを実施していない就業者の意識



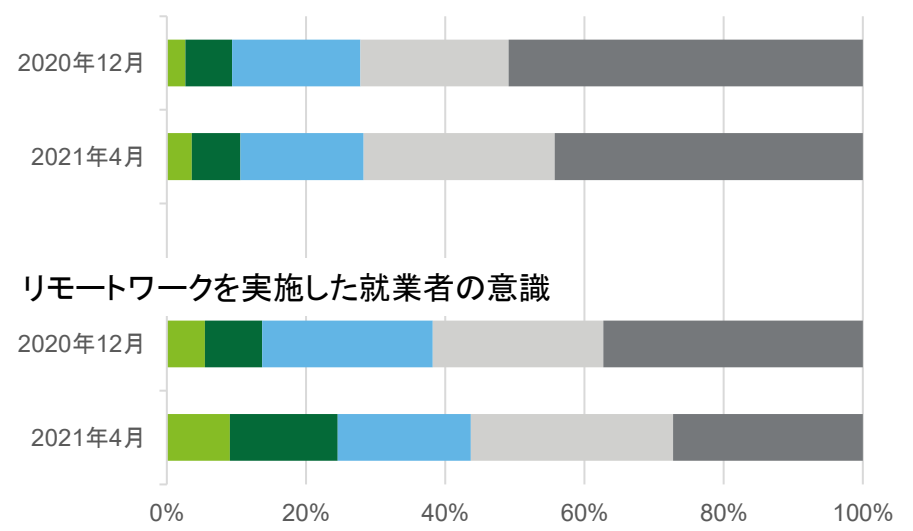
リモートワークを実施した就業者の意識



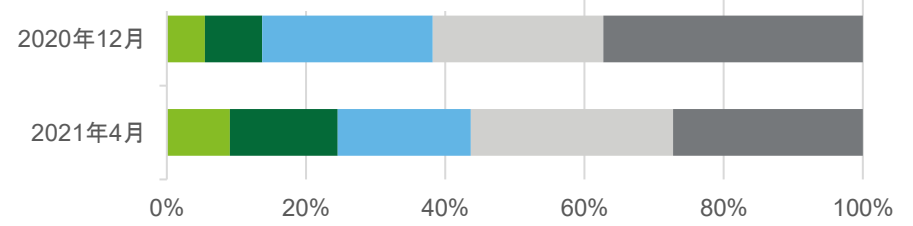
- 感染症拡大前よりも、生活を重視するように変化
- 変化はない
- 感染症拡大前よりも、仕事を重視するように変化
- わからない

### 移住に対する関心

リモートワークを実施していない就業者の意識



リモートワークを実施した就業者の意識



- 強い関心がある
- やや関心がある
- 関心がある
- あまり関心がない
- 全く関心がない

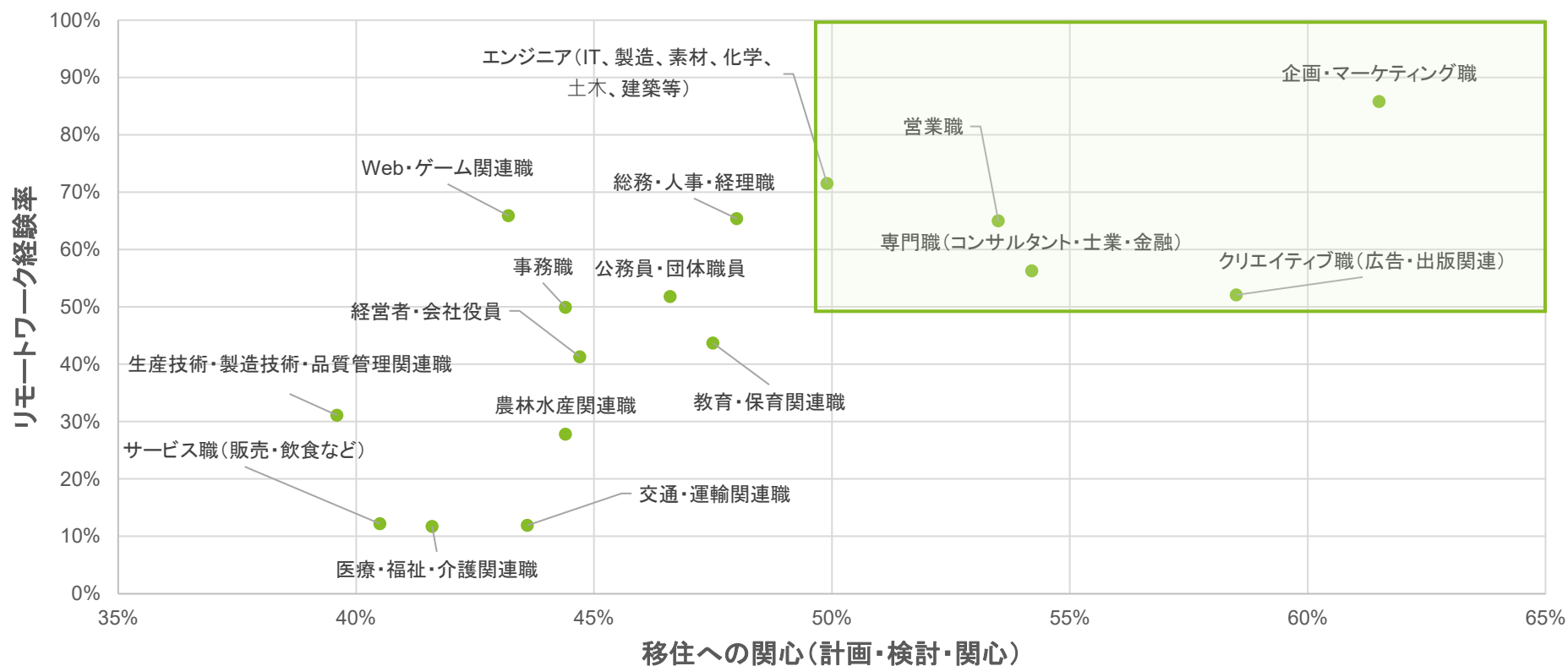
出所:内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」より

# リモートワーク経験率と移住への関心が共に高い、企画・マーケティング職などが主たるターゲットとなるのではないか

## ターゲットとすべき職種の検討

- リモートワーク経験率が高く、職住分離が可能である職種であり、かつ移住への関心が高位である企画・マーケティング職や専門職などが有望なターゲットとなり得る。

リモートワーク経験率×移住への関心(職種別)

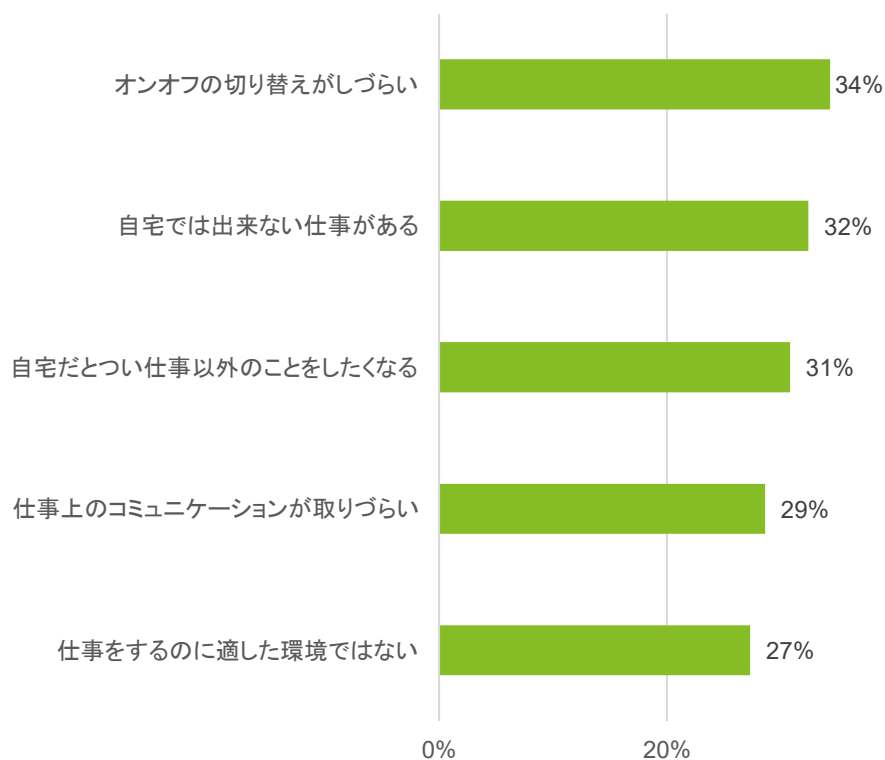


出所:KDDI総合研究所「コロナは移住を加速させるか?～首都圏生活者の移住意向調査」を基に弊社作成

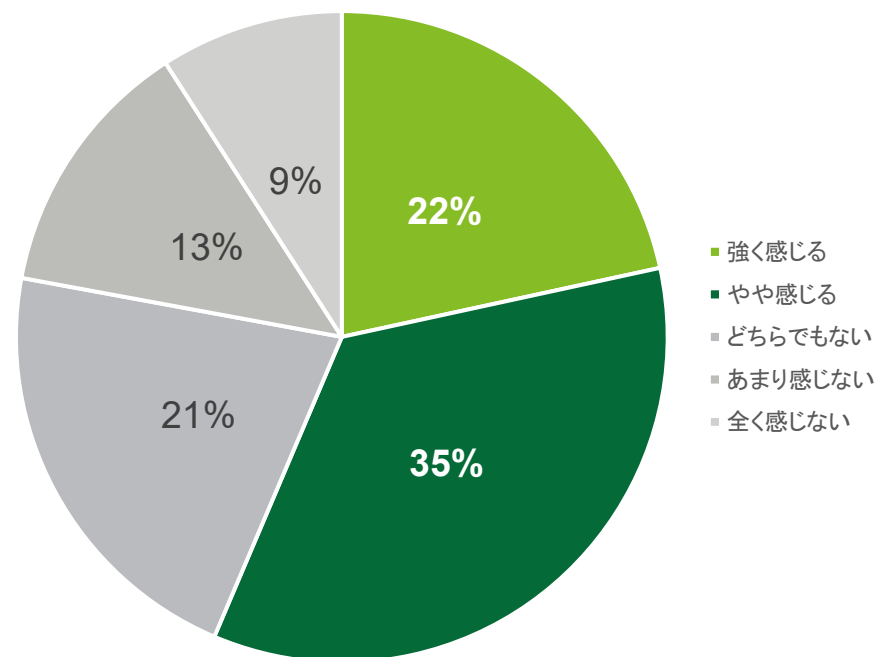
# リモートワーク実施時の不満として、自宅の環境などを挙げる人が多く、57%の人が、リモートワーク時の自宅以外の仕事場ニーズを感じている

## リモートワーク時の仕事場ニーズ

リモートワーク実施時の不満



リモートワーク時の自宅以外の仕事場ニーズ



出所: KDDI総合研究所「コロナは移住を加速させるか? ~首都圏生活者の移住意向調査」を基に弊社作成

# 長野県富士見町の coworking space「富士見 森のオフィス」は、移住者・地域住民を繋ぎ、地域活性化につながるプロジェクトが生まれる場となっている

## 参考事例: 富士見 森のオフィス

### 事例概要

事業名・呼称	富士見 森のオフィス
場所	長野県諏訪郡富士見町
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 2015年12月に、富士見町が進める移住促進施策「テレワークタウン計画」の一貫としてオープンした施設である。</li><li>■ Coworking spaceを中心として、個室型オフィス・会議室・食堂・キッチン、シャワールーム・庭などを備える。</li><li>■ 単に作業場としてだけでなく、「つながりを求めて」利用する人が多く、利用者の中でハケ岳のローカルメディアをつくるチームが立ち上がるなど、3年間で120以上のプロジェクトが生まれている。</li></ul>



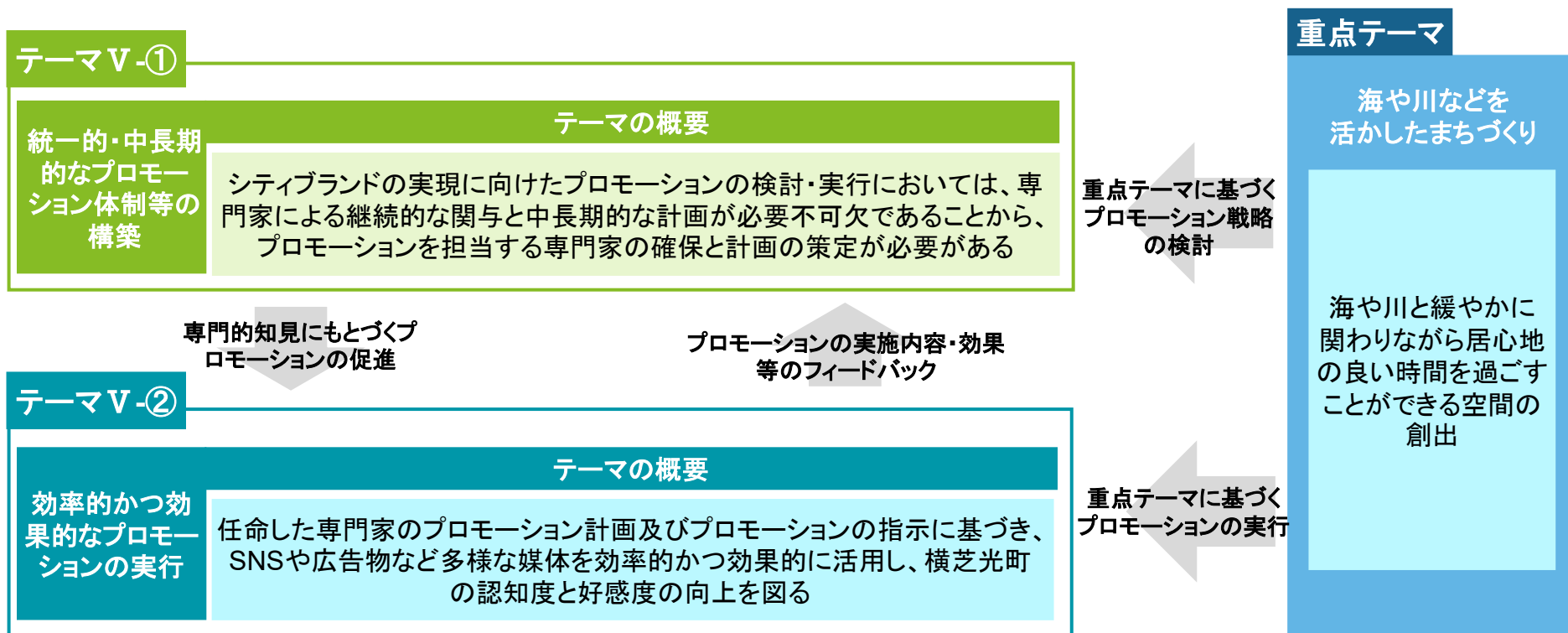
出典: SUUMOジャーナルHP等を基に、デロイト作成



# 統一的なプロモーション体制の中長期的な構築と、効率的かつ効果的なプロモーションの実行を通じてシティブランドの確立を目指す

## 「他自治体と差別化されたシティブランドの確立」に関する取組テーマの設定

- 相応の期間にわたるまちづくり構想においてシティブランドを確立するためには、専門知見にもとづく一貫したプロモーション施策の継続が必要であるという考え方にに基づき、中長期的なプロモーション体制の構築・専門家の登用を図る
- まちづくりにおいて開発された居住機能や交流機能が最大限の効果を発現するために、専門知見にもとづく効率的かつ効果的なプロモーションの実行が必要



# 流山市では、キーマンが複数年にわたってまちづくりのプロデュースやプロモーションに 関与する体制下で、一定の成果を上げている

## 千葉県流山市にけるシティプロモーションのキーマンと計画及び実行内容

キーマン	<b>河尻和佳子</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>14年間の電力会社で営業、マーケティングを担当。流山市への移住をきっかけに広報官に応募。「母になるなら、流山市。」のコピーを発案。</li> </ul>	
	自治体との関係性	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年任期付職員として採用。広報官として任期を継続更新し、現在は流山市役所のマーケティング課長(参考:)</li> </ul>
<b>プロモーション計画</b> <p><u>継続してシティプロモーションに係るプラン策定を実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2011年、第1期シティセールスプラン策定</li> <li>2016年、第2期シティセールスプラン策定</li> <li>2021年、流山市ブランディングプラン策定</li> </ul>		
実行内容	広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>2010年10月より「母になるなら、流山市。」のコピーのもと、首都圏の駅で広告を展開、市外への発信を継続</li> </ul>
	Webサイト活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>特設PRサイトを開設し、住民によるまちの紹介動画の掲載や、市民から寄せられたまちでのストーリー紹介、移住ウェルカムガイドの展開等を行っている</li> </ul>
<b>成果</b> <p><u>10年間で約2万人の人口増加</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「母になるなら、流山市。」のコピーに基づく一連のPR等施策により人口の増加傾向を実現</li> </ul>		
<b>特筆すべきプロモーション</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロモーション効率や町の盛り上がりの観点から、市民を巻き込んだPR活動を展開。メディアへの市民の露出を高めること等で、町の一体感を高め、市民による自主的なPR活動を引き出した</li> </ul>		

# 自治体事例を参考に任期付職員の公募条件の検討が可能

## 流山市におけるマーケティング課長職の公募要件 抜粋

職位と主な職務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■ マーケティング課長(課長級)</li><li>■ マーケティング活動及びシティセールスの推進</li></ul>
任期	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 2年</li></ul>
給与等	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 給料は、流山市職員の給与に関する条例の規定に基づき、学歴、職歴等を勘案し決定します。その他、通勤手当、住居手当、扶養手当、期末・勤勉手当等がそれぞれ支給要件に応じて支給</li></ul>
応募資格	<ul style="list-style-type: none"><li>■ マーケティングに関連する業務に従事した経験を有する者で、平成28年10月31日現在、年齢満58歳以下であること。なお、次のいずれかに該当する人は、応募できません。<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本の国籍を有しない者</li><li>・ 地方公務員法第16条に定める欠格条項に該当する者</li><li>・ 成年被後見人又は被保佐人(準禁治産者を含む。)</li><li>・ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人</li><li>・ 流山市職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人</li><li>・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人</li></ul></li></ul>
応募	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 提出書類<ol style="list-style-type: none"><li>① 任期付職員選考申込書(第1号様式)</li><li>② 履歴書(第2号様式)</li><li>③ 職務経歴書(第3号様式)</li><li>④ 推薦状(第4号様式)</li><li>⑤ レポート課題「流山市の戦略的なマーケティング活動における課長としての役割」 (パソコンで作成すること。A4縦長の用紙で日本語の横書きとし、1行 40 字、1ページ 30 行、文字の大きさはおおむね 12 ポイントとすること。課題及び氏名を冒頭に記載して 1 枚で完成すること。参考として図表又はグラフを添付しても良い。)</li></ol></li></ul>

# 流山市では、プロモーションやブランディングに係るプランニングを継続して行い、中長期にわたって計画的なプロモーション活動を実施している

## 千葉県流山市にけるプロモーション計画

### 第1期シティセールスプラン(2011年)

- 定住対象を30～40代前半の共働き子育て世代(DEWKS)に定めたマーケティング戦略を展開
- DEWKSへのメッセージ「母になるなら、流山市。」「父になるなら、流山市。」を設定

### 第2期シティセールスプラン(2016年)

- 市のブランド価値の向上とさらなる「住み続けたい」「住みたい」需要の強化のため、「住み続ける価値の高いまち」ブランドを目指し、プランを推進

### 流山市ブランディングプラン(2021年)

- 流山市が「選ばれる」まちでありつづけるために、市のマーケティング戦略は市のブランド価値向上のための推進活動「ブランディング」に注力し、「良質な住環境」「快適な都市環境」が共存する「住み続ける価値の高いまち」の実現を目指す

流山市 シティセールスプラン		
目次		
1	目標は定住人口増加、そしてあこがれの街流山市に向けて	1
2	流山市の知名度を上げ、イメージを上げる	1
3	SNSを使った情報交流人口の増加	2
4	情報交流人口の中心は子育て世代	3
5	住みたい街あこがれの街をめざして、流山市をブランド化する	4
	(1) 流山市の魅力	4
	(2) 流山市の魅力ブランド化する	5
	(3) ブランド化に向けた主な流山市の魅力・資源	6
6	プロモーション展開の方向性	7
7	プロモーション活動のメニュー	8
	(1) イベント(橋のマルシェ)PR	8
	(2) イベント(流山おたかの森・イルミネーション)PR	9
	(3) イベント(鎌倉フェア)PR	10
	(4) イベント(オープンガーデン)PR	11
	(5) イベント(利根運河・オープンオアシスフェス)PR	12
	(6) イベント(流山本町・タイムスリップ散歩)PR	13
	(7) TV番組利用PR	14
	(8) 首都圏PR	15
	(9) web PR	16
	(10) デジタルサイネージPR	17
	(11) フィルム・コミッションPR	18
8	推進体制	19
	資料 流山市の概要	21

流山市 第II期 シティセールスプラン		
目次		
・	はじめに — 流山市長	P2
・	平成23年～平成27年 5年間の目的と成果	P4
・	平成28年～平成32年「シティセールス」の課題	P5
・	訴求対象：首都圏のDEWKS（特に30歳代～40歳代の共働き子育て世代）	
・	流山市ブランド確立への「体系的アプローチ」とは？	P6
	— 効果階層モデル	
	— 2つのポジショニング・メッセージに焦点を絞る	
・	「体系的アプローチ」の各階層に沿った、事業・施策	
	— (1) 首都圏広告、ウェルカムガイド	P8
	— (2) PR（媒体パブリシティ）、SNS	P9
	— (3) シティセールスイベント	P10
	— (4) シンクフライドの醸成	P11
	— 東京オリンピック・パラリンピック 種数競技の事前キャンプ(オランダチーム)ほか	
	— (5) センスのいい都市ブランド「グッドデザイン・シティ」の推進	P12
・	平成28年～平成32年 5年間の事業推進プラットフォーム	P13
・	目標(ゴール)と成果指標	P14
・	流山市の概要	P15

流山市 ブランディングプラン		
目次		
1.	マーケティング戦略はブランディングステージへ	P.02
2.	流山市ブランディングの現在地とこれから	P.08
	2-① 市ブランドを形づくるもの	
	2-② ブランドイメージ形成方向	
	2-③ 共感に導く心理的価値	
3.	ブランドコミュニケーション	P.11
	3-① タッチポイント設計	
	3-② ブランドイメージ共有	
	3-③ コミュニケーションフロー	
4.	2030年の流山市ブランド	P.14

# 流山市では、首都圏駅での広告物展開や特設PRサイト活用によるプロモーションを実行している

## 千葉県流山市におけるプロモーションの実行

- 平成22年度より、「母になるなら、流山市。」のキャッチコピーを使い、首都圏駅でプロモーションを継続



(令和元年11月1日より首都圏4駅5か所に展開のデジタルサイネージ)

- 特設PRサイトを開設し、居住者の声やウェルカムガイドの提示を行っている



(特設PRサイト)

(ウェルカムガイド)



# 青島ビーチパークでは、キーマンが複数年にわたってプロデュースやプロモーションに 関与する体制下で、一定の成果を上げている

## 青島ビーチパークにおけるプロモーションのキーマンと計画及び実行内容

キーマン	<b>宮原秀雄</b> <ul style="list-style-type: none"><li>17年間の博報堂勤務を経て独立。2015年1月より、家族で宮崎へ移住。青島ビーチパークの総合プロデューサーとして立ち上げに関与。現在も青島ビーチパークの統括ディレクターを務める。</li></ul>
自治体との関係性	<ul style="list-style-type: none"><li>宮原氏と宮崎市の間に雇用関係はない。宮原氏は、「渚の交番青島プロジェクト実行委員会」から委託を受け、助言等を提供する形で青島ビーチパークの統括ディレクターを務めた</li></ul>
プロモーション計画	<ul style="list-style-type: none"><li>立ち上げ時、総合プロデューサーのもと、プランニングからネーミング、リーシング、空間プロデュースや店舗プロデュース等、統一的な計画を策定。その後プロデューサーが統括ディレクターとして関与を継続</li></ul>
実行内容	広告 <ul style="list-style-type: none"><li>タブロイド版リージョナル紙の発行等を実行</li></ul>
	Webサイト活用 <ul style="list-style-type: none"><li>公式Webサイト、Facebookページ制作、実行</li></ul>
成果	<b>年間23万人の誘致と周辺エリアへの波及効果の創出</b> <ul style="list-style-type: none"><li>開業年度の2015年には23万人の誘致を実現(2014年までの約10年間は7~18万人を推移)</li><li>周辺店舗のリニューアルや新規出店等の波及効果も発現</li><li>第10回 まちづくり賞 受賞(公益社団法人日本建築士会連合会)</li></ul>
特筆すべきプロモーション	<ul style="list-style-type: none"><li>SNSを積極的に活用する一方で、地元向けには紙媒体でのPRも行うなど、ターゲットに応じた効果的なプロモーションを展開</li></ul>



# 青島ビーチパークでは、ターゲット等を考慮することで効率的かつ効果的なプロモーションを実行している

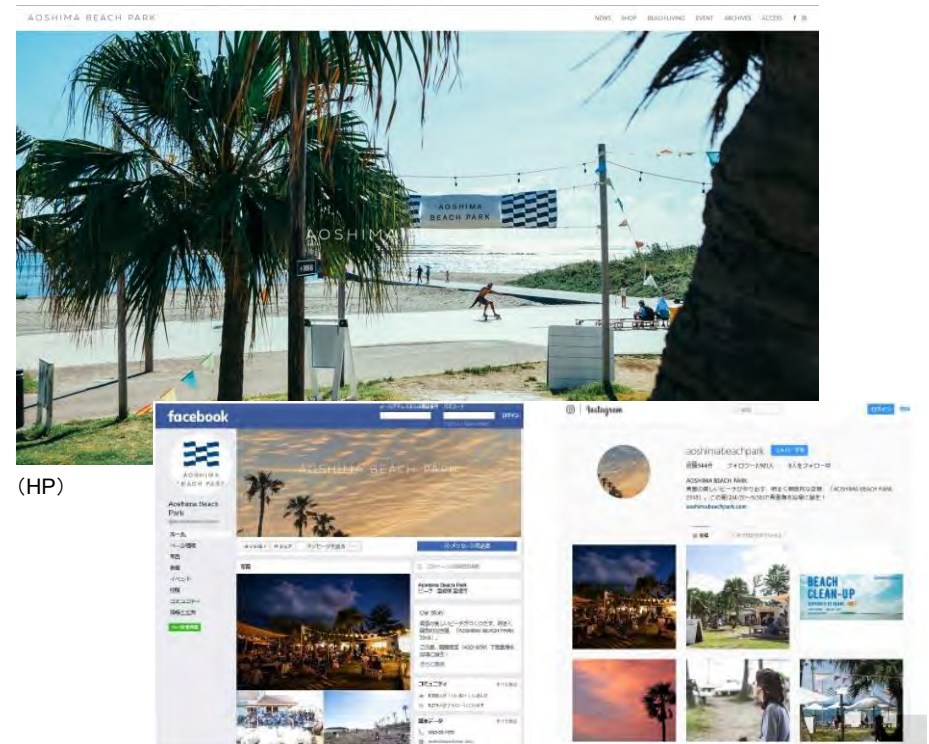
## 青島ビーチパークにおけるプロモーションの実行

- ▶ 地元向けには、紙媒体でのPRも行うなど、ターゲットに応じたプロモーションを展開



(タブロイド紙: AOSHIMA BEACH STYLE)

- ▶ 地元以外のプロモーションターゲットに対し、HPやFACEBOOK等SNSを積極的に活用



(HP)

(facebook)

(Instagram)

# 青島ビーチパークは、プロモーションの成功に向け大手広告代理店出身者をプロデューサーに起用し、民間のノウハウの活用が可能な体制を構築した

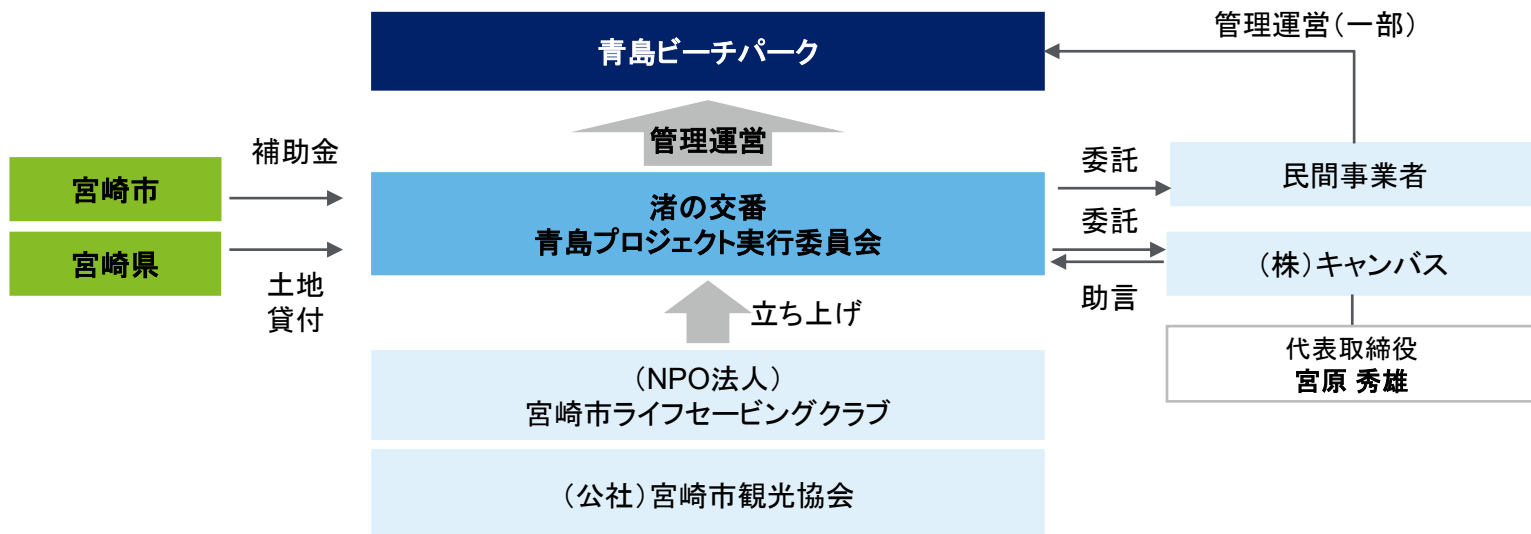
## 青島ビーチパークにおける体制づくり

### 民間事業者の知見を取り込む体制の整備

#### 特徴

- 渚の交番の運営主体として、宮崎市観光協会と宮崎市ライフセービングクラブの共同事業として設置された「渚の交番青島プロジェクト実行委員会」を中核として、民間事業者やアドバイザーのノウハウを活用できる体制を整備。

### 青島ビーチパークに関する体制図



# 定住者誘引に向けた目指すべき姿の導出

# 定住人口増加に向けて、横芝光町が具備すべき機能とエリアの位置づけを踏まえ、まちの将来像のイメージを策定した

## 横芝光町が目指すべき将来像

- 子育て世帯をターゲットとして、ゆとりのある区画、緑化に配慮した宅地を形成
- 住居と合わせて、住民が交流を図ることができるコミュニティスペースを創出



出典: COPLUS HP

- 堤防上の道路（管理用通路）の整備を行い、川沿いのサイクリングロードとして機能強化を促進



出典: 横芝光町

- カヤックや釣りの拠点にもなっている親水施設等を中心に賑わいを創出



出典: 横芝光町

- 多くの人が九十九里浜の魅力を感じられるように、仮設建築などを駆使したカフェなどによる憩いの空間を創出
- こどもの国跡地と栗山川漁港等の活用による交流拠点の創出



出典: 青島ビーチパーク HP



出典: ビーチパークリビング HP



出典: 横芝光町土地利用ビジョン

- 横芝光IC周辺に、商業・製造業・物流業の誘致に加えて、アウトドア向け交流エリアを備える複合拠点を形成



出典: 横芝光町産業導入拠点形成戦略



出典: ニュースイッチHP



出典: 楽天トラベルHP

- 本格的な田舎暮らしを志向するターゲットを誘引するため、空家の円滑な流通を促進



出典: 横芝光町

- 単身者や子育て世帯をターゲットとした多世代共生型のまちづくりを促進



出典: 下北線路街 BONUS TRACK

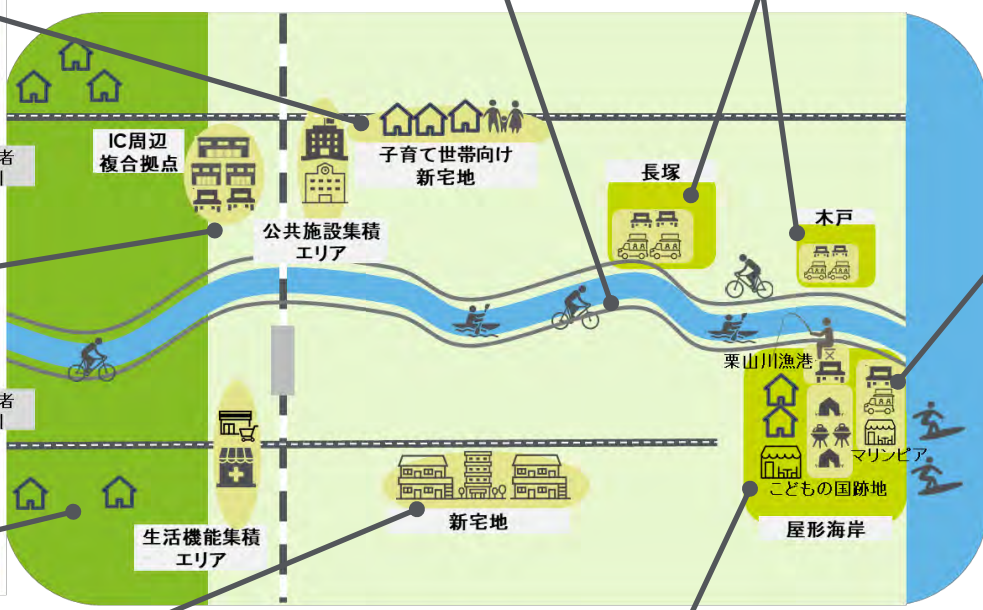
- 個性的な飲食店や、趣味性の高い住居の集積を図り、定住者、観光客の双方にとって魅力的な海岸エリアを創出
- サーファーなどをターゲットとして想定した coworking スペースなどを整備し、新たな働き方・暮らし方ができる拠点をめざす



出典: HOWSTAY HP



出典: Marine&Farm HP





# 【参考】まちづくりのコンセプト案の考え方

## コンセプトの考え方と案

考え方

コンセプト案は、地域資源起点やヒト起点でキーワードを考案し、それらを掛け合わせることで導出することが有効

### 地域資源起点

#### ▶ キーワード:海・川・星

- 内部環境・外部環境整理において見出された横芝光町の強み「海・川などの豊富な自然資源」を踏まえ、海・川を地域資源起点のキーワードとしたい
- 「海岸で星をきれいに見られる点で、青島ビーチパーク等と差別化可能ではないか」といった有識者意見を踏まえ、海川のみならず、星をキーワードとしたい



### ヒト起点

#### ▶ キーワード:スローライフ／敷居が低い

- 本構想は、多くのターゲット候補を対象と考え、メインテーマを「海や川と緩やかに関わりながら居心地の良い時間を過ごすことができる空間の創出」と掲げており、その意味合いは、誰もが気軽に地域資源に触れ、楽しみ、憩うことを意図することから、そのニュアンスを表す”スローライフ”をヒト起点のキーワードとしたい
- 例として栗山川は穏やかな流れを有し初心者でもあっても川遊びに親しみやすい環境となっている。海・川・星といった自然環境に親しむアクティビティに気軽にチャレンジできる意味合いを込めて”敷居が低い”をヒト起点のキーワードとしたい

コンセプト

海・川・星を感じながら 自分らしく過ごすまち

# 子育て中の世帯を主たるターゲットとし、ゆとりのある区画で、開放感・一体感のある住宅地の形成を図るべきではないか

居住拠点

## 東側宅地エリアにおける目指すべき姿・機能の概要



- 目指すべき姿・機能
- 子育て中の世帯を主たるターゲットとし、ゆとりのある区画で、開放感・一体感のある住宅地の形成を図る。
  - 横芝光町の強みである自然環境と調和した、緑化に配慮された宅地形成を目指す。
  - 新規定住者と既存住民が交流を図り、また新規定住者が横芝光町というフィールドで様々な取組を行うことができるようなコミュニティスペースや、親子で過ごしやすいサードプレイスとなるような空間整備を検討する。

- 他エリア・関連機能との連動
- メインターゲットである空港従業員のニーズを踏まえた、子育て支援の強化・公共交通の整備を模索・検討する。

現況	■ 約16ha(推計)の農振農用地
位置関係	■ 大規模小売店等が集積するエリアまで約2kmほどの距離。
	■ 図書館、体育館、光中学校などが集積するエリアまで1Km以内の位置。



福岡県北九州市「サトヤマビレッジ」 北海道東川町「グリーンヴィレッジ」



# 北海道東川町では、町長の掲げる「適疎」なまちづくりという理念の下で、景観条例や緑化協定などを駆使した特色ある宅地造成を進めている

## 参考事例:東川グリーンビレッジ (宅地)

### 事例概要

事業名・呼称	東川グリーンビレッジ
開発主体	東川町土地開発公社
場所	北海道東川町
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 町長の掲げる「適疎」なまちづくりという理念の下で、単に人口を増やすのではなくゆとりのある空間を重視し、過疎でも過密でもないまちを目指している。</li><li>■ ゆとりのある適疎で、魅力のある住環境の整備に力を入れており、景観条例を制定し、「東川風住宅設計指針」というデザインの指針を示している。指針に沿った住宅については補助金支援がある。</li><li>■ 土地開発公社が開発を行い、子育て世代が多く住む、分譲地の「グリーンヴィレッジ」は、購入時に「建築緑化協定」を結ぶ必要があり、道路境界から2mはグリーンゾーンとし、2本以上の樹木を植栽することなどが定められている。</li></ul>



東川グリーンビレッジ



東川風住宅モデルハウス

出典:東川町HP等を基に、デロイト作成

# 福岡県北九州市では、「里山で暮らす」をコンセプトに、共有林をもつ宅地である「サトヤマヴィレッジ」を産官学連携で整備した

## 参考事例: サトヤマヴィレッジ (宅地)

### 事例概要

事業名・呼称	サトヤマヴィレッジ
開発主体	コプラス/エス・コンセプト/九州大学/北九州市等
場所	福岡県北九州市
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 北九州市施行による「北九州学術・研究都市北部土地区画整理事業」の一環で、“彩りのまち、響きの、モデル街区整備事業”として2008年造成された街区。</li> <li>■ “里山で暮らす”をコンセプトに、約1.2haの敷地内に約3,000㎡の共有地を設け、800本にも及ぶ樹木で雑木林造成。その周りに43戸の家々を配置。</li> </ul>



出典: 株式会社コプラス HP等を基に、デロイト作成



# 株式会社アールシーコアは、「住むよりも楽しむ」をコンセプトとするログハウスを展開している

## 参考事例: ワンダーデバイス (住宅)

### 事例概要

呼称	ワンダーデバイス
事業者	株式会社アールシーコア
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 「住むよりも楽しむ」をコンセプトとするログハウスブランドラインであるBESSをはじめとする個性的な住宅を展開する株式会社アールシーコアが展開する、「オープンに暮らす」ことを実現する住宅。</li><li>■ リビングとして使えるデッキと大開口の正面を特徴とする。</li><li>■ DIYやアウトドア好きの人々からの人気を集めている。</li></ul>



出典: 株式会社アールシーコアHP等を基に、デロイト作成

# 社会福祉法人東香会は地域に開かれた保育施設を目指して、地域の人々が活用可能な空間を併設した「渋谷東しぜんの国こども園」を運営している

## 参考事例: 渋谷東しぜんの国こども園 (保育園)

### 事例概要

事業名・呼称	渋谷東しぜんの国こども園 – small alley –
運営主体	社会福祉法人 東香会
場所	東京都渋谷区東1丁目29-1 渋谷ブリッジ
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域に開かれ、街との関係性を深め、豊かな出会いを育む保育施設を目指して2018年に総定員123名の保育園として開園。</li> <li>■ 1階には、一般利用可能なカフェや、多目的スペースを設置し、子供を中心に据えながら多様な人々が集まる事が出来る自由度の高い空間を実現している。</li> </ul> <p>施設の機能概要</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>こども園</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">保育施設</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">カフェ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">多目的 スペース</div> </div> </div>



保育施設



small alley cafe

多目的スペース: 子育てひろば BUTTER

出典: 渋谷東しぜんの国こども園 – small alley –HP等を基に、デロイト作成



# 生活や児童・教育施設との近接性を活かした西側エリア周辺の価値を高める 新たな居住拠点を目指すべきではないか

居住拠点

## 西側宅地エリアにおける目指すべき姿・機能の概要

**位置**

**位置**

公共施設等が集積するエリア

大規模小売店立地エリア

当該エリア

**エリアの概要**

現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 約14ha(推計)の農振農用地。</li> <li>■ 航空機騒音障害防止地区を含む。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大規模小売店等が集積するエリアまで約300mで利便性が高い。</li> </ul>
位置関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保育園や横芝小・中学校などが集積するエリアまで2.5Km以内の位置。</li> </ul>

## 目指すべき姿・機能

- 大規模商業施設や駅、児童・教育施設との近接性といった利便性×地方での暮らしにニーズを有する単身者(老若男女)や子育て世帯をターゲットとした多世代共生型のまちづくりを目指す。
- 単身者向けのアパートや子育て世代向けの戸建てエリア、多世代が交流を図る屋外型のコモンスペース、一部一階を店舗にし、エリア内外の住民が訪れる仕組・仕掛けを具備し、西側周辺エリアの居住ニーズを高める新たな拠点化を目指す。

## 他エリア・関連機能との連動

- 当エリアの開発を通じて、西側周辺エリアの空き家・宅地の更なる造成の推進・検討を模索する。

## 参考イメージ



東京都東久留米市  
「ルシュバル 東久留米」

東京都世田谷区  
「下北線路街 BONUS TRACK」

# 小田急の線路跡地において、新築の商店街を店舗兼用住宅で構成することで、まちに新たなつながりを生む場所として、活性化を図っている

## 参考事例: 下北線路街 BONUS TRACK (店舗兼用住宅・商業施設)

### 事例概要

事業名・呼称	下北線路街 BONUS TRACK (兼用住宅・商業施設/新築)
当該企業の 主な役割	設計・内装監理(施主は小田急電鉄)
場所	東京都世田谷区代田二丁目
時期	2020年4月竣工
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 地下化した小田急線の線路跡地に、個人が小商いを始めやすい環境を生み出すことで、下北沢の街並みを引き継ぐ新築の商店街をつくるプロジェクト</li><li>■ 個人が店舗を持続して構えやすいように、1区画10坪(住戸5坪・店舗5坪)兼用住宅を設計</li><li>■ 兼用住宅とすれば、住宅地のうち49%は住宅以外の機能を持つことができ、この余白を活用していくことで、住宅地をまったく別の環境へと生まれ変わらせることを狙った</li><li>■ 本枠組みを近隣の空き家活用へと展開していくためのロールモデルとしても位置付けている</li></ul>



出典: 株式会社ツバメアーキテクト HP等を基に、デロイト作成



# アパートのリノベーションのプロジェクトでは、新たにコモンガーデンとして緑豊かなスペースを設け、地域コミュニティのつながりをデザインした

参考事例:ルシュバル 東久留米  
(賃貸住宅リノベーション)

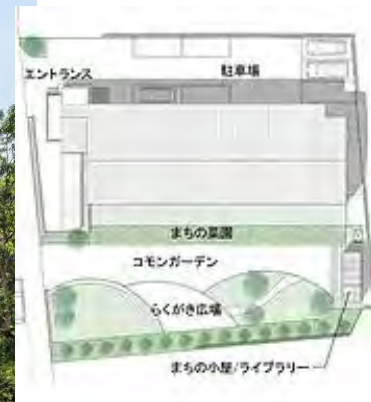
## 事例概要

事業名・呼称	ルシュバル 東久留米
当該企業の 主な役割	ランドスケープデザイン (ブルースタジオが建築実施)
場所	東京都東久留米市神宝町2丁目2-5
時期	2017年竣工
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 東久留米市にある築27年の賃貸住宅とその駐車場をコモンガーデン(私設公園)にリノベーションしたプロジェクト</li><li>■ コモンガーデンをつくるという発想はブルースタジオが行い、ランドスケープデザイン社はコモンガーデンの設計監理者として本プロジェクトに参画</li><li>■ 工事段階では、全てを作り込みせず、近隣の人々も巻き込んだ芝張りや小屋づくりのワークショップによって地域コミュニティのつながりをデザイン</li><li>■ 本取り組みが、郊外の共同住宅リノベーションの先進事例として広く認知され、緑豊かなコモンスペースのつながりが郊外エリアの価値向上に寄与することを目指す</li></ul>

■ リノベーション前



■ リノベーション後



出典:株式会社ランドスケープ・プラスHP等を基に、デロイト作成

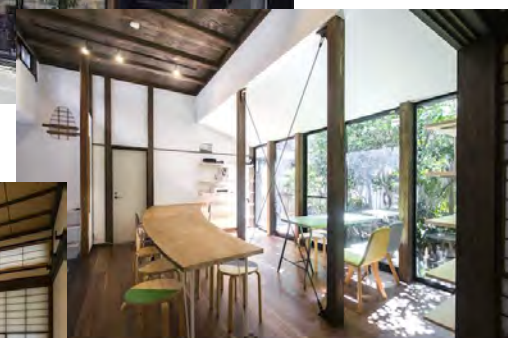
# 店舗兼用住宅の造成に加え、コミュニティ広場も設けたことで、まちに新たなつながりを生む場所として、活性化を図っている

参考事例:moto.8:モトツパチ  
(店舗兼用住宅)

## 事例概要

事業名・呼称	moto.8:モトツパチ
当該企業の 主な役割	設計
場所	千葉県市川市
時期	2019年竣工
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 市川市の本八幡駅近くに建つ、新築木造2階建てのテナント兼用住宅を設計</li><li>■ 道路に面した1階のテナントは大きな開口部を作り、また建物の中央部分にはコミュニティ広場を配置し、地域住民の憩いの場やイベント時等に利用できるよう設計</li><li>■ 元々敷地内に建設されていた旧母屋を設計のシンボルとして、一度解体した後、部材を再利用して再現を行い、テナント施設として再生</li></ul>

### ■ 竣工後の様子



出典:株式会社みかんぐみHP等を基に、デロイト作成

# 店舗兼用住宅の造成により、居住者が店舗に訪れた人とつながり、同じ場で店をひらく仲間たちと関わり合い、今までになかった新たなひろがりを生むことを目指す

参考事例: 茅ヶ崎 なりわいヴィレッジ 『TSUBANA』  
(店舗兼用住宅)

## 事例概要

事業名・呼称	茅ヶ崎 なりわいヴィレッジ 『TSUBANA』
当該企業の 主な役割	建築設計監理
場所	神奈川県茅ヶ崎市幸町7-26
時期	2020年完成
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「やりたかった」を街にひらく暮らしの形を実現するもので、1LDKのメゾネットタイプの2階で暮らし、1階をなりわいのスペースとして、職住近接型の住居を設計</li> <li>■ 個人の何気ない趣味やこだわりを街にひらくことで、訪れた人とつながり、同じ場で店をひらく仲間たちと関わり合い、今までになかった新たなひろがりが生むことを目指す</li> <li>■ アトリエ兼ワークショップスペースとして活用する人や飲食店を営む人が居住している</li> </ul>

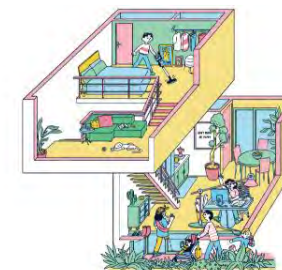
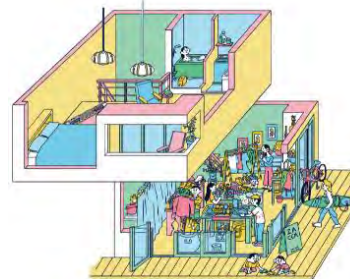
### ■ 住居のイメージ



### ■ 賃貸住宅の種類

- 店舗可タイプの住居
- 賃料: 17万~18万程度
- 面積/間取り: 1LDK (メゾネットタイプ)

- アトリエ付き住居
- 賃料: 15万程度
- 面積/間取り: 2LDK (メゾネットタイプ)



出典: 株式会社ブルースタジオHP等を基に、デロイト作成



# 屋形市街地では、特色ある住宅やコワーキングスペースの整備により、After/With コロナ時代の、新たな働き方・暮らし方を実現可能な拠点を目指すべきではないか

居住拠点

## 居住拠点としての屋形海岸における目指すべき姿・機能の概要

### 位置



### エリアの概要

現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一定の住居・コンビニ・飲食店などが集積する住宅街。</li> </ul>
位置 関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最寄の大規模小売店等が位置するエリアまで約4kmほどの距離。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 屋形海岸の砂浜まで約800mの距離に位置。</li> </ul>

### 目指すべき姿・機能

- 本検討で、交流・余暇機能の中心的位置づけがされている屋形海岸の后背地に位置する市街地であり、海に魅力を感じて横芝光町を居住地に選択する移住者をターゲットに、趣味性の高い居住地を目指す。
- サーファー向けの住宅や、早朝サーフィン後にテレワークを行う事が出来るコワーキングスペースの導入などにより、After/Withコロナ時代における、海辺での新たな働き方・暮らし方を実現可能な拠点をを目指す。

### 参考イメージ



サーファー向け住宅:  
SUNRISE



コワーキングスペース:  
たかすなベース

# 自治体のサーフィン移住の推進に呼応し、ライフスタイルに合致した住宅造成がなされている

参考事例:サーフィン住宅  
(個性的なライフスタイルの提供における事例)

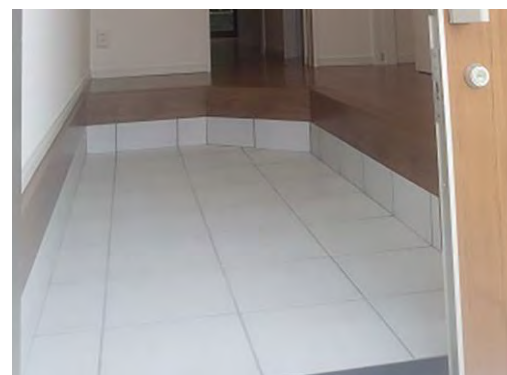
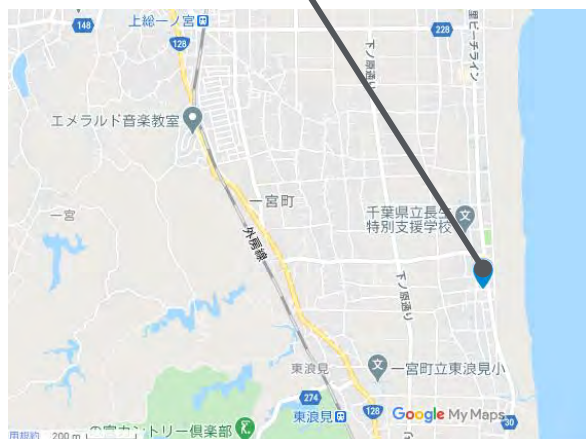
## サーフィン住宅



- 千葉県一宮町
- 2LDK
- 52.78㎡



- 居宅の前に、個別にシャワーが設置され、海のライフスタイルに対応



- 広々としたエントランスのため、サーフィンボードの設置が可能

出所:株式会社バンブーインターナショナルHP

# 一宮町では、株式会社オープン・エーにより、特色ある住宅建設が行われている

参考事例：株式会社オープン・エーによる一宮町での開発事例

## 事例概要

施設形態	住居
運営	株式会社オープン・エー
場所	千葉県長生郡一宮町一宮
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 設計/デザインを軸としながら、社会課題の解決や、エリアの開発、新しいカルチャーの創出などを実現する複合的なチームを目指している設計・建築事務所であるオープン・エーによる小規模造成</li><li>■ 代表の馬場 正尊氏が、一宮町と東京の2拠点居住を始めたことをきっかけとして、一宮町内での設計・施行に多数関わる。</li></ul>



出所:株式会社OpenA HPを参考にデロイト作成



# 一宮町では、地元根付いた設計・建築事務所以外の業者についても、特色ある宅地開発に参入する動きがみられる

## 参考事例：株式会社インヴァランスによる開発の概要

### 事例概要

施設形態	複合型住居施設
運営	株式会社インヴァランス (大東建託株式会社が100%株主)
場所	千葉県長生郡一宮町一宮
オープン日	2021年5月
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ サーファーを中心とする、別荘や二拠点生活、定住者をターゲットとした宅地。</li><li>■ サーフストリートと呼ばれる県道30号線に面する場所に位置する。</li><li>■ 軽飲食やコワーキングスペースなどを提供する CLUBHOUSE(クラブハウス)を中心に、賃貸住宅の APARTMENT(アパートメント)エリア、分譲住宅の RESIDENCE(レジデンス)エリアの3つに分かれた、およそ1,500坪を有する施設。</li></ul>



出所:PARASOL - The Surfside Village ICHINOMIYA HPを参考にデロイト作成

# 神奈川県茅ヶ崎市では、「海好きという共通の価値観を持った方と過ごせる空間」をコンセプトにした coworking space を株式会社 TakasunaBASE が運営している

## 参考事例: たかすなベース (coworking space)

### 事例概要

施設形態	coworking space
運営	株式会社 TakasunaBASE
場所	神奈川県茅ヶ崎市
オープン日	2020年12月
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 海好きのワークスペースとして、「海街茅ヶ崎らしい空間」・「都心からのほどよい距離感」・「海好きという共通の価値観を持った方と過ごせる空間」といったコンセプトのもとで運営されている coworking space。</li><li>■ coworking space でありながら、シャワーやサーフボードロッカー、レンタル自転車などのサービスを完備した海街ならではの施設となっている。</li><li>■ TakasunaBASE 代表の小山享祐氏は、一般社団法人ワーケーション協会理事を務める。</li></ul>



出所: たかすなベースHPを参考にデロイト作成

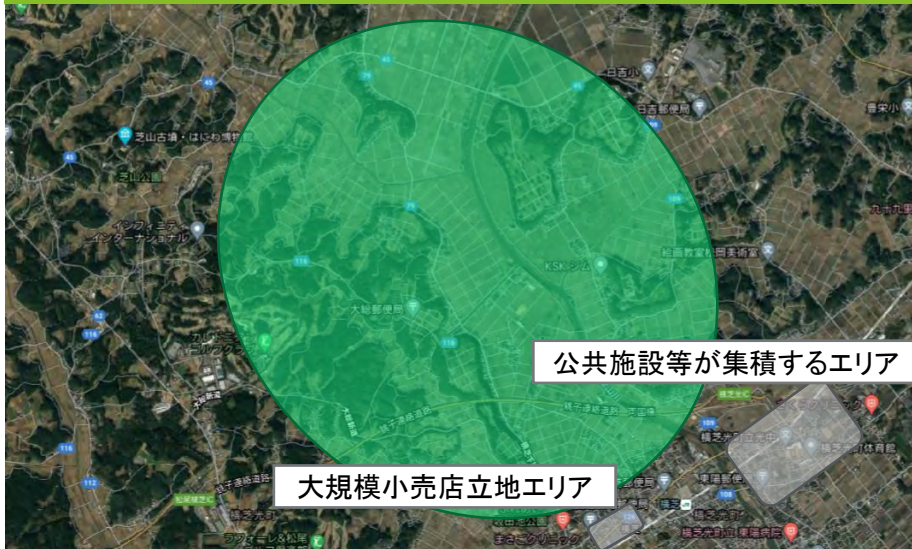


# 田園エリアにおいては、自然が豊かで静かな環境での居住を求める移住者を受け入れる拠点とすることを目指すべきではないか

居住拠点

## 田園エリアにおける目指すべき姿・機能の概要

### 位置



### エリアの概要

#### 現況

- 篠本新井地区など、整備された田畑の美しい風景が広がる田園エリア。

#### 位置関係

- 都市機能が集中する中心市街地とは、線路を挟んで反対側に位置する。

### 目指すべき姿・機能

- 都心からの移住を想定しているサブターゲットを念頭に、利便性を求めず、不便であっても自然が豊かで静かな環境での居住を求める移住者を受け入れる拠点とすることを旨とする。
- 空家(古民家など)の流通を促進することで住宅ニーズに応えることを目指すほか、移住体験住宅などの整備により、転入のハードルの引き下げを目指す。
- 田園エリアならではの、移住者と住民の交流を促進するような空間や、リモートワークが可能なコワーキングスペースなどの導入を検討する。

### 参考イメージ



福井県美浜町: 移住居住体験施設「黄舎」

古民家オフィスみらいと奥出雲

# 屋形海岸においては、マリンピアくりやまがわの中核的拠点としての機能の強化を図り、余暇・交流拠点としての魅力の向上を目指すべきではないか

余暇・交流拠点

## 余暇・交流拠点としての屋形海岸における目指すべき姿・機能の概要



位置

### 目指すべき姿・機能

- マリンピアくりやまがわにおいて、より多くの人々が九十九里浜の魅力を感じられるように、仮設建築などを駆使したカフェなどによる憩いの空間創出や、イベント開催などを行うことで、多様な目的の人々が川沿いや海岸で時間を過ごすことができる中核的な拠点として機能の強化を図る。
- 海岸後背地である屋形市街地には、海岸を訪れた人が立ち寄る事が出来るカフェや飲食店などの周辺的な拠点の導入を図る。
- 栗山川漁港・こどもの国跡地などを活用し、アクティビティ・レジャーの中心となる拠点の創出を図る。
- 海岸部での回遊性向上に考慮した、歩きやすい道路整備や回遊意欲を向上させる景観創出を図る。

### エリアの概要

現況	マリンピアくりやまがわ	■ 九十九里を一望でき、散策路・ベンチ等を備えたマリンピアくりやまがわが位置。
	こどもの国跡地・漁港	■ こどもの国の跡地・利用が停止された栗山川漁港が位置している。
	市街地	■ 一定の住居・コンビニ・飲食店などが集積する住宅街。

### 参考イメージ



青島ビーチパーク



青島ビーチビレッジ



# 宮崎県宮崎市青島では、テナシヨツプや憩いのスペースからなる青島ビーチパークを、民間知見を取り込む体制のもとで運営し、賑わいの創出を図っている

## 参考事例: 青島ビーチパーク (海岸部憩い拠点)

### 事例概要

事業名・呼称	青島ビーチパーク
運営主体	渚の交番青島プロジェクト実行委員会
場所	宮崎県宮崎市青島
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 青島海岸の隣接地におけるテナシヨツプを中心とした事業を展開。</li><li>■ これまでは4月中旬～10月上旬まで開設してきたが、2022年度から通年での常設へと切り替える方針。</li><li>■ 設置以降、例年5万人から15万人が訪れる交流拠点としての地位を確立。</li><li>■ 渚の交番の運営主体として、宮崎市観光協会と宮崎市ライフセービングクラブの共同事業として設置された「渚の交番青島プロジェクト実行委員会」を中核として、民間事業者やアドバイザーのノウハウを活用できる体制を整備。</li></ul>



出典: 青島ビーチパークHP等を基に、デロイト作成



# キーパーソンである宮原氏を中心に据えた企画チームにより、大規模な開発を伴う青島ビーチヴィレッジ構想の実現を目指している

参考事例: 青島ビーチヴィレッジ  
(海岸部レジャー拠点)

## 事例概要

事業名・呼称	青島ビーチヴィレッジ
事業主体	青島プロジェクト株式会社
場所	宮崎県宮崎市青島
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 青島海岸に隣接する遊休地を活用して、「観光と移住のあいだ」をコンセプトとする「ビーチコミュニティハブ」である、「青島ビーチヴィレッジ」を建設する。</li><li>■ 2022年の開業を目指しており、施設にはコテージ・レストラン・シェアオフィスなどが整備される予定。</li><li>■ 青島プロジェクト株式会社を企画運営の中核としつつ、企画チームとして青島ビーチパークのプロデュースに関わってきた宮原秀雄氏などが参画する体制を構築。</li><li>■ 宮原氏以外にも、鎌倉七里ガ浜の「WEEKEND HOUSE ALLEY」のプロデュースを手掛けた関口正人氏などが参画。</li></ul>



出典: AOSHIMA BEACH VILLAGE-青島ビーチヴィレッジHP等を基に、デロイト作成

# 栗山川沿川については、堤防上の道路(管理用通路)の機能強化と、拠点機能の整備により、川沿いでの人々の回遊を促進すべきではないか

余暇・交流拠点

## 余暇・交流拠点としての栗山川における目指すべき姿・機能の概要



### 目指すべき姿・機能

- カヤックツアーの拠点ともなっている光クリーンパークを中心に、横芝光町や周辺市町の飲食店や生産者を集めたマルシェなどのイベントを開催し、より多くの人々が川辺での時間を楽しむことができる空間を目指す。
- 川沿いでの人々の回遊性を上げるために、複数のレンタサイクルステーションの導入を図る。
- 堤防上の道路(管理用通路)の整備を行い、川沿いのサイクリングロードとして機能強化を図る。
- 栗山川漁港を活用し、アクティビティ・レジャーの中心となる拠点の創出を図る。(再掲)

### 参考イメージ



とくしまマルシェ



重信川サイクリングロード

現況		河川敷
現況	河川敷	■ 堤防上の道路(管理用通路)が整備済み区間と未整備区間が混在
	長塚	■ ペンションが一定集積しているほか、栗山川へのアクセスが良い光クリーンパークが位置している。
	栗山川漁港	■ 利用が停止された栗山川漁港が位置している。



# 徳島県徳島市では、徳島県内の名産品を販売するとくしまマルシェを徳島市新町川沿いのボードウォーク周辺で開催することで賑わい創出を図っている

参考事例: とくしまマルシェ  
(河川敷での賑わい創出)

## 事例概要

事業名・呼称	とくしまマルシェ
運営主体	株式会社ネオビエント
場所	徳島県徳島市東船場町1丁目 しんまちボードウォーク周辺
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 毎月最終日曜日、徳島市新町川沿いのボードウォーク周辺で開催する徳島県最大級の産直市で、毎回約8,000人が訪れる。</li><li>■ とくしまマルシェ事務局スタッフが直接足を運び、徳島県内の食材を探し、出店交渉を行う逆指名スタイルを採用。</li><li>■ イベントや施設運営、観光を通じて「徳島に新しい風を吹かせたい」という思いから創業された株式会社ネオビエントが運営を行う。</li></ul>



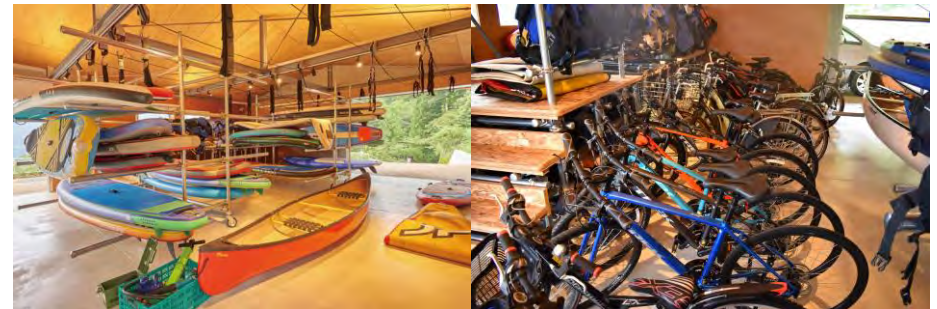
出典: とくしまマルシェHP等を基に、デロイト作成

# 高知県土佐町では、カヤックやサイクリングなどのアウトドアを起点とした交流人口増加を目指して、「さめうらカヤックテラス」を整備・運営している

参考事例:湖の駅 さめうらカヤックテラス  
(アウトドアアクティビティ拠点)

## 事例概要

事業名・呼称	湖の駅 さめうらカヤックテラス
運営主体	高知県土佐町
場所	高知県土佐町さめうら湖
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>■ カヤックやSUPなど湖面アクティビティを核とした体験プログラムを提供する自然体験型観光拠点。</li><li>■ レンタサイクルやアウトドア等の発着場所として位置づけ、情報発信拠点として交流促進を実施。</li><li>■ 1kmの直線距離が確保できるという全国的に珍しい湖のため、元々競技カヤックが行われてきた。</li><li>■ 多くの競技者が集まっていたことに着目し、土佐町をカヤックの聖地として盛り上げ、競技者だけでなく、多くの人々を誘引するための拠点となる施設を設置する計画がすすめられた。</li></ul>



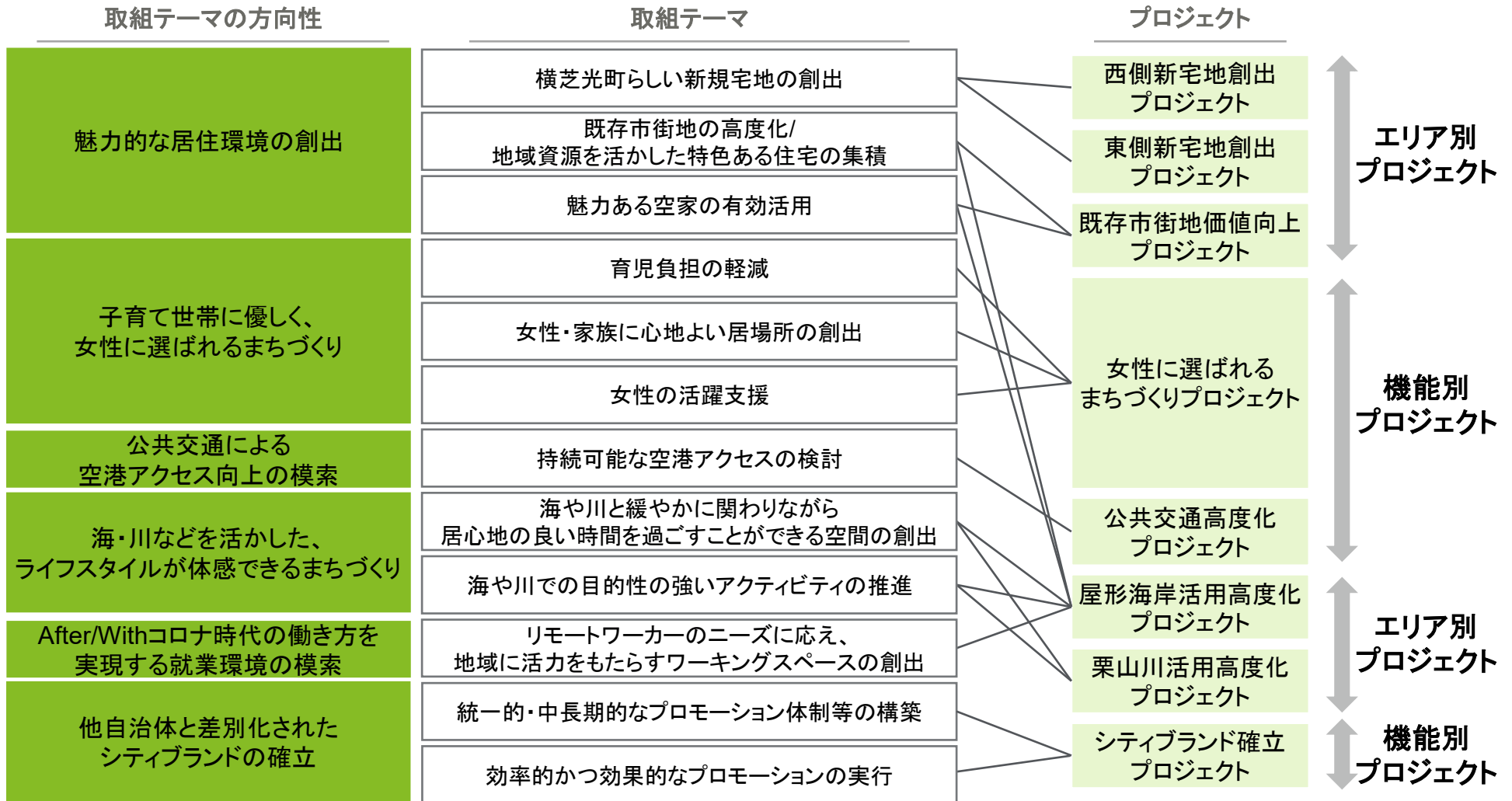
出典:湖の駅 さめうらレイクタウンHP等を基に、デロイト作成

**2028年度末における目指すべき状態の具体化**



# エリア別プロジェクトと機能別プロジェクトに整理した上で、各テーマの推進を図る

## アクションプラン検討に向けたプロジェクト初期案の整理



# 2028年度末の目指すべきゴールを達成するために必要な、3年後の目指すべき状態を検討した

## 2024年度末及び2028年度末の目指すべき姿初期案(1/5)

	方針	2024年度末時点で 横芝光町役場が目指すべき状態	2028年度末時点で 横芝光町役場が目指すべき状態	施策を通して 目指すべきゴール
西側新宅地創出	西側新宅地における 多世代共生型住宅地の 創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 宅地の構想及び、公園や商業施設など、附随して整備すべき機能についての構想策定が進められている状態。</li> <li>■ 土地利用規制に関する手続きが完了しており、造成工事に着工可能な状態。</li> <li>■ 区画全体を統一的に開発する手法の検討、事業者の選定が完了しており、計画的な造成を開始している状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大規模商業施設や駅、児童・教育施設との近接性といった利便性×地方での暮らしのニーズを有する単身者(老若男女)や子育て世帯をターゲットとした多世代共生型のまちづくりが完了しており、新規住民を受け入れている状態。</li> </ul>	<p>&lt;2028年度末のゴール&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空港関連従業員の間で有力な居住地候補の選択肢としての地位を獲得し、一定の居住がなされている状態。</li> </ul>
東側新宅地創出	東側新宅地における 子育て世帯向け 住宅地の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 宅地の構想及び、公園や商業施設など、附随して整備すべき機能についての構想策定が進められている状態。</li> <li>■ 土地利用規制に関する手続きに着手している状態。</li> <li>■ 区画全体を統一的に開発する手法、事業者の選定が進められている状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子育て中の世帯を主たるターゲットとし、ゆとりのある区画で、開放感・一体感のある住宅地の形成を及び、附随機能の開発が一部完了しており、新規住民を受け入れている状態。</li> </ul>	
既存市街地価値向上	既存市街地における 景観誘導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 景観誘導に関する手法検討が完了している状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 景観誘導に関する施策が展開されている状態。</li> </ul>	<p>&lt;2028年度末のゴール&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空家を活用した魅力的な物件や施設が一定程度形成され、サブターゲットを中心とした移住希望者のニーズに応えることができている状態。</li> </ul>
	魅力ある空家の 有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空家バンクなどの既存の取組を普及するための検討が完了している状態。</li> <li>■ 借上げ転貸などの新たな空家活用事業に関する検討が完了し、実証実験が進められている状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空家バンクなどの既存の仕組みが機能し、円滑に流通している状態。</li> <li>■ 借上げ転貸などの新たな空家活用事業により、一定数の物件が供給されている状態。</li> </ul>	

# 2028年度末の目指すべきゴールを達成するために必要な、3年後の目指すべき状態を検討した

## 2024年度末及び2028年度末の目指すべき姿初期案(2/5)

	方針	2024年度末時点で 横芝光町役場が目指すべき状態	2028年度末時点で 横芝光町役場が目指すべき状態	施策を通して 目指すべきゴール
女性に選ばれるまちづくり	テーマ横断的検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ まちづくりへの女性のニーズの継続的な反映や男女共同参画の促進を図るための検討体制が構築されていること。</li> </ul>		<p>&lt;2028年度末のゴール&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空港関連従業員をはじめとする、成田空港周辺市町の住民の間で、子育てをしやすい町、女性が輝ける町として認知されている状態。</li> </ul>
	育児負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保育園・学童保育の開園時間の延長や、通園バスなどの育児負担軽減施策についての施策が一部実行に移されている状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子育て前、子育て中の女性をターゲットとした施策が実行されており、女性のニーズを元に継続的な施策見直しが行われている状態。</li> </ul>	
	女性・家族に心地よい居場所の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空家活用や屋形海岸活用高度化、新規宅地開発と連携し、カフェなどの女性・家族に心地の良い空間創出に向けた事業者誘引に着手している状態。</li> </ul>		
	女性の活躍支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 創業支援や再就職支援などの女性の活躍支援について方針の検討がなされており、一部実行に移されている状態。</li> </ul>		
公共交通高度化	継続的な検討体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成田国際空港・横芝光町間のバス運行について、ダイヤ・ルートなどの効率化・改善について継続的な検討を行える体制を構築出来ている状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成田国際空港・横芝光町民の公共交通アクセスについて、持続可能な形での利便性向上が達成され、一定の利用者が確保されている状態。</li> </ul>	<p>&lt;2028年度末のゴール&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空港関連従業員・横芝光町民の双方において、バスがアクセス手段として認識され、利用されている状態。</li> </ul>
	持続可能な空港アクセスの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成田国際空港・横芝光町間のバスについて増便を含めた、横芝光町民の利便性に資する取組が試行されている状態。</li> </ul>		

# 2028年度末の目指すべきゴールを達成するために必要な、3年後の目指すべき状態を検討した

## 2024年度末及び2028年度末の目指すべき姿初期案(3/5)

方針	2024年度末時点で 横芝光町役場が目指すべき状態	2028年度末時点で 横芝光町役場が目指すべき状態	施策を通して 目指すべきゴール
検討体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交流機能の開発において、統一的な推進や全体調整機能が発揮・維持されている状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交流機能の開発において、統一的な推進や全体調整機能が発揮・維持されている状態</li> </ul>	<p>&lt;2028年度末のゴール&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空港関連従業員をはじめとする、成田空港周辺市町の住民の間で、週末などに訪れる場所として屋形海岸が認知されている状態。</li> <li>■ 横芝光町民が積極的に屋形海岸を訪れ、「海・川・星のある暮らし」を実践している状態。</li> <li>■ サーフィンなどマリニアクティビティを趣味とする都内在住者が、移住を積極的に検討するエリアとして認知されている状態。</li> </ul>
<b>海岸部の活用高度化</b> ・マリンピアくりやまがわの活用高度化 ・こどもの国跡地・栗山川漁港の活用 ・屋形市街地の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 魅力的なイベントの開催などによるソフト面での高度化が行われている状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マリンピアくりやまがわでのイベント開催などが定着している状態。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マリンピア公園の再整備などのハード面での高度化に着手している状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仮設建築などを含むハード面での高度化が完了し、更なる高度化が検討されている状態。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マリンピアくりやまがわの活用と連動する形で、こどもの国跡地と漁港の活用に関する協議が千葉県と開始されている状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ こどもの国跡地と漁港の活用に関する具体的事業に着手されている状態。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マリンピアへのアクセス道路について回遊性向上のための計画策定に着手している状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 海岸部での回遊性向上に考慮した、安全な道路整備が完了している状態。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 屋形海岸での滞在時間延長に資する店舗などの誘致に着手している状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 海岸後背地である屋形市街地には、海岸を訪れた人が立ち寄る事が出来るカフェや飲食店などの周辺的な拠点の導入が進められている状態。</li> <li>■ サーファー向け住宅等の個性的な住宅・移住者向けコワーキングスペースなどが集積したエリアの形成が一定程度実現している状態。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空家活用などを念頭に、コワーキングスペースや移住体験住宅といったサブターゲット誘引のための計画策定に着手している状態。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ サーファー向け住宅などの特色ある住宅の集積に向けて、設計会社などとの関係性構築に着手されている状態。</li> </ul>		

# 2028年度末の目指すべきゴールを達成するために必要な、3年後の目指すべき状態を検討した

## 2024年度末及び2028年度末の目指すべき姿初期案(4/5)

方針	2024年度末時点で 横芝光町役場が目指すべき状態	2028年度末時点で 横芝光町役場が目指すべき状態	施策を通して 目指すべきゴール
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">栗山川活用高度化</p> <p style="text-align: center;">栗山川沿いの 回遊性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 河川沿いのサイクリングロード整備に関する計画策定が着手されている状態。</li> <li>■ レンタサイクルステーションなどのサイクリング普及に係る整備の検討に着手している状態。</li> <li>■ 栗山川沿いにおいて、マルシェなどのイベントが開催され、交流拠点としての機能高度化が着手されている状態。</li> <li>■ 栗山川親水施設のリニューアルの検討に着手している状態。</li> <li>■ 町内事業者及び、周辺地域の事業者による連携体制が構築に着手している状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 河川沿い道路整備が行われ、サイクリングロードとして機能している状態。</li> <li>■ 複数のレンタサイクルステーションが整備され、気軽にサイクリングを楽しむことが可能な状態。</li> <li>■ 栗山川沿いにおいて、マルシェなどのイベントを開催し、より多くの人々が川辺での時間を楽しむことができる空間が形成されている状態。</li> <li>■ 栗山川親水施設のリニューアルがされ、居心地のいい空間として機能している状態。</li> <li>■ 町内事業者及び、周辺地域の事業者による連携体制が機能している状態。</li> </ul>	<p>&lt;2028年度末のゴール&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空港関連従業員をはじめとする、成田空港周辺市町の住民の間で、週末などに訪れる場所として栗山川が認知されている状態。</li> <li>■ 横芝光町民が積極的に栗山川を訪れ、「海・川・星のある暮らし」を実践している状態。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">&lt;関連構想&gt; IC周辺複合拠点の開発</p>	<p>➢ 土地利用規制に関する手続きの手法が確定し、申請が完了している状態。</p>	<p>➢ 拠点造成に関する工事に着工しており、一部施設については先行して開業している状態。</p>	



# 2028年度末の目指すべきゴールを達成するために必要な、3年後の目指すべき状態を検討した

## 2024年度末及び2028年度末の目指すべき姿初期案(5/5)

	方針	2024年度末時点で 横芝光町役場が目指すべき状態	2028年度末時点で 横芝光町役場が目指すべき状態	施策を通して 目指すべきゴール
シティブランド確立	統一的・中長期的な プロモーション 体制等の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロモーション統括担当(専門家)の任命が完了し、効果的なプロモーションの実施に向けた計画の策定がなされた状態。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一定のプロモーション戦略、ブランドコンセプトのもと、プロモーション効果測定やフィードバックのサイクルが機能し効率的かつ効果的なプロモーション活動が実行されている状態。</li> </ul>	<p>&lt;2028年度末のゴール&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空港関連従業員や都心在住者に対し、ブランドコンセプトが一定認知され、居住者の誘致が進んでいる状態。</li> </ul>
	効率的かつ効果的なプロモーションの実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロモーション統括担当(専門家)の指示のもと、プロモーション施策が実行されている状態。</li> </ul>		

# 3カ年アクションプラン

# 2024年度末までに目指すべき状態から逆算した3カ年のアクションプランを策定した

## 2024年度末に向けた3カ年アクションプラン初期案(1/6)

		2022年度	2023年度	2024年度	ゴールイメージ
西側新宅地創出	多世代共生型住宅地における西側新宅地における	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発ニーズに関するサウンディング調査</li> <li>サウンディング調査を踏まえた開発構想策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発構想策定</li> <li>開発手続着手</li> </ul>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅地の構想及び、公園や商業施設など、附随して整備すべき機能についての構想策定が進められている状態</li> <li>土地利用規制に関する手続きが完了しており、造成工事に着工可能な状態</li> <li>区画全体を統一的に開発する手法の検討、事業者の選定が完了しており、計画的な造成を開始している状態</li> </ul>
	東側新宅地創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発ニーズに関するサウンディング調査</li> <li>サウンディング調査を踏まえた開発構想策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発構想策定</li> <li>都市計画手続き</li> </ul>	継続検討	
既存市街地価値向上	既存市街地における景観誘導	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観誘導に関する手法・スキームの検討</li> </ul>	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観誘導に関する施策が展開されている状態</li> <li>空家バンクなどの既存の仕組みが機能し、円滑に流通している状態</li> <li>借上げ転貸などの新たな空家活用事業に関する検討が完了し、実証実験が進められている状態</li> </ul>
	魅力ある空家の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家活用施策の検討</li> <li>借上げ転貸モデルなどの新たな取組検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>借上げ転貸モデルなどの新たな取組に関する実証実験開始</li> </ul>	継続・充実	

ロードマップの再検討

### 本プロジェクトにおけるアクションプラン検討の基本的考え方

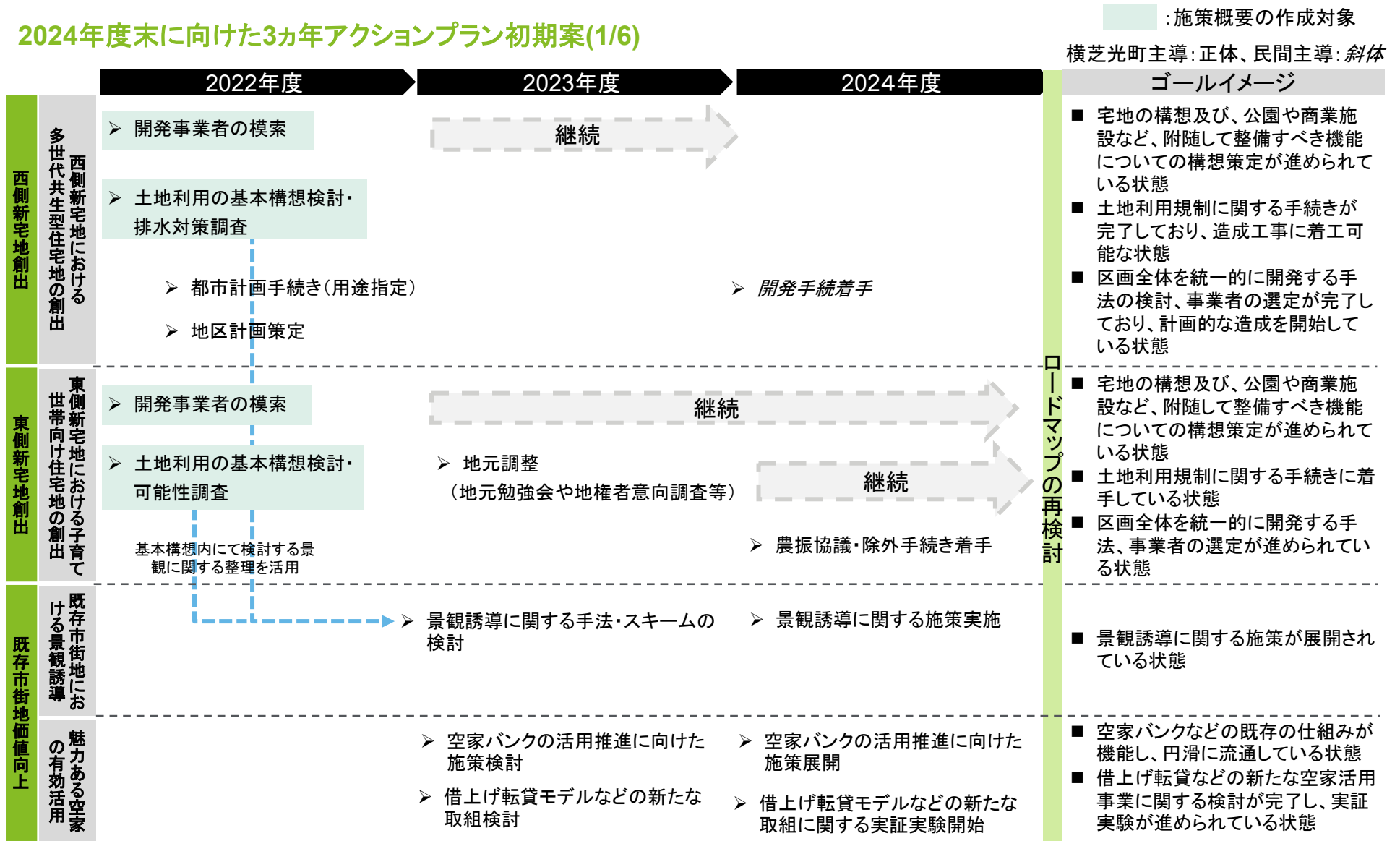
✓ 本構想とは別枠で検討を進められていた「空港関連従業員を呼び込むための新たな居住地整備」は、町の中で検討が既に進んでいることと、空港関連従業員を呼び込むための町の重点施策であることから、優先して早期に施策を実行する方向性で検討する

### 本プロジェクトにおけるアクションプラン検討の基本的考え方

✓ 「既存市街地の景観誘導に関する手法・スキームの検討」については、新たな居住地整備に向けた「土地開発の基本構想」の中で検討する“横芝光町らしい景観”のアウトプットを準用し、一体的かつ効率的な検討を行うこととする。

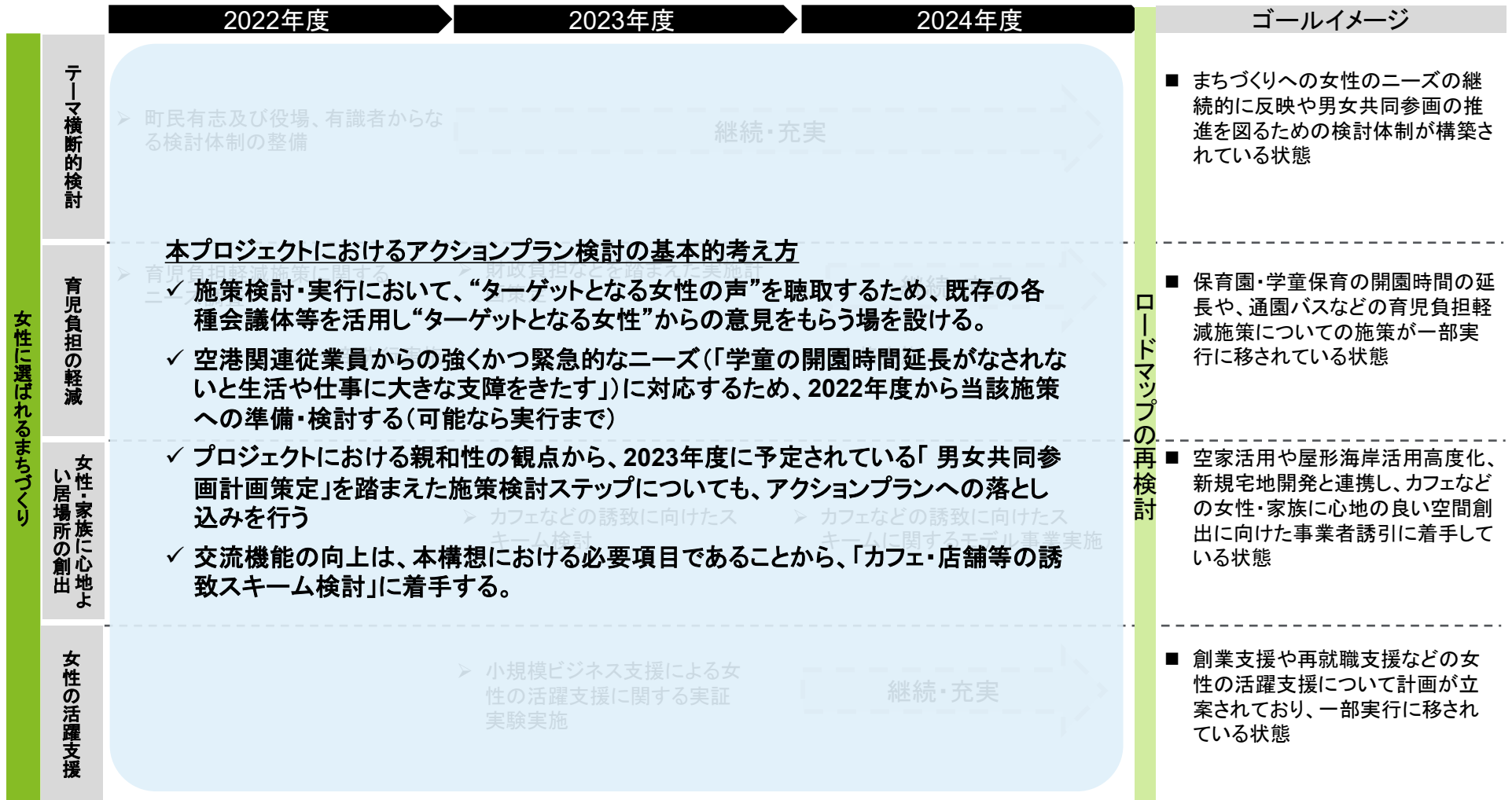
# 2024年度末までに目指すべき状態から逆算した3カ年のアクションプランを策定した

## 2024年度末に向けた3カ年アクションプラン初期案(1/6)



# 2024年度末までに目指すべき状態から逆算した3カ年のアクションプランを策定した

## 2024年度末に向けた3カ年アクションプラン初期案(2/6)

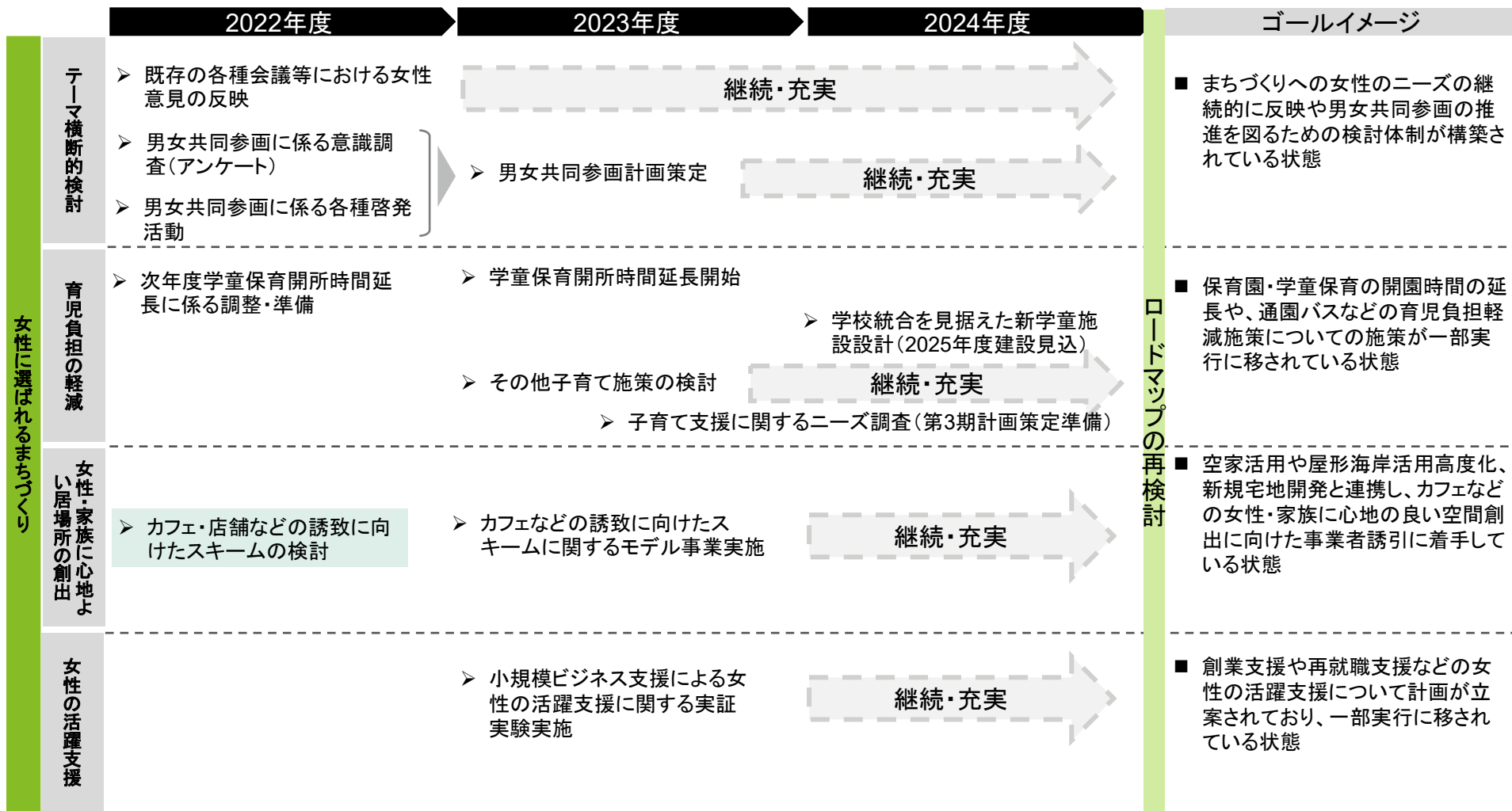




# 2024年度末までに目指すべき状態から逆算した3カ年のアクションプランを策定した

## 2024年度末に向けた3カ年アクションプラン初期案(2/6)

■ : 施策概要の作成対象

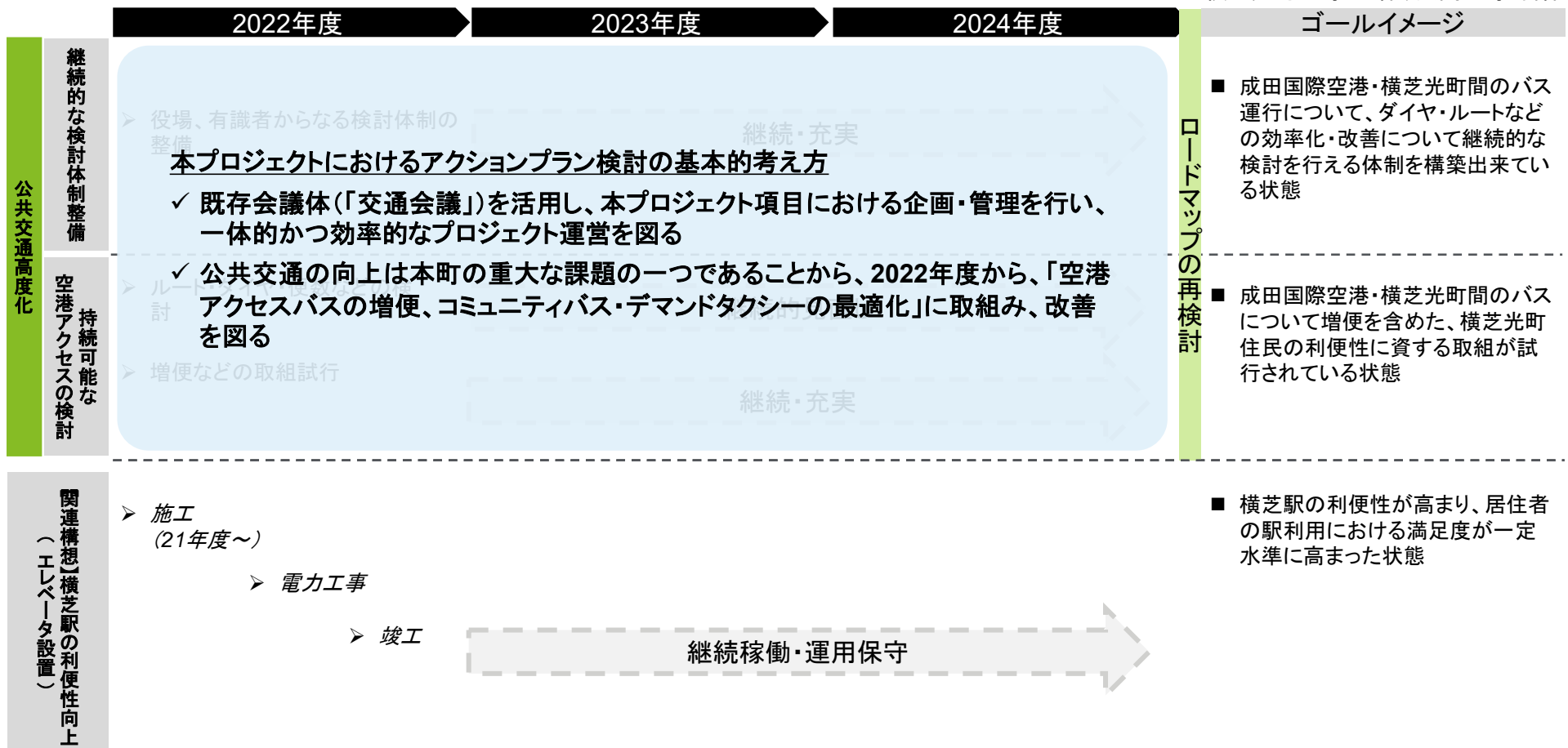


ロードマップの再検討

# 2024年度末までに目指すべき状態から逆算した3カ年のアクションプランを策定した

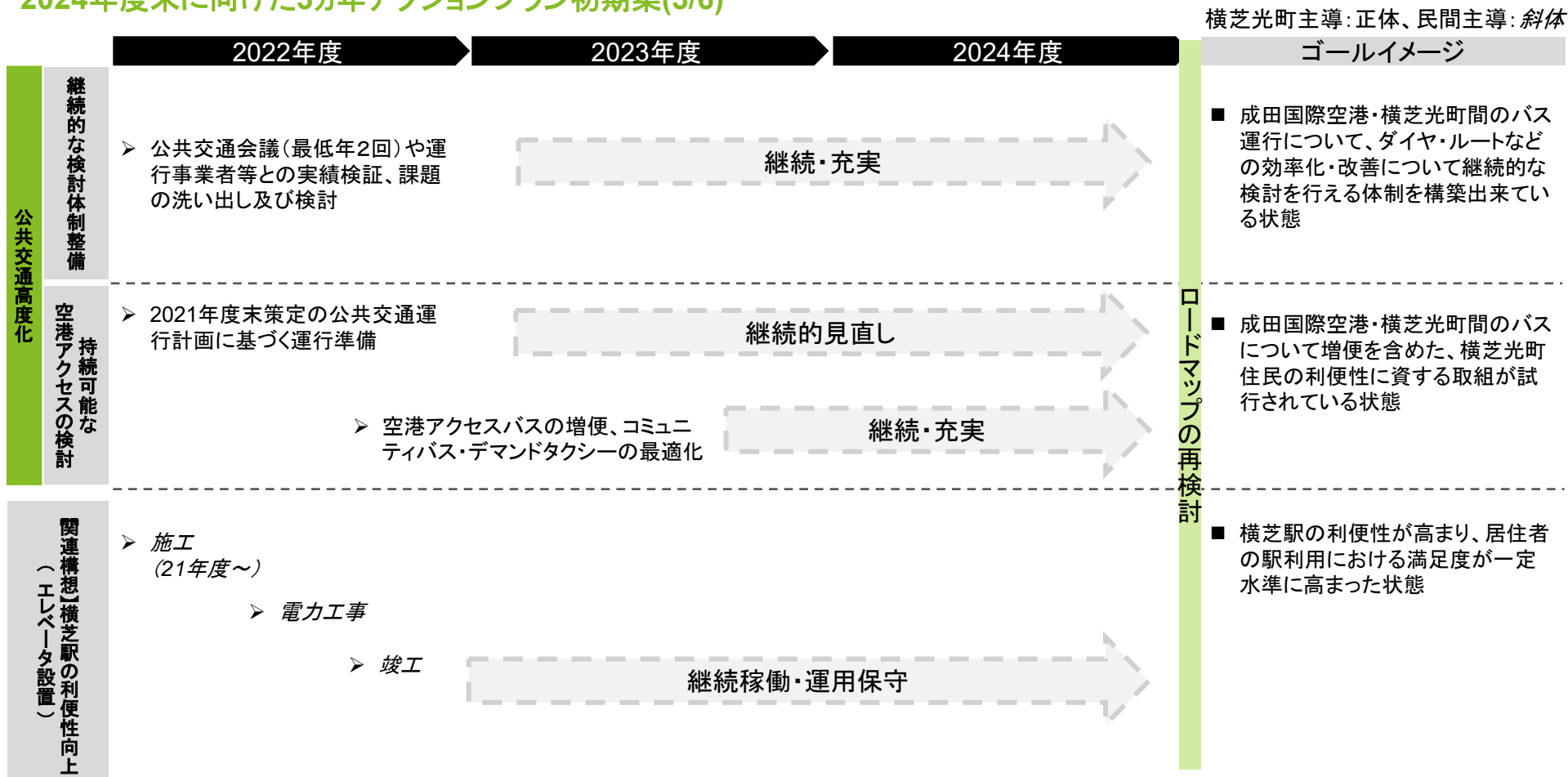
## 2024年度末に向けた3カ年アクションプラン初期案(3/6)

横芝光町主導：正体、民間主導：斜体



# 2024年度末までに目指すべき状態から逆算した3カ年のアクションプランを策定した

## 2024年度末に向けた3カ年アクションプラン初期案(3/6)

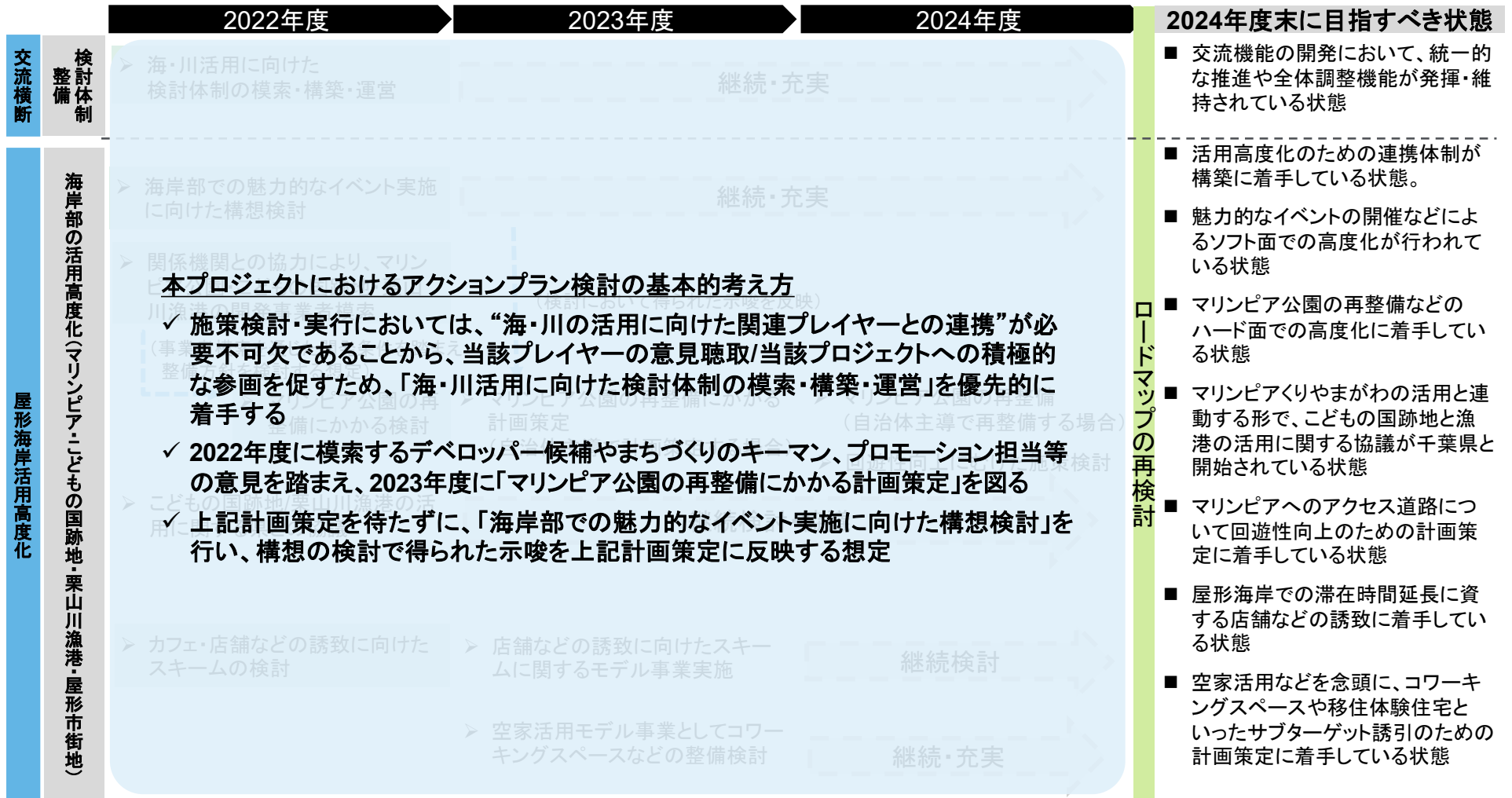


ロードマップの再検討

# 2024年度末までに目指すべき状態から逆算した3カ年のアクションプランを策定した

## 2024年度末に向けた3カ年アクションプラン初期案(4/6)

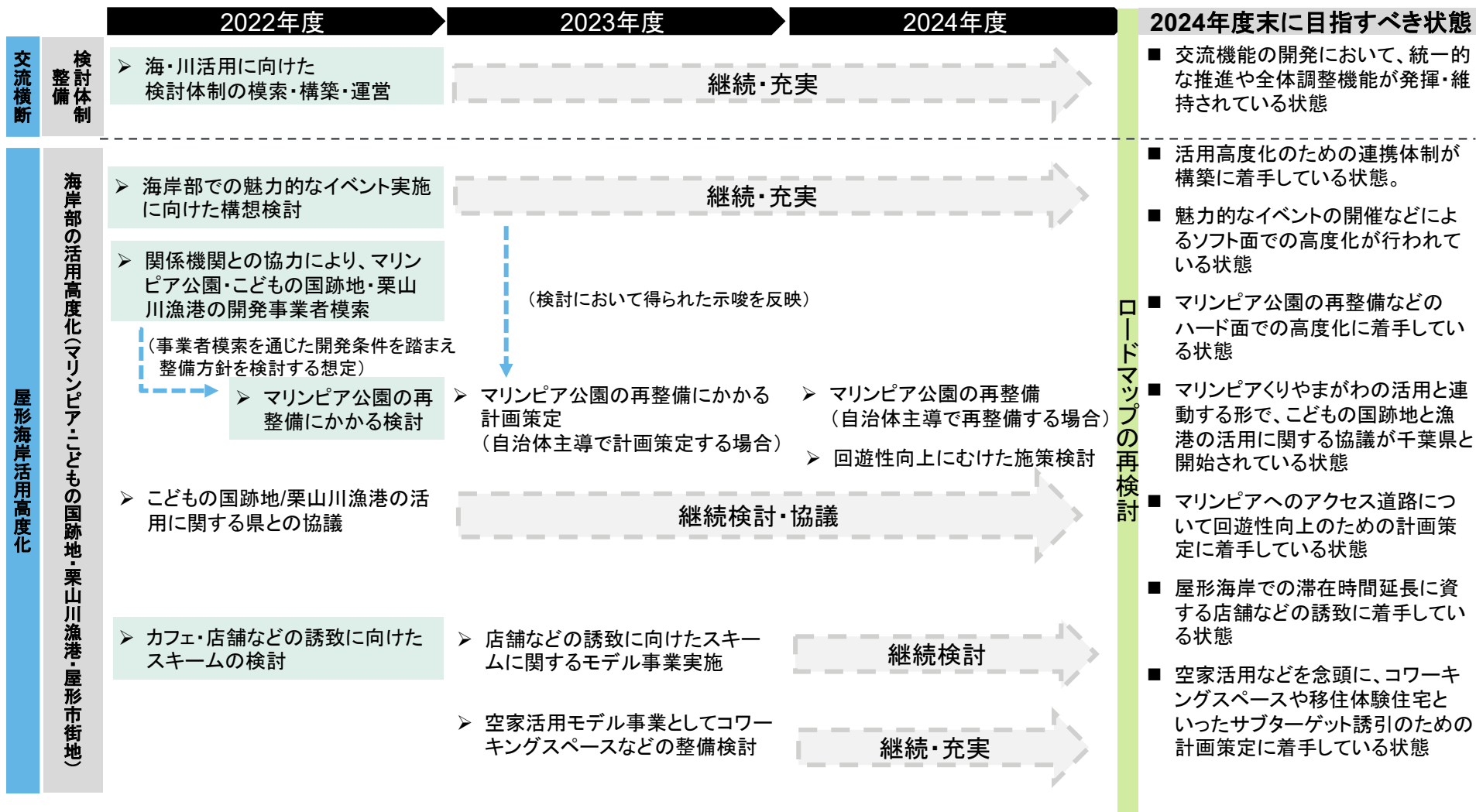
：施策概要の作成対象



# 2024年度末までに目指すべき状態から逆算した3カ年のアクションプランを策定した

## 2024年度末に向けた3カ年アクションプラン初期案(4/6)

：施策概要の作成対象

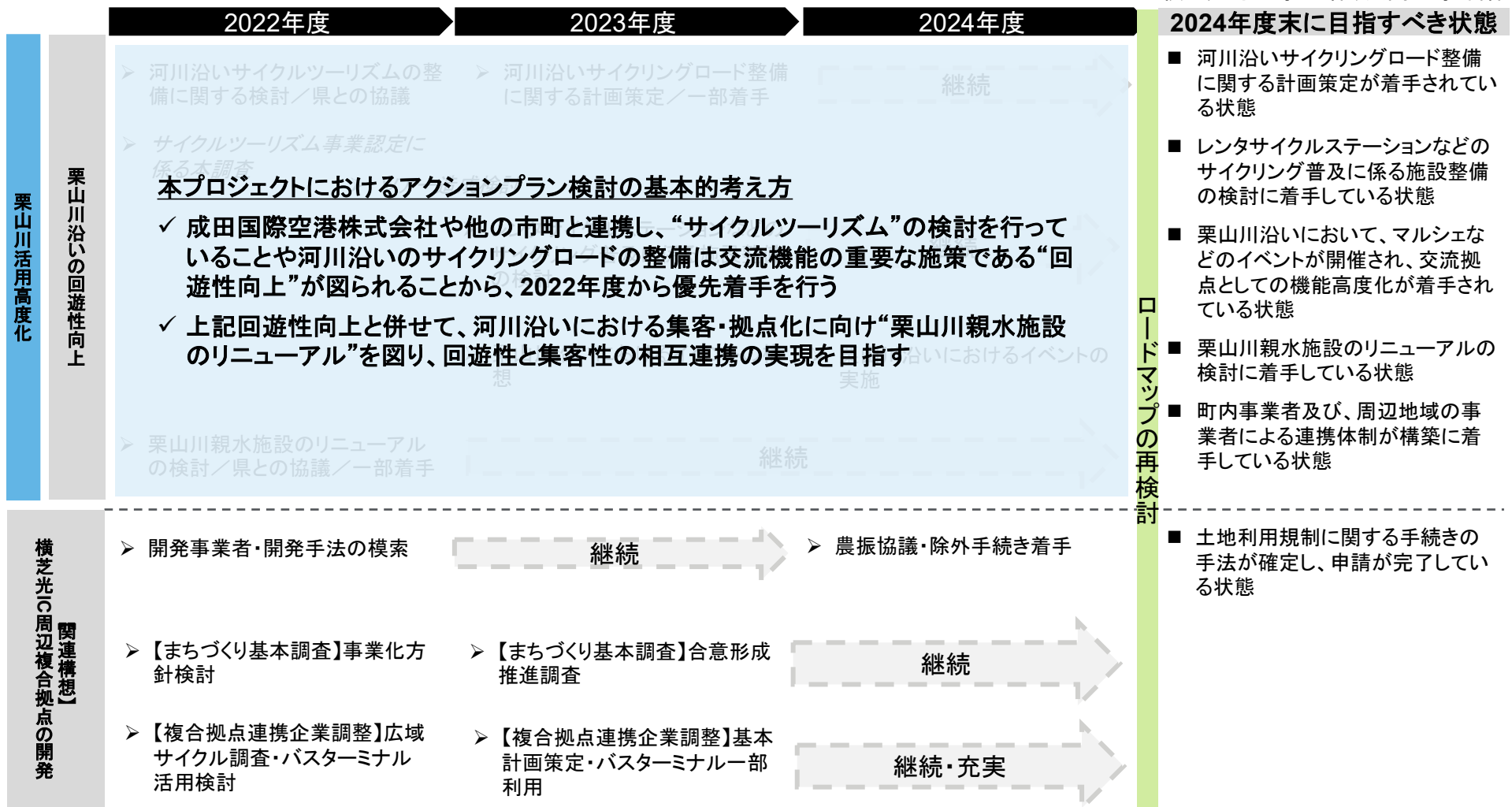




# 2024年度末までに目指すべき状態から逆算した3カ年のアクションプランを策定した

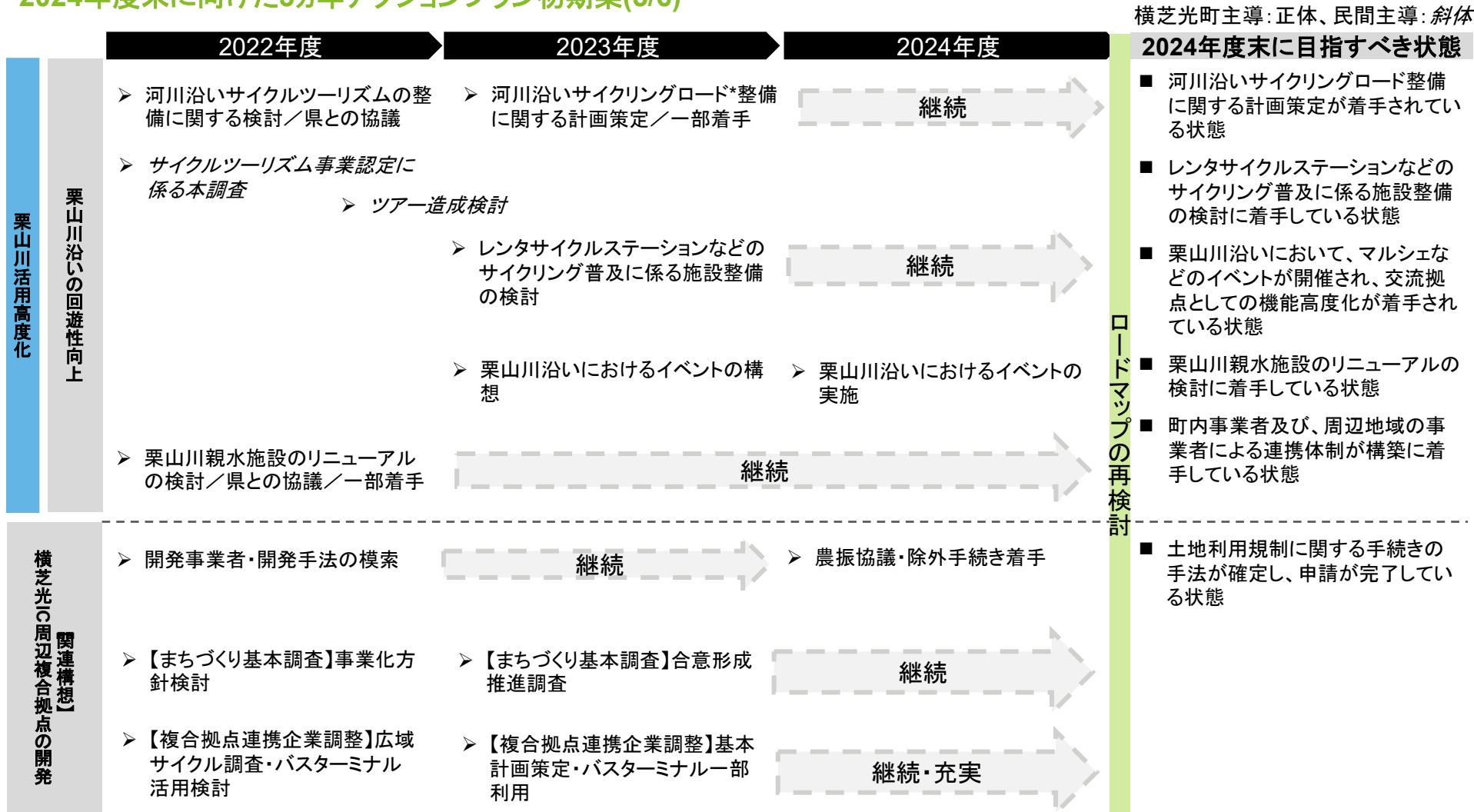
## 2024年度末に向けた3カ年アクションプラン初期案(5/6)

横芝光町主導：正体、民間主導：斜体



# 2024年度末までに目指すべき状態から逆算した3カ年のアクションプランを策定した

## 2024年度末に向けた3カ年アクションプラン初期案(5/6)



\*)「堤防管理道路」を示す

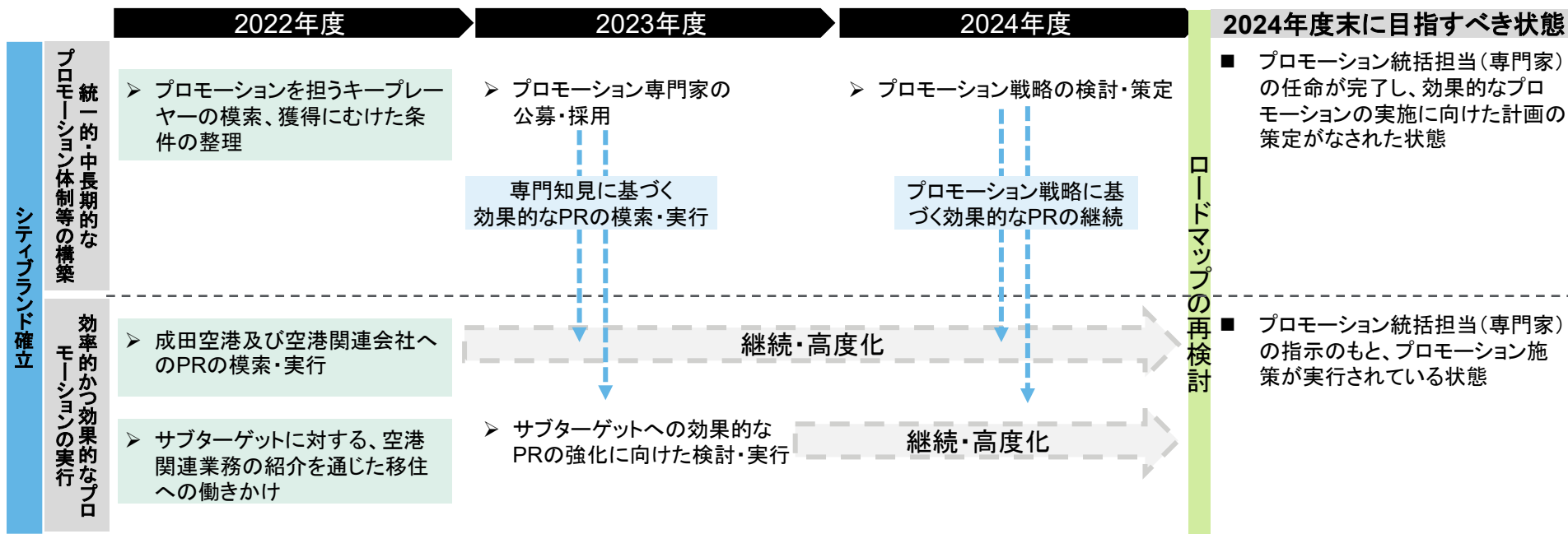
# 2024年度末までに目指すべき状態から逆算した3カ年のアクションプランを策定した

## 2024年度末に向けた3カ年アクションプラン初期案(6/6)

：施策概要の作成対象

### 本プロジェクトにおけるアクションプラン検討の基本的考え方

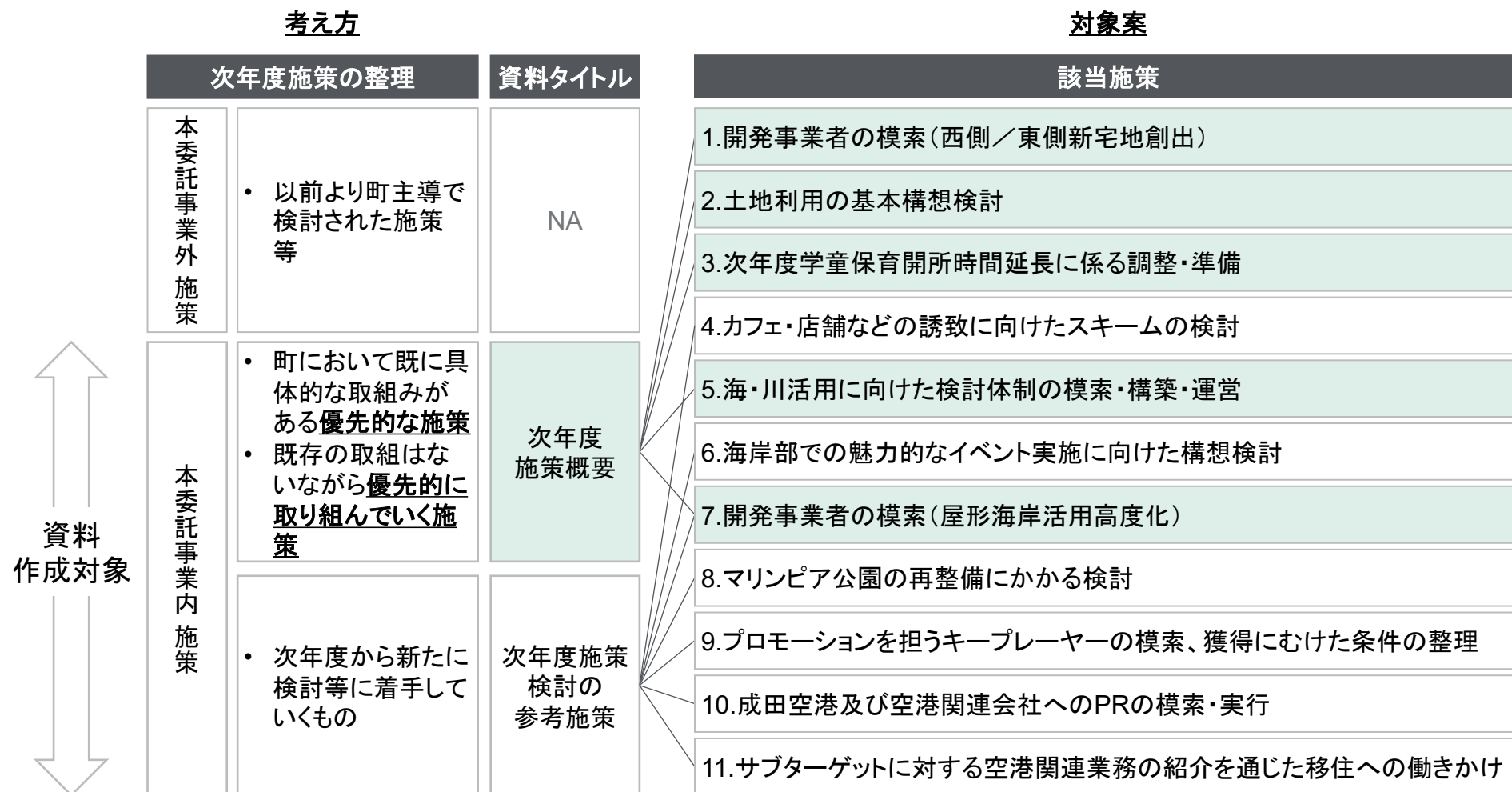
- ✓ プロモーションの進化/多様化に対応するため、専門的知見を有するプロモーション人材の獲得に向け、人材の模索や適切な雇用条件の検討・整理を優先的に実行する
- ✓ 専門人材の獲得の後、中長期的なプロモーション戦略策定や本格的なプロモーションの実行を行う
- ✓ 専門人材不在の2022年度については、大きな予算が伴わない範囲で可能なプロモーションを行い、本構想の認知度向上に向けた機運醸成を図る



# 次年度施策概要

# 【参考】次年度施策概要等の作成対象

## 次年度施策概要等の作成の考え方と対象





# 開発可能性に対する意見や、開発可能性を高めるための条件等の把握を通じて、開発事業者の候補を整理する

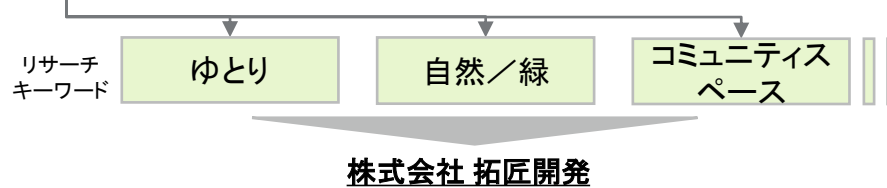
次年度施策概要

## 1. 開発事業者の模索(西側／東側新宅地創出)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開発可能性に対する意見や、開発可能性を高めるための条件等の把握を踏まえ、開発事業者の候補を整理すること</li> </ul>
対象エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 西側新宅地エリア</li> <li>■ 東側新宅地エリア</li> </ul>
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 対象地における現況整理(土地利用基本構想で実施)</li> <li>■ デベロッパー等へのヒアリング             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒアリング対象企業のリストアップ</li> <li>・ 企業の絞り込み</li> <li>・ ヒアリング資料の作成</li> <li>・ ヒアリング依頼・実施</li> <li>・ ヒアリング結果の取りまとめ</li> </ul> </li> <li>■ 条件整理と候補の検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構想を踏まえた事業者の優先順位付け</li> </ul> </li> </ul>
ヒアリング候補	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ デベロッパー(まちづくりのキーマン含む)</li> </ul>
ヒアリング事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開発可能性に対する意見</li> <li>■ 開発可能性を高めるための条件 など</li> </ul>

### ■ 参考:ヒアリング対象企業のリストアップのアプローチ例 目指すべき姿からキーワードを抽出し調査するトップダウン方式

- 東側宅地エリアにおける目指すべき姿\*
- 子育て中の世帯を主たるターゲットとし、ゆとりのある区画で、開放感・一体感のある住宅地の形成を図る。
  - 横芝光町の強みである自然環境と調和した、緑化に配慮された宅地形成を目指す。
  - 新規定住者と既存住民が交流を図り、また新規定住者が横芝光町というフィールドで様々な取組を行うことができるようなコミュニティスペースや、親子で過ごしやすいサードプレイスとなるような空間整備を検討する。



株式会社 拓匠開発

ゆとり 緑 コミュニティスペース デベロッパー

私たちは土地を求めています

拓匠開発では、住宅用地(分譲用地)向けの素地を求めています。

私たちは、分譲住宅を建てるための用地を募集しています。土地情報をお持ちの法人様、不動産売却をお考えの地主様、土木から創業し、これまでに4,000区画以上の宅地造成を手がけてきました拓匠開発にご相談ください。

出所:株式会社 拓匠開発HP

\*)「2028年度末時点で横芝光町役場が目指すべき状態」より抜粋

# 目指すべきまちの姿を踏まえた土地利用の基本構想を策定することで、以後の具体的な開発検討の指針・枠組みを明確化する

次年度施策概要

## 2.土地利用の基本構想検討(西側／東側新宅地創出)

<p>目的</p>	<p>■ 目指すべきまちの姿を踏まえた土地の利用方針を整理することで、具体的な開発検討における指針や枠組みを明確にすること</p>
<p>対象エリア</p>	<p>■ 西側新宅地エリア ■ 東側新宅地エリア</p>
<p>手法</p>	<p>■ 業務委託 (一定の専門性および集中的なリソース配分が求められることから業務委託が有効と史料)</p>
<p>委託内容素案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 調査             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考事例</li> <li>・ 土地基本情報 (広さ、周辺インフラ、周辺施設など)</li> <li>・ 住民・関係団体ヒアリング など</li> </ul> </li> <li>■ 基本構想の作成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区画全体としてのトータルコンセプト</li> <li>・ 住民のライフスタイルイメージ</li> <li>・ 上記を踏まえた機能案 など</li> </ul> </li> <li>■ 事業手法の検討</li> <li>■ その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関等協議資料作成</li> <li>・ 会議体運営 など</li> </ul> </li> </ul>

- 基本構想の参考事例:オオソラモ野田みずき千葉県野田市
  - 経済効率を優先した画一的な街とならぬよう、そこに永く住み続ける**住民の生活を第一に考え「街の骨格」である道路や緑地、広場の位置や形状を丁寧に検討**することで、住民の生活を意識した街全体のトータルデザインを実現

(戸建分譲住宅地の街づくり オオソラモ野田みずき)




出所:株式会社拓匠開発HP及びグッドデザイン賞HP等を基にデロイト作成

# 緑地や集会所、交流機能としての飲食施設を備えた一体的な住環境の開発事例

宅地開発基本構想検討の  
参考資料として再掲

## ヒアリングすべき設計事業者検討のための参考事例

### 事例概要

事業名・呼称	戸建分譲住宅地の街づくり オオソラモ野田みずき
会社名	株式会社拓匠開発 
企業の 主な役割	宅地開発・設計・造成など
場所	千葉県野田市オオソラモ野田みずき分譲地
時期	2017年竣工
事例の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 区画全体約5.5ha。街中央には南北にまたがる全長210mの緑地帯や集会所等パブリックスペースを配置する一方、各住戸のプライベート性は確保、全体として選択性のあるコミュニティの在り方を実現(2020年度 グッドデザイン賞受賞)</li> <li>■ パンだけでなく色々な食べ物や商品がテイクアウトできる街のインフラとして活躍中のトイット タニーベーカリーを分譲地内に併設。イートインとモデルハウスを兼用し、地域にもデベロッパーにも価値を生む新しいビジネスモデル(2020年度 グッドデザイン・ベスト100を受賞)</li> </ul>

### ■ 竣工後の様子



出所:株式会社拓匠開発HP及びグッドデザイン賞HP等を基にデロイト作成



# 生活や児童・教育施設との近接性を活かし、西側エリア周辺の価値を高める 新たな居住拠点を目指すべきではないか

宅地開発基本構想検討の  
参考資料候補として再掲

## 西側宅地エリアにおける目指すべき姿・機能の概要



### エリアの概要

#### 現況

- 約14ha(推計)の農振農用地。
- 航空機騒音障害防止地区を含む。

#### 位置 関係

- 大規模小売店等が集積するエリアまで約300mで利便性が高い。
- 保育園や横芝中学校などが集積するエリアまで約1.0Km
- 図書館や体育館等の公共施設等が集積するエリアまで約2.5Km

### 目指すべき姿・機能

- 大規模商業施設や駅、児童・教育施設との近接性といった利便性×地方での暮らしにニーズを有する単身者(老若男女)や子育て世帯をターゲットとした多世代共生型のまちづくりを目指す。
- 単身者向けのアパートや子育て世代向けの戸建てエリア、多世代が交流を図る屋外型のコモンスペース、一部一階を店舗にし、エリア内外の住民が訪れる仕組・仕掛けを具備し、西側周辺エリアの居住ニーズを高める新たな拠点化を目指す。

### 他エリア・関連機能との連動

- 当エリアの開発を通じて、西側周辺エリアの空き家・宅地の更なる造成の推進・検討を模索する。

### 参考イメージ



東京都東久留米市  
「ルシュバル 東久留米」

東京都世田谷区  
「下北線路街 BONUS TRACK」

# 子育て中の世帯を主たるターゲットとし、ゆとりのある区画で、開放感・一体感のある住宅地の形成を図るべきではないか

宅地開発基本構想検討の参考資料候補として再掲

## 東側宅地エリアにおける目指すべき姿・機能の概要



### 位置

### 目指すべき姿・機能

- 子育て中の世帯を主たるターゲットとし、ゆとりのある区画で、開放感・一体感のある住宅地の形成を図る。
- 横芝光町の強みである自然環境と調和した、緑化に配慮された宅地形成を目指す。
- 新規定住者と既存住民が交流を図り、また新規定住者が横芝光町というフィールドで様々な取組を行うことができるようなコミュニティスペースや、親子で過ごしやすいサードプレイスとなるような空間整備を検討する。

### 他エリア・関連機能との連動

- メインターゲットである空港従業員のニーズを踏まえた、子育て支援の強化・公共交通の整備を模索・検討する。

### エリアの概要

**現況** ■ 約16ha(推計)の農振農用地

**位置関係** ■ 大規模小売店等が集積するエリアまで約2kmほどの距離。

■ 図書館、体育館、光中学校などの公共施設が集積するエリアまで約1km

### 参考イメージ



福岡県北九州市「サトヤマビレッジ」 北海道東川町「グリーンヴィレッジ」



# 【参考】空港関連従業員ヒアリングでは、常日勤の空港従業員であっても児童クラブの開館時間を前後30分程度拡大するよう検討してほしいという声が多かった

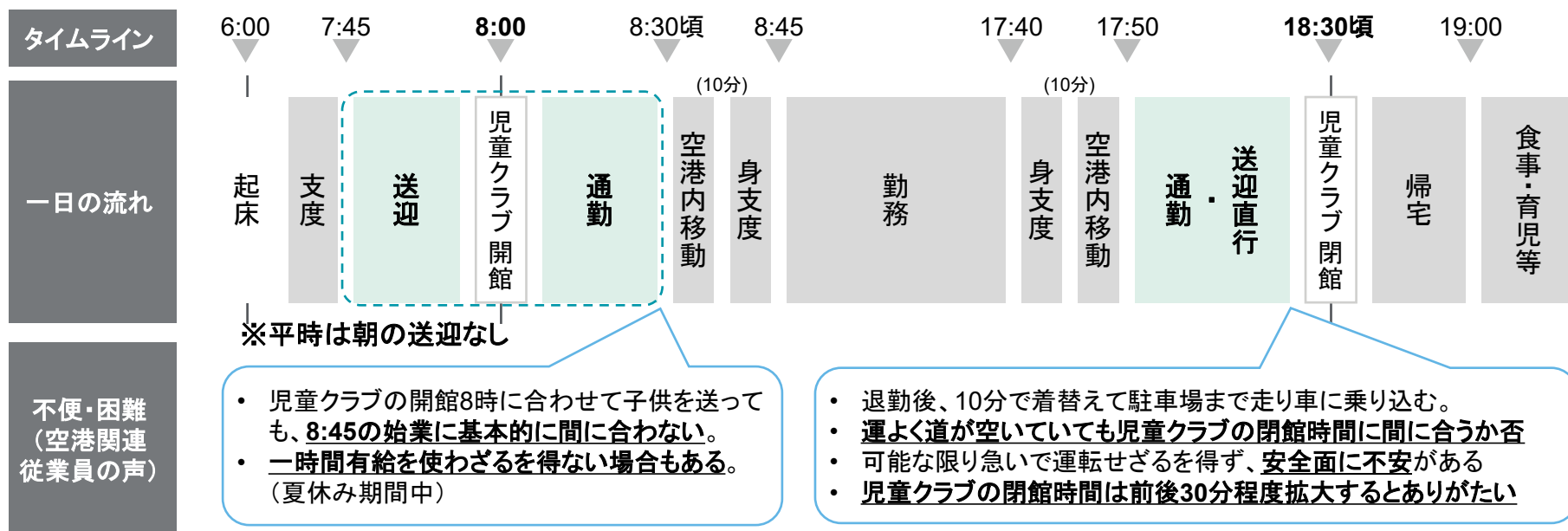
## 次年度施策概要

※本件は着手済みの施策につき概要作成は割愛し、本頁は施策概要の参考情報として作成

### 3. 次年度学童保育開所時間延長に係る調整・準備(女性に選ばれるまちづくり) 空港関連従業員による児童クラブ開館時間拡大に係る要望

<p>空港関連従業員 A様の勤務状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 勤務形態は常日勤を基本とし、始業8:45、退勤17:40。土日勤務あり。 (※本来はシフト勤務だが、子供の送迎に対応するため会社と相談し常日勤に固定)</li> <li>■ 通勤所要時間は、自家用車で片道30分～45分程度</li> </ul>
<p>利用中の 児童クラブの開館時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平日：授業終了後～18:30</li> <li>■ 土曜・夏休み期間中：8:00～18:30</li> </ul>

#### ▶ 横芝光町在住者の空港従業員の一日の流れ(夏休み期間中)



# 【参考】空港従業員の就業実態を考慮すると、延長保育・延長学童の強化や、託児機能を補完するサービスなどの施策は訴求力があると考えられる

## 次年度施策概要

※本件は着手済みの施策につき概要作成は割愛し、本頁は施策概要の参考情報として作成

## 横芝光町の保育園・児童クラブの概要

### 横芝光町内保育園における保育時間

保育所	平日・通常保育時間	土曜日・通常保育時間
大総保育所	8時30分～17時15分 (17時15分～18時30分)	8時30分～12時30分 (7時30分～16時00分)
横芝保育所	8時30分～17時15分 (7時30分～18時30分)	8時30分～12時30分 (7時30分～16時00分)
上塚保育所	8時30分～17時15分 (7時30分～18時30分)	8時30分～12時30分 (7時30分～16時00分)
社会福祉法人 フタバ保育園	7時00分～18時00分 (18時00分～19時00分)	7時30分～16時00分
社会福祉法人 日吉保育園	7時30分～18時30分 (7時15分～18時45分)	8時00分～16時00分
社会福祉法人 光町保育園	7時30分～18時30分 (7時00分～19時15分)	7時15分～18時15分
社会福祉法人 光町中央保育園	7時30分～18時30分 (7時00分～19時15分)	7時15分～18時15分
社会福祉法人 白浜保育園	8時00分～17時00分 (7時30分～19時00分)	8時00分～16時00分 (7時30分～8時00分)

### 横芝光町内小学校における学童保育

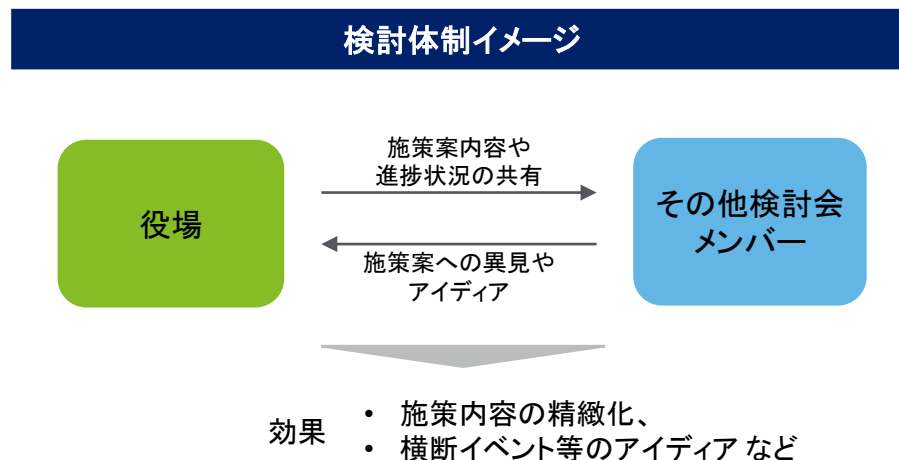
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 町内に住所を有し、かつ、町内の小学校に就学中の児童で、授業の終了後、小学校の長期休業中に、保護者等が労働などにより昼間家庭にいないため、家庭で保護を受けることができない児童</li> </ul>
児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 横芝小学校児童クラブ</li> <li>■ 横芝小学校第2児童クラブ</li> <li>■ 上塚小学校児童クラブ</li> <li>■ ひかり児童クラブ</li> <li>■ 白浜小学校児童クラブ</li> </ul>
開所日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平日 授業終了後から18時30分</li> <li>■ 土曜日及び長期休業期間 8時から18時30分</li> </ul>
児童クラブ 保育料	<p>&lt;年間利用&gt; 8月以外の月 7,000円/月 8月 10,000円/月 &lt;長期休暇のみ利用&gt; 春休(4月)2,000円(3月)3,000円 夏休(7月)4,000円(8月)10,000円 冬休(12月)2,000円(1月)2,000円</p>

# 交流機能開発を横断的に検討する体制を整備することで、開発段階では構想や計画策定の最適化、実行段階では相乗効果を見込む横断企画の検討等を可能にする

次年度施策概要

## 5.海・川活用に向けた検討体制の模索・構築・運営(屋形海岸活用高度化・栗山川活用高度化横断)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>海・川の活用に向けた開発・整備、イベントの企画・開催について、交流機能の最大化に向けた意見交換や施策案へのフィードバックを行う</li> </ul>
検討会の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>役場施策案に関して意見交換・討議を行う(意思決定は対象外)</li> </ul>
設置・運営主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>横芝光町</li> </ul>
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>海・川の活用に向けた開発・整備に関する意見交換</li> <li>イベントの企画・開催支援</li> </ul>
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>海・川の活用に向けた開発・整備に関すること                             <ul style="list-style-type: none"> <li>活用イメージに関する意見交換</li> <li>施策案に対する現場有識者フィードバック</li> </ul> </li> <li>イベントに関すること                             <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントアイデア</li> <li>開催における支援の在り方 など</li> </ul> </li> <li>その他(海・川の周辺に関することを含む)</li> </ul>
開催頻度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策進捗に応じた開催を基本とし、振り返り等のため半期または1年に1回程度を想定</li> </ul>



### メンバー候補(案)

※テーマに応じてメンバー属性を考慮し、適宜メンバー入替が必要

想定メンバーの所属	<ul style="list-style-type: none"> <li>役場</li> <li>横芝光町観光まちづくり協会</li> <li>よこぴか倶楽部</li> <li>TREASURE SURF</li> <li>釣り関連</li> <li>その他個別施策の推進メンバー など</li> </ul>
-----------	--

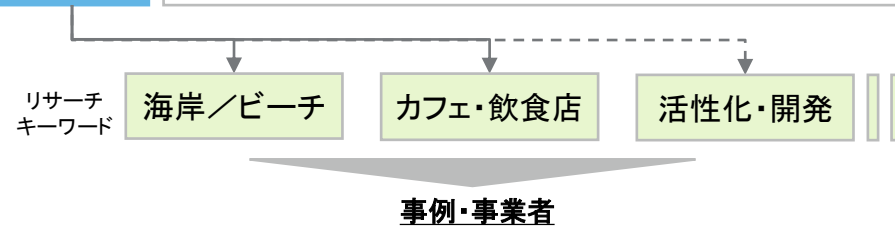
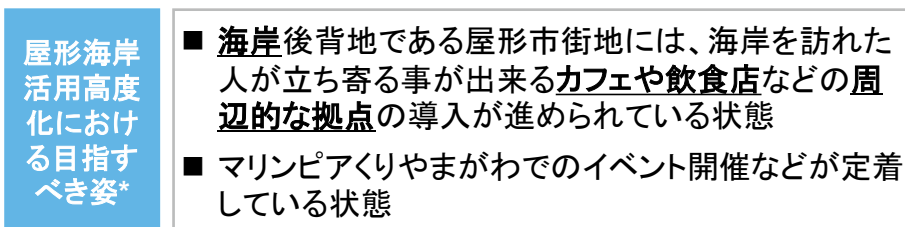
# 開発可能性に対する意見や、開発可能性を高めるための条件等の把握を通じて、開発事業者の候補を整理する

次年度施策概要

## 7.開発事業者の模索(屋形海岸活用高度化)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発可能性に対する意見や、開発可能性を高めるための条件等の把握を踏まえ、開発事業者の候補を整理すること</li> </ul>
対象エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋形海岸活用高度化</li> </ul>
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象地における現況整理(土地利用基本構想で実施)</li> <li>デベロッパー等へのヒアリング             <ul style="list-style-type: none"> <li>ヒアリング対象企業のリストアップ</li> <li>企業の絞り込み</li> <li>ヒアリング資料の作成</li> <li>ヒアリング依頼・実施</li> <li>ヒアリング結果の取りまとめ</li> </ul> </li> <li>条件整理と候補の検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>構想を踏まえた事業者の優先順位付け</li> </ul> </li> </ul>
ヒアリング候補	<ul style="list-style-type: none"> <li>デベロッパー</li> </ul>
ヒアリング事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発可能性に対する意見</li> <li>開発可能性を高めるための条件 など</li> </ul>

■ 参考:ヒアリング対象企業のリストアップのアプローチ例  
目指すべき姿からキーワードを抽出し調査するトップダウン方式



事例・事業者	湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業	
	積水ハウス株式会社	
事例・事業者	泉南りんくう公園整備事業	
	大和リース株式会社	

イメージ出所:平塚市HP,大和リース株式会社HPより

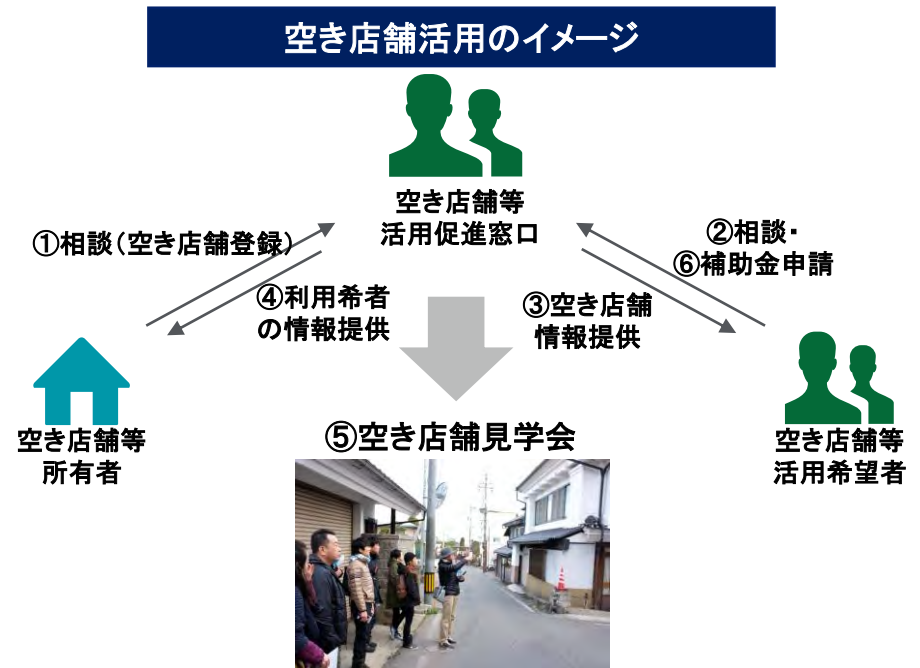
\*)「2028年度末時点で横芝光町役場が目指すべき状態」より抜粋

# カフェ等の誘致により、まちの回遊における拠点機能や、居心地よい空間機能を提供することで、交流人口や居住者人口のさらなる誘因を図る

次年度施策検討の参考施策

## 4.カフェ・店舗などの誘致に向けたスキームの検討（女性・家族に心地よい居場所の創出・屋形海岸活用高度化）1/2

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 女性に選ばれるまちづくりに向け、居心地の良い空間を創出する</li> <li>■ 「目的地」となりうるカフェ等を市街地に創出することで交流人口の増加を図る</li> </ul>
検討想定エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 屋形市街地</li> <li>■ 既存公共施設(図書館や直売所など)</li> </ul>
手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新設店舗の活用 (自治体は事業者募集活動や建物や用地にかかる費用の一部補助等を行う)</li> <li>■ 空き店舗の活用 (自治体はや仲介窓口、建物の改築費や賃借料を一部補助等を行う)</li> <li>■ キッチンカー</li> </ul> <p>※低コスト低リスクのメリットから、空き店舗活用の優先検討が好ましいと思料、右に参考記載。</p>
想定される役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空き店舗活用におけるマッチング運営: 役場</li> <li>■ カフェ等飲食店経営: 民間事業者</li> </ul>
想定効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居心地よい空間を好む女性や家族からの共感による、生活満足度の向上</li> <li>■ 拠点機能向上によるさらなる交流人口の増加</li> </ul>



- 【想定される役場提供機能と施策案】
- 空き店舗情報の収集・相談:
    - 窓口開設、セミナー開催・不動産登記簿調査による有力大家の発掘
  - 空き店舗等活用希望者のニーズ収集・相談:
    - 窓口でのヒアリング
  - 空き店舗等活用希望者と空き店舗等所有者のマッチング支援:
    - 空き家見学会・交流会の開催
  - 補助金の受付:
    - 窓口の運営

参考: (株)リノベリングHP「長野市善光寺門前」



# 【参考】山武市では、移動販売設備（キッチンカー）の導入費を一部補助する事業を展開している

次年度施策検討の参考施策

## 4.カフェ・店舗などの誘致に向けたスキームの検討（女性・家族に心地よい居場所の創出・屋形海岸活用高度化）2/2

事業名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 移動販売設備導入補費補助事業</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新型コロナウイルス感染防止のため、新たに移動販売設備（キッチンカー）を導入し、新しい経営スタイルの確立を目指す市内に住所を有する事業者、または、個人の方を対象に購入・改修費の補助を行う</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 対象となる経費               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キッチンカー本体の購入費及び調理用什器を含む改修費</li> </ul> </li> <li>■ 対象とならない経費               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経常的な人件費、維持管理費</li> <li>・ 各種認可、契約等に要するもの</li> <li>・ 消費税及び地方消費税 等</li> </ul> </li> </ul>
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市内に住所を有する中小企業者及び小規模事業者（個人事業者を含む）または、市内に住所を有する個人※市内に事業所を有する方も含む</li> <li>■ 当該補助により購入した自動車は5年以上、営業を行うこと（ただし、廃業等のやむを得ない事情がある場合を除く）等</li> </ul>
規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上限額 100万円</li> <li>■ 補助率 1/2</li> </ul>

■ 出店の様子（山武市成東駅前観光交流センター）



（出所：山武市観光情報サイト山武セレクションHP）

出所：山武市HPおよび助成金・補助金ネットHPをもとにデロイト作成

# 交流人口の増加に向け、海・川等を活用した魅力的なイベントの構想検討を推進する

次年度施策検討の参考施策

## 6. 海岸部での魅力的なイベント実施に向けた構想検討(屋形海岸活用高度化)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流人口の拡大を通して居住人口の増加を図るとともに、海川を体感できる町としてのブランド化実現に向けたイベントを開催すること</li> </ul>
想定エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋形海岸(海岸に接続する栗山川および川沿いサイクリングロードも含めて想定)</li> </ul>
イベントコンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>海や川などの自然の魅力体験</li> <li>海や川を活用した居心地の良い空間</li> </ul>
想定コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>カヤック</li> <li>サーフィン教室</li> <li>サイクリングや町の回遊イベントとの合同企画(スタンプラリー等) など</li> </ul>
開催に向けたプロセス(委託の場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>目的、ターゲット、コンセプト</li> <li>場所、規模、予算</li> <li>コンテンツ案</li> <li>実行方針(委託等)</li> </ul> </li> <li>運営体制の検討・立ち上げ</li> <li>委託要領の策定・選定</li> <li>委託業者との調整・コンテンツ具体化</li> <li>イベントの実行</li> </ul>

### 海や川を会場としたイベント事例

#### ■ 事例: リバーフロントマルシェ



主催者名	リバーフロントマルシェ実行委員会
開催場所	川内川河川敷(鹿児島県 西開聞町)
開催期間	2021年10月10日(2015年より毎年開催)
出店募集	25~50店舗程度
出店料	3,000円~5,000円(提供物による)

コンセプトは「Make a landscape~あなたが誰かの風景になる~」。  
川内川が暮らしの日常的な皆の居場所となることを目指して開催を継続  
(出所:リバーフロントマルシェHP等をもとにデロイト作成)

### 自然体験をコンテンツとしたイベント事例

#### ■ 事例: マリンスポーツ体験(ターゲット:高校生以上、大人)



主催者名	NPO法人海の再生ネットワークよろん
開催場所	鹿児島県 与論島周辺海域
開催期間	2021年07月18日~2021年08月31日
募集人数	35名
参加費	1,000円~4,000円(アクティビティによる)

#### ※財団利用のメリット

- 助成事業者/推進パートナーとして日本財団HPでイベント告知が可能
- 審査を受け助成事業者となった場合は助成金が得られる  
(推進パートナーになるためには参加申請が必要)

(出所:日本財団HPをもとにデロイト作成)

# 交流拠点として、またイベント会場としての今後の活用を見据え、アクセス道路やトイレ・シャワー室等のインフラ整備を最低限とした再整備を検討する

次年度施策検討の参考施策

## 8. マリンピア公園の再整備にかかる検討(屋形海岸活用高度化)

<p><b>目的</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マリンピア公園および周辺の開発に向け、民間企業を誘因するため最低限のインフラ機能の整備を図る</li> </ul>
<p><b>対象エリア</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マリンピアくりやまがわ</li> </ul>
<p><b>検討事項</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 予算獲得に向けた対応事項</li> <li>■ 再整備すべき対象インフラ</li> </ul>
<p><b>実施事項</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 再整備すべき対象インフラの検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の現況把握</li> <li>・ 予算案を踏まえた優先順位付け</li> </ul> </li> <li>■ 予算獲得に向けた検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次年度の業務内容案の整理</li> <li>・ 予算案</li> <li>・ スケジュール案</li> </ul> </li> </ul>

■ 再整備の方向性に係る参考事例:

- 宮崎県宮崎市青島における、海岸におけるシャワー室や更衣室などの設備整備(日本財団助成金活用)



(青島渚の交番)

- 湘南海岸公園における基礎設備の改築を含めた一体的な開発(Park-PFI活用) ※インフラ等整備後の開発高度化の参考として



湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン 公園イメージ図(資料提供:平塚市)

参考出所:日本財団HP、平塚市HP等をもとにデロイト作成

# 海岸部活性化の第一段階として、基本的インフラとなるライフセーバー常駐の施設である「渚の交番」を整備

マリニピア公園の再整備にかかる検討の参考資料候補として再掲

## 宮崎市青島地区におけるまちづくりの取組の概要

### ハード整備 渚の交番

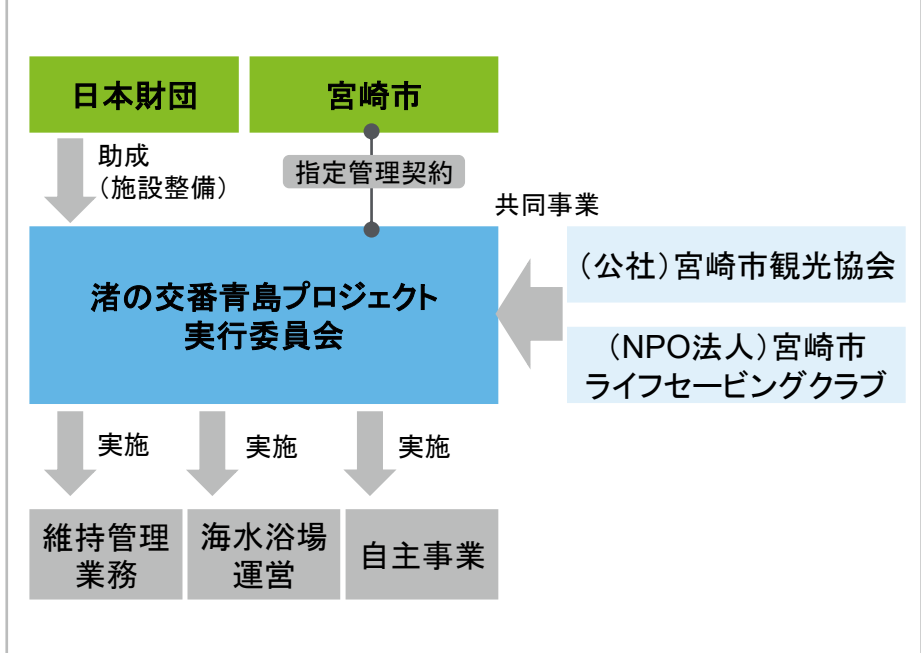
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 夏季に限らず、年間を通じてライフセーバーが常駐するアクティビティの拠点として2008年に設置された施設。</li> <li>■ 更衣室やコインロッカー、シャワーなどが通年利用可能なほか、観光サービスの情報提供などを行っている。</li> </ul>
設置経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市が整備・管理していた海水浴場管理棟を、日本財団の助成を受けて2008年にリニューアル。</li> <li>■ その後、2010年に指定管理者制度を導入。</li> </ul>
運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 渚の交番青島プロジェクト実行委員会(宮崎市観光協会、宮崎市ライフセービングクラブの共同事業)が指定管理者として管理。</li> </ul>



### 体制整備 渚の交番青島プロジェクト実行委員会の設立

設置経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 渚の交番の運営主体として、宮崎市観光協会と宮崎市ライフセービングクラブの共同事業として設置された組織。</li> <li>■ 現在では、青島ビーチパークの運営も実施している。</li> </ul>
------	---

### 渚の交番に関する体制図



出所: 日本財団HP「渚の交番プロジェクト」等を基にデロイト作成




# 海の活用が停滞していた平塚市において活性化に取り組んでいる事例

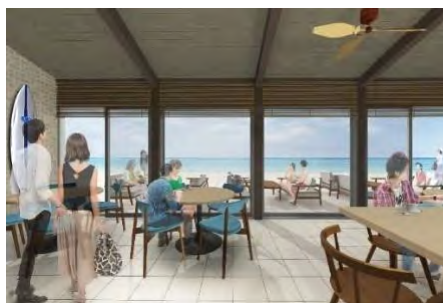
ヒアリングすべき設計事業者検討のための参考事例(積水ハウス株式会社)

マリニピア公園の再整備にかかる  
検討の参考資料候補として再掲

## 事例概要

事業名・呼称	湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーンの公園整備
会社名	積水ハウス株式会社 
企業の 主な役割	・全体統括管理 ・公募対象公園施設設計・施工設計 など
場所	神奈川県 平塚市
時期	2021年12月施行、2022年12月オープン予定
事例の特徴	<p>■ 狙い: 平塚の海により多くの方が気軽に来ることができて、海を眺めたり、緑に囲まれた中で、潮風を感じながら散策や食を楽しみ、憩い安らげる場所にしていきます。</p> <p>■ コンセプト:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①ビーチに面するポテンシャルを最大限に活かして、<b>地域住民・広域来園者が「目的を持って訪れる公園」</b>を作ります。</li><li>②公園を基点として、海・景観・自然・食を楽しむライフスタイル「<b>海辺のある暮らし</b>」を創出します。</li><li>③そのライフスタイルが公園から周辺地域へ広がり、「<b>選ばれるまち・住み続けるまち</b>」平塚を実現します。</li></ul>

### ■ 開発後イメージ



出所:平塚市HP「湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業」等を基にデロイト作成



# 事例調査やヒアリングを通じて、キープレイヤーの活用手法や獲得可能性を高めるための条件を検討し、候補となる人材要件の概要を整理する

次年度施策検討の参考施策

## 9. プロモーションを担うキープレイヤーの模索、獲得にむけた条件の整理 (統一的・中長期的なプロモーション体制等の構築) 1/2

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ キープレイヤーの獲得に向け、効率的かつ効果的に成果を出すための勤務条件の把握や待遇の市場感の把握を行う</li> </ul>
推進プロセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロモーション担当の職務内容等の整理                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例調査(雇用・勤務形態や関与内容等)</li> <li>・ 職務内容初期案の作成</li> </ul> </li> <li>■ 対象候補者へのヒアリング                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒアリング対象のリストアップ</li> <li>・ 対象の絞り込み</li> <li>・ ヒアリング資料の作成</li> <li>・ ヒアリング依頼・実施</li> <li>・ ヒアリング結果の取りまとめ</li> </ul> </li> <li>■ キープレイヤー候補の検討及び職務内容等初期案の具体化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 候補人材の要件整理</li> <li>・ 候補の優先順位付け</li> </ul> </li> </ul>
ヒアリング対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事例調査: 外部広報官の採用を実施している自治体(掛川市、流山市など)</li> <li>■ 対象候補者: プロモーションを担当した実績ある個人(青島ビーチパーク宮原氏など)</li> </ul>
ヒアリング事項	<p>(事例調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ キープレイヤーの活用手法</li> <li>■ 職務内容等初期案へのフィードバック など (キープレイヤー個人)</li> <li>■ 職務内容等初期案へのフィードバック など</li> </ul>

### 参考事例: 掛川市における広報戦略官の募集(要綱抜粋)

**1 募集職種・採用予定人数・受験資格など**

○ 広報戦略官

**職務内容**  
広報・シティプロモーションの現場責任者として、戦略企画やメディアへのアプローチなど幅広く携わります。掛川市の魅力や政策について市内外へ発信し、魅力的な街へ育ててください。

**雇用形態**  
任期付一般職

**任期**  
令和4年4月1日から令和7年3月31日まで(3年)  
※最長5年まで延長する場合があります

**受験資格**  
全体の奉仕者たる市職員として、意欲をもって取り組む姿勢のある方

**採用予定人数・年齢要件・資格要件**

予定人数	年齢要件	資格要件
1名	なし	下記のうちいずれかを満たす方 ・ 広報の実務経験をお持ちの方 ・ 広告代理店などで企業PR・ブランディングに携わった経験をお持ちの方

**5 給与/勤務条件等**

○ 広報戦略官(広報部門担当課長)

(1) 勤務地  
掛川市役所本庁

(2) 勤務日及び勤務時間  
週5日 8:30~17:15

(3) 基本給  
362,900円/月  
\*経験及び能力により異なります  
(参考) 年取680万円~

(4) 諸手当  
地域手当、扶養手当、通勤手当、住居手当 など  
\*賞与(期末手当など)は、4.3か月分を年2回(6月/12月)に分けて支給

(5) 昇給  
年1回(4月)



(6) 福利厚生  
・ 各種健康診断、ストレスチェックの実施  
・ クラブ活動  
・ 宿泊施設、公共施設等利用助成  
・ 公務・通勤災害(公務中や通勤途中に負傷したり疾病にかかったりした場合の補償制度)

参考: 掛川市HP「令和3年度 市職員採用試験案内【広報戦略官/DX推進担当】」

# 【参考】民間人材とのマッチングを提供する「複業クラウド」を活用することで、採用条件や就業期間等において、より柔軟な民間人材の活用が可能となる

次年度施策検討の参考施策

## 9.プロモーションを担うキープレイヤーの模索、獲得にむけた条件の整理 (統一的・中長期的なプロモーション体制等の構築) 2/2

サービス概要	 <ul style="list-style-type: none"> <li>「複業クラウド」は複業・フリーランス人材のための求人検索・仕事探しに特化した、完全無料の複業マッチングプラットフォーム</li> </ul>
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材データベースの提供</li> <li>求人票の作成支援</li> <li>人材とのコミュニケーション機能</li> <li>専属担当による求人立ち上げや運用サポート</li> </ul>
費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材データベースの利用料を支払う (複数の料金プランがあり、契約時に相談)</li> <li>雇用契約が成立した際の成功報酬は無料</li> </ul>
利用実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>大手企業からスタートアップ、自治体まで600社以上が導入</li> </ul> 

(サービス概要等出所: 複業クラウドHPをもとにデロイト作成)

### サービス活用事例

#### 大阪府岬町の広報アドバイザー等採用

- 就業期間: 3ヶ月間
- 職務内容: SNSや広報紙を活用した、町内外の認知拡大・ロイヤルティの向上

(就任式の様子)



#### 福岡県豊前市のマーケティングアドバイザー等採用

- 就業期間: 7ヶ月間
- 職務内容: 豊前市の魅力を発信、ブランディング、PR

(就任式の様子)



(サービス活用事例出所: サービス運営会社Another works作成のnote記事)

# 空港関連会社への協力を得ることで、本構想のメインターゲットである空港関連従業員への効率的なPRを実現する

次年度施策検討の参考施策

## 10.成田空港及び空港関連会社へのPRの模索・実行(効率的かつ効果的なプロモーションの実行)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本構想のメインターゲットに対し、効率的かつ効果的、廉価に、本構想の内容を訴求すること</li> </ul>
協力依頼先	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成田国際空港株式会社・グループ会社</li> <li>■ 空港関連サービス事業者(警備・設備保守等)</li> </ul>
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成田空港株式会社が開催する空港関連企業向けの会議体での資料説明および配布</li> <li>■ 本構想の資料概要版等チラシの配架・掲示             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所内</li> <li>・ 独身寮掲示板 等</li> </ul> </li> <li>■ 成田空港関連企業合同説明会</li> </ul>
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業所内、休憩室</li> <li>■ 独身寮掲示板 など</li> </ul>

### ■ PR用資料の参考



(本事業の業務報告書概要版より)



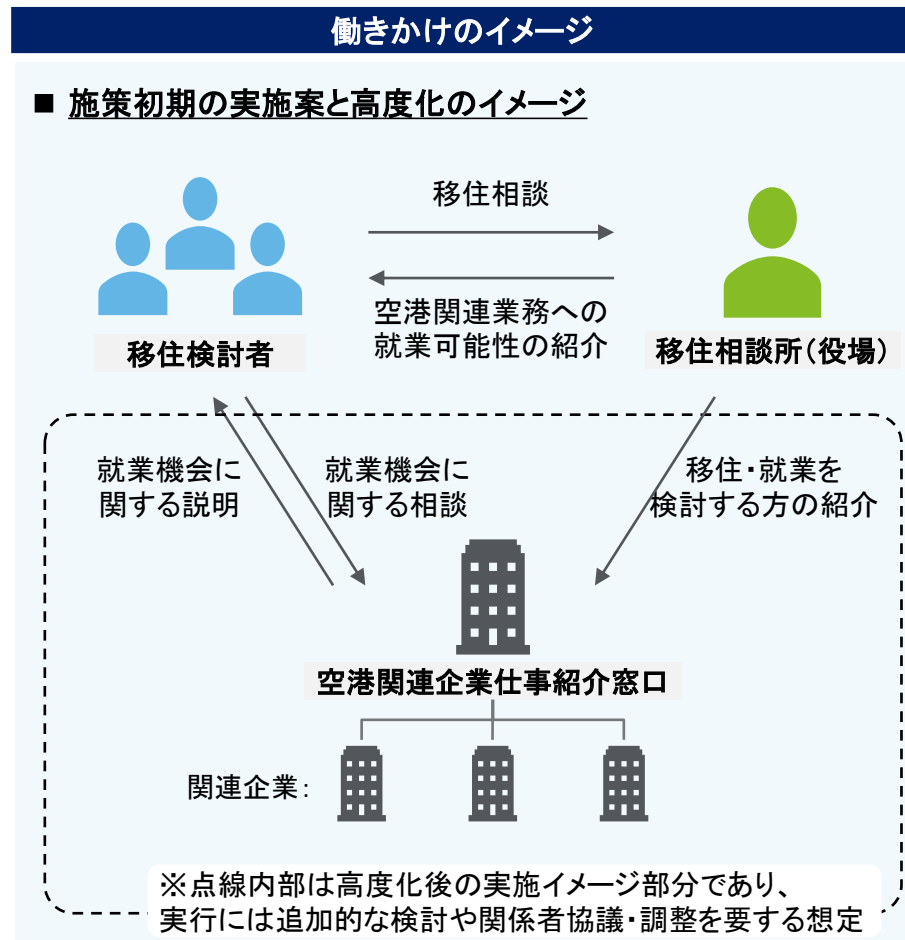
(本事業の業務報告書より)

# 本構想のサブターゲットに対し、コストを抑えながら効率的かつ効果的にアプローチするため、空港関連業務の紹介を通じた移住への働きかけを検討する

次年度施策検討の参考施策

## 11. サブターゲットに対する空港関連業務の紹介を通じた移住への働きかけ

<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本構想のサブターゲットに対し、効率的かつ効果的、廉価に、本構想の内容を訴求すること</li> </ul>
<p>プロモーションのオプション案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 移住・定住サポートセンターでの仕事紹介             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ センターに訪れた／連絡した検討者に対し、移住に関する情報のみならず、成田空港の仕事が多様にあることを伝え、移住と仕事のあることをセットで伝える</li> </ul> </li> <li>■ 移住相談会での仕事紹介</li> </ul>
<p>プロモーション実現に向けた働きかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空港関連企業仕事紹介窓口の設置に向けた検討・調整</li> </ul>



*End of File*